

協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況報告書

(平成29年度実績)

－ 案 －

※ この資料は、議会報告に先立ち、市の附属機関「仙台市協働まちづくり推進委員会」で審議するために作成した素案です。今後「仙台市協働まちづくり推進本部」で総括し、議会へ報告されます。

平成30年 月

仙 台 市

目 次

I	はじめに	1	頁
II	基本施策に関する事業	2	頁
	1 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項	3	頁
	2 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項	10	頁
	3 多様な主体による活動の促進に関する事項	15	頁
III	市民協働事業	31	頁

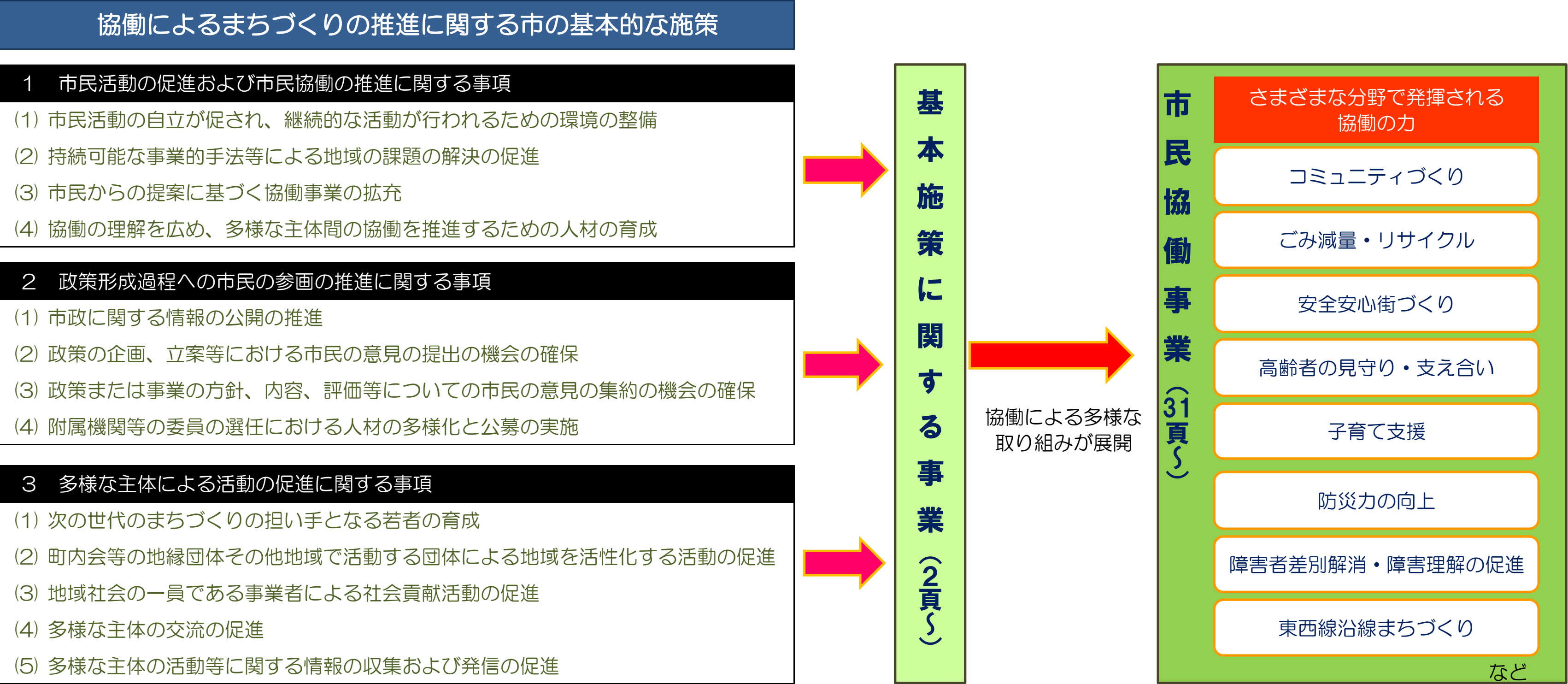
I はじめに

「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」(以下「条例」という。)は、本市における協働の基本理念を定め、市民と市の役割を明らかにするとともに、協働によるまちづくりを推進するための基本的な事項を定めることにより、協働によるまちづくりを総合的かつ計画的に推進し、もって、豊かで活力ある地域社会を実現することを目的に、平成27年7月に施行されました。

このたび、条例第9条※に基づき、平成29年度における協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について報告します。

※条例第9条・・・市長は、協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について、適宜、議会に報告するものとする。

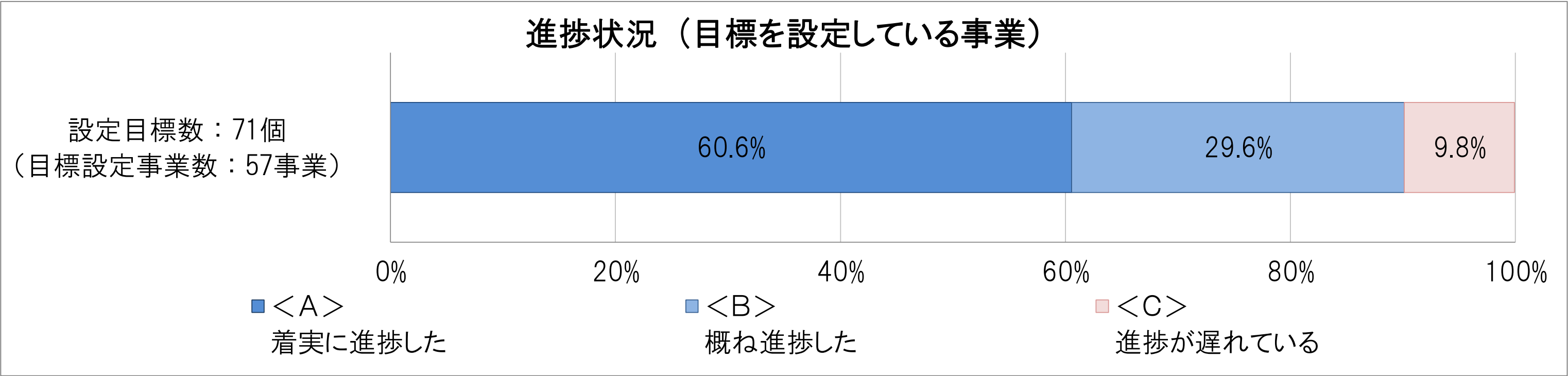
条例に基づき定めた「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策について、これらを推進するための事業（基本施策に関する事業）を実施し、協働による多様な取り組み（市民協働事業）の展開を図りました。



Ⅱ 基本施策に関する事業

「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策を推進するための主な事業について、実施状況を掲載しています。

【基本施策の各分野における進捗状況】
基本施策に関する事業76事業のうち、57事業について計71個の目標を設定しています。各目標に対する進捗状況は以下のとおりです。



- ・ 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項
- ・ 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項
- ・ 多様な主体による活動の促進に関する事項

	< A > 着実に進捗した	< B > 概ね進捗した	< C > 進捗が遅れている
全体： 設定目標数71個（57事業）	43（60.6%）	21（29.6%）	7（9.8%）
分野1： 設定目標数18個（16事業）	15（83.3%）	2（11.1%）	1（5.6%）
分野2： 設定目標数10個（8事業）	3（30.0%）	5（50.0%）	2（20.0%）
分野3： 設定目標数43個（33事業）	25（58.1%）	14（32.6%）	4（9.3%）

基本施策に関する事業（平成29年度実績）

※特に記載のない場合は、平成30年3月31日時点の数値です。

事業番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
			点検結果		
1 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項					
各拠点施設において活動場所の提供や研修・相談を実施したほか、専門家の派遣による助言や情報提供を行うなど、市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境整備を行いました。また、持続可能な事業的手法により課題解決を促進するとともに、複数団体が連携して取り組むまちづくり活動への新たな助成事業や市民からの提案に基づく市民協働による取り組みを推進したほか、市民協働に関する職員研修や市民センター事業等を通じて、協働の理解を広め、多様な主体間の協働を推進するための人材の育成に取り組みました。					
（１）市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境の整備					
①	区役所のまちづくり拠点機能の強化	地域の特性に応じたきめ細かな地域づくりを進めるため、地域団体への効果的な支援を実施できるよう組織的な体制を充実させるとともに、区役所の政策形成力の向上を図る。 さまざまな情報や人材が集まる市民センターにおいて、そのコーディネート機能を生かし、地域団体間のネットワーク形成を図る。また、区役所の組織である区中央市民センターが所管区内地区市民センターの総合調整を図り、市民センターと区役所が一体となった地域づくりを推進する。	平成29年度から「ふるさと支援担当課長」の配置等により各区・総合支所のまちづくり部門の体制を強化し（職員増員）、地域課題解決のためのモデル事業「ふるさと底力向上プロジェクト」の実施等の取り組みを行った。 また、平成30年度から各区中央市民センターの体制を強化し、所管区内市民センター支援の充実を図ることとした。	—	市民局 地域政策課 各区 総務課
			—	上記のとおり着実に取り組みを進めた。今後、ふるさと底力向上プロジェクトの進捗管理や振り返りを適切に行うとともに、区役所のまちづくり拠点機能のさらなる強化について関係部署と協議・検討を進める。	
②	市民活動サポートセンターにおける活動拠点確保等に関する支援・環境整備	市民活動サポートセンターにおいて、貸室やフリースペース等の活動拠点の提供、市民活動・協働に関する情報の収集・提供、相談対応など、多岐にわたる市民活動がさらに活発になるよう、支援や施設の環境整備を行い、協働によるまちづくりを推進する。	市民の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供するとともに、機関紙の発行や市民活動・協働に関する展示の実施等の情報提供を行ったほか、相談対応の実施により、協働によるまちづくりの推進を図った。 また、多様な主体の参加による協働のまちづくりを推進するため、機能強化として施設の一部を改修、環境を整備した。 利用者数：63,913人 （うち貸室利用者数：48,254人、 フリースペース利用者数：14,683人）	平成28年度～30年度の利用者数の年間平均を64,000人以上に増加させる。	市民局 市民協働推進課
			B	概ね進捗した。施設改修に伴う一部サービスの停止により利用者数が減少。今後は、交流に関する相談やマッチング機能の充実など、ソフト面における機能充実に取り組む。	

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
				点検結果		
	③	新たな助成制度の構築	多様な主体の協働によるまちづくりを推進するため、複数団体が連携し、まちづくりに取り組む事業へ助成する仕組みを新設する。	「協働まちづくり推進助成事業」のモデル事業として4件の助成を行った。また、平成30年度からの本格運用に向け、モデル事業の状況を踏まえ、助成期間の見直しを行った。	平成28年度からモデル事業を実施し、検証を行っていく。	市民局 市民協働推進課
				助成件数：4件		
		A	着実に進捗した。今後、市民が事業申請に至るまでの段階を含めて支援し、まちづくりの担い手を拡大していく必要がある。			
	④	男女共同参画推進センターにおける各種支援等	男女共同参画推進に取り組む市民の活動を支援するため、エル・パーク仙台の市民活動スペースおよびエル・ソーラ仙台の市民交流・図書資料スペースを運営するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台が協働で、「男女共同参画」をテーマとしたイベントを企画・実施する。	市民の自主的な活動の拠点として、活動・交流を促進するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台との協働により、男女共同参画推進せんだいフォーラムを開催した。	毎年度男女共同参画推進フォーラムを開催し、参加団体数を30団体以上とする。	市民局 男女共同参画課
				エル・パーク仙台利用者数 （市民活動スペース）： 55,502人 エル・ソーラ仙台利用者数 （市民交流・図書資料スペース）：127,804人 フォーラム参加団体数：32団体		
		A	フォーラム参加団体数が目標値に達し、着実に進捗した。引き続き多くの団体が参加できるイベントを企画・実施していく。			
	⑤	ボランティアセンターにおける各種支援等	市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供を行いながら、ボランティアに関する相談および調整を行う。	地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。	ボランティアセンターへの登録団体数を、平成30年度までに300団体以上とする。	健康福祉局 社会課
				ボランティア育成講座数：20講座 延べボランティア育成講座受講者数：513人 ボランティア登録団体数：397団体		
		A	着実に進捗した。ボランティアの広がりと活動者のスキルアップが地域課題解決につながるよう、引き続き担い手育成に取り組んでいく。			
	⑥	まちづくり支援専門家派遣事業	地域の活性化を図る活動やまちづくり計画案を作成する活動など、地域住民が主体となって活動を行う団体に対し、まちづくり支援の専門家を派遣することにより、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行う。	地域団体からの相談に応じてまちづくり専門家を派遣し、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行い、地域主体のまちづくり活動を支援した。	平成28年度～30年度における派遣地区を単年度平均で15地区以上とする。	都市整備局 都市計画課
				派遣地区：12地区		
		B	概ね目標に沿う水準で進捗した。地域における制度の活用が図られるよう、更なる周知に努める。			

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課
				点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課
	⑦	市民センターにおける地域づくり支援	①住民参画・問題解決型学習推進事業 地域特性に応じた市民協働によるまちづくりを推進するため、地域住民と市民センター職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、さまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成する。 ②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。 ③若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。	各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域課題解決に向けた取り組みとして、住民参画型の講座を実施した。また、本事業を広く市民に広報するため成果報告会を開催した。 講座数：6講座 受講者数：74人（新規38人） 各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域の中で役割を持ったり、社会の構成員としてまちづくりに参加したりする取り組みとして、子ども参画型の講座を実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。 子ども参画について、特色のある取り組みを行っている石巻市と交流した。 講座数：9講座 受講者数：114人（新規57人） 各区中央市民センターにおいて、フィールドワークを通して受講者である若者が、地域の活性化に向けた事業を企画・実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。 講座数：5講座 受講者数：96人（新規47人） ①から③の総計での新規参加者の割合:50.0%		事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。	教育局 生涯学習支援センター
	A		着実に進捗した。今後も、市民が主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。				
（2）持続可能な事業的手法等による地域の課題の解決の促進							
	①	まちづくり人材育成と情報発信事業（WE SCHOOL）	東西線開業を契機に高まった市民のまちづくりへの機運を広げ、まちのにぎわい・楽しさの創出や地域の課題解決を図り、地域の魅力を向上させていくことを目的に、まちづくりのプロジェクトをつくり実現を目指す人材の育成と、メディアを活用した市民によるまちの情報発信の促進を行う。	まちづくり人材育成講座「WE SCHOOL」を開講し、同講座の受講生が企画するプロジェクトの実現化に向けたサポートを行った。 受講者数：46人/3クラス 受講生が生み出したプロジェクト数：10件		平成28年度～30年度のWE SCHOOL受講者数を毎年度100人以上とする。また、平成28年度～30年度の受講生が生み出したプロジェクト数を毎年度20件以上とする。	市民局 市民プロジェクト推進担当
	C		卒業生によるプロジェクトが実現されたが、受講者数、プロジェクト数とも目標に達しておらず、事業の周知を図っていく必要がある。				

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課
				点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課
	②	コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの促進	起業支援センター「アシ☆スタ」において、地域社会の課題解決を目指すコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに関するセミナーを開催し、当該分野特有の起業知識の修得や起業実例に触れる機会を提供するほか、市民活動サポートセンターとも連携し、相談機能を充実させる。	起業支援センター「アシ☆スタ」、起業支援施設「INTILAQ」において、地域社会の課題解決を目指すコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに関するトークイベントの実施のほか、市民活動サポートセンターと連携し、「起業・創業なんでも相談DAY」を実施した。また、社会起業家個別集中支援プログラム「SOCIAL IGNITION Accelerator」を実施し、12名の社会起業家を輩出した。		(平成28年度) ソーシャルビジネスセミナーの参加者を20人とする。 (平成29年度～) 実績やニーズをもとに事業内容を検討し、実施していく。	市民局 市民協働推進課 経済局 産業振興課
				A	着実に進捗した。		
	③	ストック活用型都市再生推進事業（せんだいリノベーションまちづくり）	遊休不動産を所有する不動産オーナーや起業を目指す方々へ、リノベーションまちづくりに関する情報発信を行うことに加え、シンポジウムやセミナーの開催を通じて、継続的にまちづくりに携わる意欲のある人材の発掘・育成を図るとともに、リノベーションまちづくりを持続的に担う民間主導の体制構築を目指す。	リノベーションまちづくりに関する情報発信を行うとともに、まちづくりの新たな担い手として、継続的にまちづくりに携わる意欲のある人材の発掘やネットワークの拡大を図ることを目的に「せんだいリノベーションまちづくりセミナー」を開催した。 会議の開催数：4回 事業可能性が高い民間遊休不動産や公共空間をテーマとして、収益を上げつつ、自立的に公共性を担うための事業計画を検討する「せんだいリノベーションまちづくりスクール」を開催した。 スクールの開催数：2回 民間不動産対象物件数：1件 （平成28年度からの延べ対象件数6件） 公共空間対象物件数 ：4件 （平成28年度からの延べ件数7件）		リノベーションスクールにおける民間不動産の対象物件数を平成29年度末で5件以上に増加させる。 リノベーションスクールにおける公共空間の対象物件数を平成29年度末で2件以上に増加させる。	都市整備局 都心まちづくり課 （市街地整備調整課）
				A	着実に進捗した。		
（3）市民からの提案に基づく協働事業の拡充							
	①	市民協働事業提案制度の充実	市民活動団体や地域団体、企業等の市内で活動する団体から地域の課題解決や魅力の向上に資する事業の提案を募集し、関係部局が協働で取り組む。	提案団体と担当課が協働で行ったことにより、両者の相乗効果が発揮された事業内容となった。 応募事業件数：11件 実施事業件数：5件		平成28年度～30年度の毎年度4件以上の協働事業を実施する。	市民局 市民協働推進課
				A	目標を達成し、着実に進捗した。		

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成29年度担当課	
				点検結果				
	②	協働の手引き・事例集の作成	協働による事業を推進するため、協働の進め方や評価の方法などを含む協働の手引きや事例集を市民とともに作成する。	協働まちづくり推進委員会委員で組織されるアクションチームの企画内容を踏まえ、協働の手引き・事例集と協働まちづくりのプロモーション動画を市民とともに作成した。		平成29年度までに協働の手引き・事例集を市民参加により作成し、広く周知を図っていく。	市民局 市民協働推進課	
				A	着実に進捗した。今後は作成した冊子と動画を活用し、協働によるまちづくりの推進を図る。			
	(4) 協働の理解を広め、多様な主体間の協働を推進するための人材の育成							
	①	ともにまちづくりを行える職員の育成	①市民協働に関する職員研修 職員の協働に関する理解を深めるため、その考え方や取り組み事例等を学ぶ基礎的な研修を実施する。	新規採用職員研修受講者数：241人 係長Ⅰ部（総合・協働）受講者数：153人		新規採用職員（200人程度）に加え、平成28年度から、係長職昇任者（150人程度）に必修化する。	総務局 職員研修所	
				A	着実に進捗した。			
			②地域づくり職員研修 地域づくりに携わる職員を対象に研修を実施することにより、地域づくりに取り組む職員の意識啓発やスキルアップを目指す。	新任まちづくり担当職員研修参加者数：33人 ふるさと支援担当職員研修参加者数：37人 地域づくり担当職員研修参加者数：26人		平成28年度～30年度の研修参加数を毎年度20人程度とする。	市民局 地域政策課	
				A	着実に進捗した。			
			③協働推進人材育成事業 職員の協働に対する意識やコーディネート能力などのスキルを高めることにより、庁内の協働推進を図る人材を育成するため、市民活動団体等へ職員を派遣する体験型事業を実施する。	市民活動団体等へ派遣された職員数：20人 受入団体数：14団体		平成28年度～30年度に毎年度20人程度派遣する。	市民局 市民協働推進課	
				A	着実に進捗した。			
	②	市民活動サポートセンターにおける人材育成	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動の基礎知識を学ぶ機会や市民活動を体験する機会を提供するほか、仙台市のまちづくりに関してともに考え意見を交わす機会を設けるなど、まちづくりに関わる人材の育成につなげる。	市民活動やまちづくりの担い手となる人材を育成するために、講座やセミナー等を開催した。 講座・セミナー等の参加者数：317人		平成28年度～30年度の人材育成のための研修の延べ参加者数を、毎年度300人以上とする。	市民局 市民協働推進課	
				A	参加者数が目標を上回り、着実に進捗した。			

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
				点検結果		※（ ）内は 平成29年度担当課
	③	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	地域の実態把握、住民組織同士の連携のコーディネートや各関係機関との連絡調整などを通して、地域住民が地域の福祉課題に主体的・組織的に取り組むための体制づくりを支援する専門職「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」を、（社福）仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所に配置する。 CSWのスキルアップを図り、復興公営住宅整備地域における新たなコミュニティ形成や、市内各地における地域住民主体の支え合い・助け合い体制づくりのための支援を行う。	（社福）仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所にCSWを配置し、復興公営住宅整備地域における新たなコミュニティ形成や、市内各地における地域住民主体の支え合い・助け合い体制づくりのための支援を実施した。また、CSWのスキルアップのための研修会を開催した。 CSW実践者研修会開催数：3回	CSWのスキルアップのための研修会を年3回以上開催する。	健康福祉局 社会課
				A	着実に進捗した。今後、復興期に得た支援活動のノウハウを市内各地域への支援に活用していくため、CSW活動の体系化とスキルアップを図っていく。	
	④	地域包括支援センター運営事業	地域包括ケアシステムにおいて中核的な役割を担う50か所すべての地域包括支援センターの機能強化を図るため新たに配置した職員を中心に、地域のネットワークづくりを行いながら、地域での支え合い体制の充実を図る。	介護予防自主グループの育成・支援に向けた研修の実施をはじめ、地域での支え合い体制の充実を図った。 介護予防自主グループ数：216団体	地域で自主的に介護予防に取り組む介護予防自主グループ数を平成30年度までに200グループ以上にする。	健康福祉局 地域包括ケア推進課
				A	着実に進捗した。	
	⑤	仙台すくすくサポート事業	育児の援助を受ける方（利用会員）と育児の援助を行う方（協力会員）が会員となつて行う市民相互の育児援助活動であり、仙台すくすくサポート事業事務局が会員登録や仲介を行い、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を協力会員の中から選任されたサブリーダーが行っていく。	日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。 ・登録会員数 利用会員：3,056人 協力会員：485人 両方会員：129人 計3,670人 ・サブリーダー：9人 ・活動回数：7,571回	—	子供未来局 総務課
				—	予定通り取り組みを進めた。	

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
				点検結果		※（ ）内は 平成29年度担当課
	⑥	市民センターにおける地域づくり支援 【再掲】	①住民参画・問題解決型学習推進事業 地域特性に応じた市民協働によるまちづくりを推進するため、地域住民と市民センター職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、さまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成する。 ②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。 ③若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。	各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域課題解決に向けた取り組みとして、住民参画型の講座を実施した。また、本事業を広く市民に広報するため成果報告会を開催した。 講座数：6講座 受講者数：74人（新規38人） 各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域の中で役割を持ったり、社会の構成員としてまちづくりに参加したりする取り組みとして、子ども参画型の講座を実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。 子ども参画について、特色のある取り組みを行っている石巻市と交流した。 講座数：9講座 受講者数：114人（新規57人） 各区中央市民センターにおいて、フィールドワークを通して受講者である若者が、地域の活性化に向けた事業を企画・実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。 講座数：5講座 受講者数：96人（新規47人） ①から③の総計での新規参加者の割合:50.0%	事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。	教育局 生涯学習支援センター
				A	着実に進捗した。今後も、市民が主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。	

事業番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成29年度担当課
			点検結果			
2 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項						
市ホームページの充実やオープンデータの活用により、市政に関する情報公開を推進するとともに、パブリックコメント等の実施により、政策の企画・立案・評価等の事業の各段階において、市民意見の提出・集約の機会の確保に取り組みました。						
（１）市政に関する情報の公開の推進						
①	仙台市ホームページの充実	市民が市政情報を得られやすく、また、タイムリーでわかりやすい情報発信を進めるため、仙台市ホームページをリニューアルするとともに、効果的な広報を行うための職員向け研修を実施する。	平成28年10月のホームページリニューアル実施以降、情報発信の迅速化とウェブアクセシビリティの向上が図られた。 また、効果的な広報を行うため、これまでのCMS操作研修、ウェブアクセシビリティ研修に加え、分かりやすい文章の書き方研修、知的財産権研修を行った。 平成29年度ホームページ更新件数：19,993件		平成30年度までに、ホームページ更新件数を年間24,000件以上とする。	総務局 広報課
			C	平成28年度に比べホームページ更新件数が減少している。目標達成に向けて、各種研修の場などで受講者に対し、より積極的な広報を呼びかけていくとともに、市民向けの記者発表（投げ込み）を行った部署に対し、忘れずにホームページへの掲載を行うよう注意喚起する。		
②	オープンデータの活用推進	公共データを、誰もが自由に複製・加工でき、商用利用もできるルールで提供するオープンデータの取り組みについて、ホームページ上で既に公開している情報などを中心にさらなる拡充を進める。 また、オープンデータの利活用推進を図るため、アイデアソン※等のイベントを開催していく。 ※アイデアソン…アイデアとマラソンを掛け合わせた造語で、特定のテーマについてアイデアを創出するイベント	情報化人材育成研修のメニューの一つである「ICTを活用した政策形成セミナー」（課長相当級を対象）を実施し、オープンデータの利活用による地域課題解決の事例や先進都市の取組事例等について、研修を実施した。 仙台市オープンデータカタログ登録件数：165件		—	まちづくり政策局 情報政策課
			—	オープンデータカタログ登録件数は着実に増えている。今年度も引き続き、庁内各課に声掛け等を行い、保有するデータのオープンデータ化を推進する。		
③	地域情報ファイルの活用推進	小学校区単位で、人口・地域施設・地域団体等の情報の充実、更新を行い、市のホームページ等で公表することにより、地域状況の把握と情報提供を行う。	「地域情報ファイル」を最新の情報に更新し、市のホームページ等で公表した。		—	市民局 地域政策課
			—	予定通り取り組みを進めた。		
（２）政策の企画、立案等における市民の意見の提出の機会の確保						
①	パブリックコメントの実施	基本的な計画等の策定過程において、広く市民から意見を求め、提出された意見に対する実施機関の考え方を明らかにするとともに、提出された意見を考慮して適切に計画等に反映させていく。	パブリックコメント実施件数：14件 （1件当たりの平均意見数：52件）		—	市民局 広聴統計課
			—	着実に取り組みを進めた。今後も広く意見を聴取するため、効果的かつわかりやすい周知方法の工夫に努める。		

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課	
				点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課	
	②	市政モニターによる 意見募集	市政に関する市民の意見を収集するため、 公募による市民を市政モニターとして委嘱 し、アンケート調査に回答いただき、施策の 企画や行政運営上の基礎的参考資料として活 用する。	市政モニター委嘱：200人 アンケート調査の実施：7回 平均回答率：93.1%		モニター公募の周知手段を工 夫し、幅広い属性の市民を毎年 度200人委嘱する。	市民局 広聴統計課	
				A	着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な 進捗管理に努める。			
	③	市民の声制度	市民の市政に対する提言、要望等を、「市 長への手紙」「インターネット」「要望・陳 情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政へ の適切な反映に努める。	市長への手紙 ： 1,009件 インターネット広聴 ： 1,114件 要望・陳情書 ： 1,376件 電話・来庁 ： 4,405件		—	市民局 広聴統計課	
				—	着実に取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続 き適正な進捗管理に努める。			
	④	障害者への適切な情 報提供および障害者 からの意見聴取の推 進	施策の企画・立案等の段階において、障害 者に対する適切な情報提供や障害者からの意 見聴取に努め、政策形成過程における障害者 の参画を推進する。 ①障害のある人もない人も暮らしやすいまち づくりを考える「ココロン・カフェ」の実施 障害の有無に関わらず暮らしやすい仙台を 目指して、障害者も含めた幅広い市民の参加 を募り、グループワーク形式で意見交換を行 う。	障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の 意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らし やすいまちづくりを考える「ココロン・カフェ」を実施し た。 実施回数： 6回 参加者数：126人		意見聴取の場として毎年度8回 実施する。	健康福祉局 障害企画課	
				B	実施回数が目標に達しなかったが、概ね進捗した。			
②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透によ る適切な情報提供・意見聴取の推進 「仙台市職員対応要領」を、研修や庁内広 報を通じて周知・浸透を図ることで、障害特 性等にあわせ手話通訳・要約筆記・点字資料 の提供など、障害者への適切な情報提供およ び障害者団体への意見聴取など、障害者から の意見聴取を推進していく。				障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報 提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な 対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実 施した。 新規採用職員研修（平成29年4月4日から4月7日まで） 参加者数：251人 管理職員研修（平成29年11月29日） 参加者数：85人		毎年度、新規採用職員研修 （約200人）、管理職向け研修 （約100人）、窓口等職員向け研 修（約100人）を実施する。		
B				一部目標に達しなかったが、概ね進捗した。今後、窓口職員など一般職員向け研修に についても実施していく予定である。				

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
				点検結果		※（ ）内は 平成29年度担当課
	⑤	東部地域移転跡地利活用推進事業	東部地域の集団移転後の跡地について、「交流とチャレンジ」をテーマとした仙台の新たな魅力を創出する場を目指し、シンポジウムや市民フォーラムなど多くの市民とともに考える場を設け、平成28年度内に利活用方針をとりまとめ具体的な利活用へと繋げていく。	利活用方針に沿った事業の実現に取り組みながら、他の事業者や地元活動者などの多様な主体と連携したまちづくりを本市とともに進めていただける事業者の募集を行った。応募のあった事業提案については、外部の専門家を含めた選定委員会による評価・選定結果をふまえ、4地区において事業を行う8事業者を候補者として決定した。	—	都市整備局 復興まちづくり課
				—	着実に取り組みを進めた。今後は、他地区においても事業候補者を決定できるよう、引き続き取り組みを進めていく。	
	(3) 政策または事業の方針、内容、評価等についての市民の意見の集約の機会の確保					
	①	施策目標に関する市民意識調査	基本構想に位置づけた都市像の実現や復興に向けたまちづくりに向けて、施策の推進状況に関する市民の評価やニーズの変化を継続的に把握し、その結果を施策の進捗管理に生かすことにより、本市の重点施策の推進を図る。	18歳以上の市民6,000人を対象に実施した調査結果をまとめ、公表した。 有効回収数：2,193票 有効回収率：36.6% (送付数：6,000通)	有効回収数を2,000票、有効回収率を33%以上とする。	まちづくり政策局 政策企画課
				A	着実に進捗した。	
	②	市民まちづくりフォーラム	重要プロジェクトについて市民参画による評価・点検を行うため、実施計画に掲げる重点的な取り組みの中からテーマを設定し、今後の施策に向けた意見・提案をいただく。	テーマ数：6テーマ 参加者数：52人(18歳以上の市民)	—	まちづくり政策局 政策企画課
				—	予定通り取り組みを進めた。	
	③	市政モニターによる意見募集【再掲】	市政に関する市民の意見を収集するため、公募による市民を市政モニターとして委嘱し、アンケート調査に回答いただき、施策の企画や行政運営上の基礎的参考資料として活用する。	市政モニター委嘱：200人 アンケート調査の実施：7回 平均回答率：93.1%	モニター公募の周知手段を工夫し、幅広い属性の市民を毎年度200人委嘱する。	市民局 広聴統計課
				A	着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。	
	④	市民の声制度【再掲】	市民の市政に対する提言、要望等を、「市長への手紙」「インターネット」「要望・陳情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政への適切な反映に努める。	市長への手紙：1,009件 インターネット広聴：1,114件 要望・陳情書：1,376件 電話・来庁：4,405件	—	市民局 広聴統計課
				—	着実に取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。	

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課	
				点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課	
	⑤	市民との対話の機会の確保	市長や区長をはじめ職員が直接市民と対話・交流する機会や場として、市民と市長の懇談会（市長とふれあいトーク）、市長と地域のつどい、地域懇談会、市政出前講座などを実施する。	市長とふれあいトーク：2回 地域懇談会・動く区長室：43回 市政出前講座：95回		市長とふれあいトーク（年10回程度開催）、地域懇談会、市政出前講座などを実施するほか、直接市民と対話・交流する機会や場の確保に努める。 ※事業再編に伴い、「市長とカフェトーク（年4回開催）、市長と地域のつどい（各区年1回）」から「市長とふれあいトーク（年10回程度開催）」に目標を変更する。	市民局 広聴統計課	
				B	市民と市長の懇談会は年央に事業再編を実施したため、回数は縮小したが、概ね進捗した。今後も多様な団体との懇談をとおして団体の活動の現状や課題を認識し、市政運営への反映に努める。			
	⑥	障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進 【再掲】	施策の企画・立案等の段階において、障害者に対する適切な情報提供や障害者からの意見聴取に努め、政策形成過程における障害者の参画を推進する。 ①障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・カフェ」の実施 障害の有無に関わらず暮らしやすい仙台を目指して、障害者も含めた幅広い市民の参加を募り、グループワーク形式で意見交換を行う。	障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・カフェ」を実施した。 実施回数： 6回 参加者数：126人		意見聴取の場として毎年度8回実施する。	健康福祉局 障害企画課	
				B	実施回数が目標に達しなかったが、概ね進捗した。			
			②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透による適切な情報提供・意見聴取の推進 「仙台市職員対応要領」を、研修や庁内広報を通じて周知・浸透を図ることで、障害特性等にあわせ手話通訳・要約筆記・点字資料の提供など、障害者への適切な情報提供および障害者団体への意見聴取など、障害者からの意見聴取を推進していく。	障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実施した。 新規採用職員研修（平成29年4月4日から4月7日まで） 参加者数：251人 管理職員研修（平成29年11月29日） 参加者数：85人		毎年度、新規採用職員研修（約200人）、管理職向け研修（約100人）、窓口等職員向け研修（約100人）を実施する。		
				B	一部目標に達しなかったが、概ね進捗した。今後、窓口職員など一般職員向け研修についても実施していく予定である。			

事業番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課
			点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課
(4) 附属機関等の委員の選任における人材の多様化と公募の実施						
①	附属機関等の委員の選任における人材の多様化	附属機関等の役割や性格に応じて適切な人材を確保し、幅広い意見の反映を図るため、情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努める。	情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努めた。		—	総務局 行財政改革課
			—	事業内容通り取り組んでおり、今後も長期及び重複委嘱を避ける取り組みを継続する。		
②	附属機関等の委員の公募の推進	附属機関等の役割や性格に応じて委員を公募することにより、公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図る。	公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図った。 公募委員のいる附属機関等の数：10機関		—	総務局 行財政改革課
			—	事業内容通り取り組んでおり、今後も引き続き公募機関の増加に努める。		
③	附属機関等における女性委員の登用率の向上	市政に重要な役割を果たす審議会等の委員に女性を積極的に登用し、政策形成、意思決定の場における女性の参画を促進する。	審議会等の委員選考にあたっては、男女共同参画課へ事前協議を行うことを徹底し、女性の積極的な登用促進に努めた。 平成29年度末女性委員登用率：37.5%		すべての附属機関等に女性委員が就任している状態の維持に努める。また、女性委員の比率の向上に努める。（参考：平成32年度末までに40%以上）	市民局 男女共同参画課
			C	平成28年度末の37.9%から0.4ポイント減少した。引き続き、事前協議の徹底と指導に努め、女性の積極的な登用促進を行っていく。		

事業番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課
			点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課
3 多様な主体による活動の促進に関する事項						
若者の社会参加を促進する事業を実施することで、次の世代のまちづくりの担い手となる若者の育成を推進するとともに、区民協働まちづくり事業などを通じて、町内会をはじめとした地域で活動する団体が行う地域活性化のための活動の促進を図りました。						
また、事業者による社会貢献活動を促進するための事業を行うとともに、市民活動サポートセンターにおける「マチノフWEEK」などの各種イベントを通じた多様な主体の交流促進や、多様な主体の活動等に関する情報の収集・発信に取り組みました。						
（１）次の世代のまちづくりの担い手となる若者の育成						
①	市民活動サポートセンターにおける若者の育成に関する支援・環境整備	市民活動サポートセンターにおいて、通信環境の整備やフリースペースの利便性向上など、若者の主体的な活動を促進する環境を整備するとともに、各関係機関と連携しながら若者の活動を支援することで、次世代のまちづくりの担い手を育成する。	若者を対象とした人材育成事業を関係機関とも連携しながら実施したほか、学生団体等の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供した。		平成28年度～30年度の若者の人材育成に資する事業を、関係団体等と連携しながら、毎年度2事業以上とする。	市民局 市民協働推進課
			A	着実に進捗した。		
②	若者の社会参加促進事業（仙台ミラソン）	将来の仙台のまちづくりの担い手となる人材の育成と、市職員の政策形成力の向上を目的として、学生を中心とした若者とIT関係者、市職員等が地域課題の解決策の企画・立案やフィールドワークを重ねる「仙台ミラソン」を実施する。	本市が提供したテーマや、参加した若者が自らが見つけた地域課題の解決に向けて、5チームが解決策の企画立案・実施に取り組んだ。		平成28年度～30年度の研修参加者を毎年度50人以上とする。	市民局 市民協働推進課
			A	着実に進捗した。		
③	まちづくり人材育成と情報発信事業（WE SCHOOL） 【再掲】	東西線開業を契機に高まった市民のまちづくりへの機運を広げ、まちのにぎわい・楽しさの創出や地域の課題解決を図り、地域の魅力を向上させていくことを目的に、まちづくりのプロジェクトをつくり実現を目指す人材の育成と、メディアを活用した市民によるまちの情報発信の促進を行う。	まちづくり人材育成講座「WE SCHOOL」を開講し、同講座の受講生が企画するプロジェクトの実現化に向けたサポートを行った。		平成28年度～30年度のWE SCHOOL受講者数を毎年度100人以上とする。また、平成28年度～30年度の受講生が生み出したプロジェクト数を毎年度20件以上とする。	市民局 市民プロジェクト推進担当
			C	卒業生によるプロジェクトが実現されたが、受講者数、プロジェクト数とも目標に達しておらず、事業の周知を図っていく必要がある。		

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課
				点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課
	④	大学連携地域づくり事業	①大学連携地域づくり事業 大学の知的資源や学生のパワーを生かしたまちづくりを積極的に進めていくため、大学と協定を結び連携協力活動を進める。	地域情報の収集と情報提供（地域イベントのチラシ、ポスター作成）に関して連携した。また、各大学が地域に入り、夏祭り等の地域イベントの企画・協力やステージの参加を行った。		地域と大学がイベント等の企画段階から連携する事業を、6大学がそれぞれ1事業以上実施する。	泉区 まちづくり推進課
				実施事業数：53事業/6大学 泉区6大学まちづくりフェスティバル （大学の地域活動の発表およびワークショップ） 参加者数：約100人		※新たに宮城学院女子大学と、仙台市泉区における大学と地域との連携協力に関する協定を締結したことに伴い、目標を「5大学がそれぞれ1事業」から「6大学がそれぞれ1事業」に変更する。 以下同様に、「5大学」から「6大学」に目標を変更する。	
			A		着実に進捗した。		
			②大学・地域連携による課題解決事業助成 高齢化などの課題を抱える地域が、知見を有する大学と連携しながら課題解決や地域活性化に取り組むための経費を助成し、魅力的な地域づくりの推進を図る。	少子高齢化の地域課題に対して、5つの事業分科会を設置し、大学の知見や学生の力を活用しながら地域づくりに取り組んだ。 実施事業：加茂ハッピータウン活動 （加茂まちづくり協議会、東北学院大学、聖和学園短期大学）		1大学1地域で事業を実施する。	泉区 ふるさと支援担当
		A		着実に進捗した。			
		③いずみ絆プロジェクト支援事業 地元5大学の学生等が行う地域課題解決や地域活性化事業、特色ある地域づくり活動に要する経費を助成する。	助成金交付事業数：10事業（6大学）		6大学がそれぞれ1事業以上実施する。	泉区 まちづくり推進課	
			A		着実に進捗した。		
		④まちづくり同盟助成事業 地域活動に関わる学生間の組織である「まちづくり同盟」の組織強化を図り、学生による地域連携のプラットフォーム機能を充実する。	活動体制の整備に向け、活動拠点場所の検討を図った。		まちづくり同盟の構成員として6大学から各2人以上参加する。		
			C		同事業の方向性について検討中である。		

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成29年度担当課
				点検結果			
	⑤	学校支援地域本部事業	市民が学校を支援する活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育成する体制を構築することにより、子どもたちに地域での豊かな体験活動の機会を提供する。	中学校区内において学校支援地域本部設置校との連携を進める支部校や連携校、連携体制づくりに関する管理職への説明や情報提供、地域連携担当教員やスーパーバイザーへの研修等での周知により、市内140校において学校支援地域本部と連携した活動を取り入れることとなった。		学校支援ボランティアの延べ人数を次のとおりとする。 （平成28年度）100,000人 （平成29年度）105,000人 （平成30年度）110,000人	教育局 学びの連携推進室
			学校支援ボランティアの延べ人数 （平成29年度）101,246人				
				B	学校支援ボランティアの延べ人数が目標に達しなかったが、概ね進捗した。今後も支援内容の充実に取り組む。		
	⑥	市民センターにおける若者の支援	①若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。 ②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。 ③ジュニアリーダー育成・支援 ジュニアリーダーの活動に必要な知識、技術の習得を目的とした各種研修会の開催や、さまざまな社会的な活動への参加支援など、中高生のボランティア団体であるジュニアリーダーへの育成・支援を行う。	各区中央市民センターにおいて、フィールドワークを通して受講者である若者が、地域の活性化に向けた事業を企画・実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。 講座数：5講座 受講者数：96人（新規47人） 各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域の中で役割を持ったり、社会の構成員としてまちづくりに参加したりする取り組みとして、子ども参画型の講座を実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。 子ども参画について、特色のある取り組みを行っている石巻市と交流した。 講座数：9講座 受講者数：114人（新規57人） 各区中央市民センターにおいて初級研修会、生涯学習支援センターにおいて中級・上級・実践の各研修会を実施した。 初級研修会受講者：129人 中級研修会受講者： 55人 上級研修会受講者： 21人 実践研修会受講者： 27人 ジュニアリーダー登録者数：445人（新規登録者数141人） ①から③の総計での新規参加者の割合:37.4% ジュニアリーダー活動率：71.5%		事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上、ジュニアリーダー育成支援に関しては、活動率を75%以上とする。	教育局 生涯学習支援センター
				B	ジュニアリーダー活動率は目標に達しなかったが、新規参加者の割合は目標を上回っており、概ね進捗した。今後も、社会や地域で活躍できる人材の育成に取り組む。		

事業番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成29年度担当課
			点検結果			
(2) 町内会等の地縁団体その他地域で活動する団体による地域を活性化する活動の促進						
①	地域防災リーダー養成・支援事業	仙台市地域防災リーダー（SBL）の養成を進めるとともに、SBLのスキルアップや情報の共有、ネットワーク化の推進等を図るため、バックアップ講習等を実施し、自主防災活動の活性化を図っていく。	平成28年度以降は600人程度の人数を維持していく方針として、SBL養成講習会を実施し、平成29年度は新たに52人をSBLとして認定した。また、平成24年度～28年度に認定したSBLを対象として、SBL全体のバックアップ講習会を平成29年7月に、居住区ごとのバックアップ講習会を同年10月～12月に開催し、自主防災活動の活性化に向けたスキルアップを図った。		毎年度新規養成を図り、600人程度を維持していく。	危機管理室 減災推進課
			平成24年度～29年度までの養成人数：690人			
			A	着実に進捗した。		
②	区役所のまちづくり拠点機能の強化【再掲】	地域の特性に応じたきめ細かな地域づくりを進めるため、地域団体への効果的な支援を実施できるよう組織的な体制を充実させるとともに、区役所の政策形成力の向上を図る。さまざまな情報や人材が集まる市民センターにおいて、そのコーディネート機能を生かし、地域団体間のネットワーク形成を図る。また、区役所の組織である区中央市民センターが所管区内地区市民センターの総合調整を図り、市民センターと区役所が一体となった地域づくりを推進する。	平成29年度から「ふるさと支援担当課長」の配置等により各区・総合支所のまちづくり部門の体制を強化し（職員増員）、地域課題解決のためのモデル事業「ふるさと底力向上プロジェクト」の実施等の取り組みを行った。また、平成30年度から各区中央市民センターの体制を強化し、所管区内市民センター支援の充実を図ることとした。		—	市民局 地域政策課 各区 総務課
			— 上記のとおり着実に取り組みを進めた。今後、ふるさと底力向上プロジェクトの進捗管理や振り返りを適切に行うとともに、区役所のまちづくり拠点機能のさらなる強化について関係部署と協議・検討を進める。			
③	地域力創造支援事業の推進	市民センターのコーディネート機能を生かして、町内会をはじめとした地域団体等と協働・連携し、コミュニティ形成等をテーマとした地域課題の発掘と解決を図る。	コミュニティ形成等をテーマとし、地域課題の発掘と解決を図る地域力創造支援事業を実施した。		（平成28年度）20地区で実施する。 （平成29年度）30地区で実施する。	市民局 地域政策課
			実施地区：28地区			
			B	目標には届かなかったが、概ね進捗した。今後、市民センターのコーディネート機能を生かしたさらなる地域づくりのため、新たに市民センターにおける地域を担う人づくり支援推進事業を各地区で展開するとともに、本事業については実施期間が3年に満たない地区において継続する。		

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成29年度担当課	
				点検結果				
	④	町内会等住民自治組織育成事業	町内会等住民自治組織の活性化を図るため、財政的支援を行うとともに、町内会の運営に資する研修や町内会等役員永年勤続表彰式等を実施する。 また、近年課題となっている、集合住宅における町内会形成の促進を図る。	町内会等育成奨励金等をはじめとした各種助成金等の交付や各区役所において町内会長等を対象とした研修、一定年数を務めた町内会長等に敬意と謝意を示すための市長表彰を実施したほか、マンションのコミュニティ形成を進めるためリーフレットやチラシ等による周知等を行った。 研修会実施回数：18回 町内会等育成奨励金交付世帯数：403,905世帯		—	市民局 地域政策課	
	—		予定通り取り組みを進めた。					
	⑤	地域安全対策事業	①仙台市防犯団体に対する補助金交付事業 犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金交付件数：77件		—	市民局 市民生活課	
				—		予定通り取り組みを進めた。		
			②仙台市地域安全安心まちづくり事業 地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。	安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。 補助金交付件数：11件		仙台市地域安全安心まちづくり事業補助件数について、毎年度20件程度補助する。		
				C	補助金交付件数が目標を下回っているため、今後、地域において自主的な防犯活動を行う団体に対し、制度の周知を図る。			
			③落書き消去支援事業 各区・総合支所の担当部署において、消去活動に取り組む個人・団体等に活動に必要な用具（消去剤、ウエス、バケツ等）の貸出を行う。	貸出件数：2件		—		
				—		予定通り取り組みを進めた。		

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
				点検結果		※（ ）内は 平成29年度担当課
	⑥	交通安全事業	①地域等と取り組む交通安全運動の実施 各区・総合支所の担当部署において、町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、交通ルールと正しい交通マナーの実践に向けて地域での交通安全啓発活動を実施する。 ②仙台市交通安全指導団体への支援 地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営および活動費の一部を支援する。 また、各区等において各地区等交通安全協会の活動に対し補助金を交付する。 ③PTAによる交通安全誘導活動への支援 市内小学校の通学路等における交通安全誘導活動および啓発活動に使用するブルゾンやベスト等の用品を提供する。	町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、春と秋の交通安全運動をはじめとした各種街頭キャンペーンや定期的な交通指導、学校等において交通安全教室を実施した。 仙台市交通安全母の会連合会の事務局として連合会の運営を支援した。また、仙台市交通安全母の会連合会および各地区交通安全協会等の活動に対し補助金を交付した。 補助金交付件数：8件 仙台市PTA協議会を通じ、市内小学校111校にブルゾンやベスト等の用品を提供した。 本市の年間交通事故死亡者数：16人	本市の年間交通事故死亡者数が、これまでの最小値※を下回るよう、関係機関・団体との協働による交通安全運動を積極的に推進する。 ※指定都市移行後の最小値（18人）	市民局 自転車交通安全課
				A	着実に進捗した。	
	⑦	小地域福祉ネットワーク活動推進事業	高齢者、障害者、子育て家庭等、誰もが住み慣れた地域で自立して安心した生活が送れるよう、見守り活動やサロン活動等の地域における支え合い・助け合い活動を推進するため、地区社会福祉協議会を実施主体として、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体と連携しながら実施する地域福祉活動の費用の一部を（社福）仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。	市内104の地区社会福祉協議会が実施する小地域福祉ネットワーク活動に係る費用の一部を（社福）仙台市社会福祉協議会を通じて助成した。また、担い手の育成やスキルアップのための研修会を開催した。 助成件数：104件 地域福祉活動従事者研修会開催数：年2回	地域福祉活動従事者への研修会を各区事務所において年2回以上開催する。	健康福祉局 社会課
				A	着実に進捗した。今後、地域ごとの活動の温度差を解消し、市全体の福祉力を向上させるために、関係機関と連携して支援を進めていく。	
	⑧	老人クラブ活動への支援	助成金の交付や研修等を通して、老人クラブ活動等の一層の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進するとともに、地域での支え合い活動の充実を図る。	老人クラブに対し、地域社会福祉活動に関する助成金の交付を行ったほか、各区で1回ずつ、計5回研修を実施した。 地域社会福祉活動を行う老人クラブの割合：42.6%	毎年度各区で研修を実施することにより、地域社会福祉活動を行う老人クラブ数の割合を平成30年度までに40%以上に増加させる。	健康福祉局 高齢企画課
				A	着実に進捗した。	

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
				点検結果		※（ ）内は 平成29年度担当課
	⑨	地域での子育て支援 団体に対する活動支援	育児サークルや子育てサロン、託児ボランティアなどの地域における子育て支援活動の活性化を図るとともに、地域でのネットワーク活動を推進し、研修や交流会を開催するほか、子育て支援活動団体の登録による広報等の支援を行う。	育児サークルおよび子育てサロン、託児ボランティア、さまざまな子育て支援団体を登録し、本市のホームページで詳細を公表することなどにより、活動の活性化につなげている。 登録団体数：149団体 育児サークル、子育てサロン：112団体 託児ボランティア：6団体 さまざまな子育て支援団体：31団体	毎年度の登録団体数160団体程度を維持していく。	子供未来局 総務課
				B	登録団体数が減少してはいるが、概ね進捗した。地域における子育て支援活動をさらに活性化させるため、広報等の支援を行っていく。	
	⑩	地域子育て支援クラブ等各種団体への支援事業	児童福祉の推進と青少年の健全な育成を図るため、地域子育て支援クラブや青少年健全育成団体等へ助成金を交付する。	助成金交付団体数 地域子育て支援クラブおよび同協議会：86団体 青少年健全育成団体：13団体	—	子供未来局 子供相談支援センター
				—	予定通り取り組みを進めた。	
	⑪	多様な主体との連携によるごみ減量・リサイクル推進	①地域でのごみ減量・リサイクル推進 クリーン仙台推進員によるごみ排出実態調査の実施や、町内会やクリーン仙台推進員、環境団体、学生、事業者等と行政との連携による、集積所等でのごみ減量・分別推進の啓発活動等を通じて、地域でのごみ減量・リサイクル推進に向けた課題を共有しながら、効果的な啓発活動や環境美化活動を推進する。	クリーン仙台推進員ごみ集積所排出実態調査 調査に参加した推進員数：821人 調査に参加した推進員以外の協力者数：833人 調査集積所数：1,399か所 ごみ減量調査啓発を実施した団体数（調査に参加した町内会等の団体数）：331団体 「WAKE UP!!仙台ごみ減量キャラバン」 地域住民との協働によるごみ集積所等での調査啓発活動を全庁を挙げて実施し、次年度以降の取り組みに向けて市民参加イベント等で振り返りと評価を行った。 調査に参加した市職員数：364人 調査集積所数：541か所 ごみ減量等啓発を実施した団体数：163団体 （調査に参加した町内会等の団体数） WAKE UP!!CAMPUS事業（学生による学生向けのごみ分別を呼び掛けるプロジェクトチームによる啓発活動） 参加大学数：8校11名	平成30年度までに、町内会等と行政との協働によるごみ減量等啓発を実施する団体数300以上を目指す。	環境局 家庭ごみ減量課
				A	着実に進捗した。市民協働によるごみ減量PDCAサイクルの構築を図りながら、取り組みを進めて行く。	

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課	
				点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課	
			②集団資源回収事業 資源物（紙類・布類・アルミ缶等）の有効利用を図るとともに地域コミュニティづくり等に資するため、地域で集団資源回収を実施する団体の活動を支援する。	集団資源回収実施団体には奨励金を交付し、広報物として「集団資源回収のてびき」、リーフレットを配布。 集団資源回収実施団体：1,321団体 （全町内会数に占める割合：95.3%）		集団資源回収実施団体の全町内会数に占める割合を90%以上とする。		
			A	着実に進捗した。実施団体数維持のため、今後も引き続き活動支援を行っていく。				
			③クリーン仙台推進員制度 ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、生活環境の保全のため、地域で取り組むリーダーを育成するとともに、その活動を支援する。	クリーン仙台推進員制度委嘱者：2,483人 （推薦町内会の割合：59.0%） 排出実態調査実施推進員数：821人 （参加推進員割合：33.1%）		平成30年度までに、クリーン仙台推進員を推薦する町内会の割合を60%以上、排出実態調査を実施するクリーン仙台推進員の割合を40%以上を目指す。		
				B	概ね進捗した。なお、排出実態調査へ参加した推進員は前年度より6.7%増加したが、推進員委嘱者が大幅に増加したため参加率としては相対的に低くなった。			
			④ごみ集積所維持管理の支援 地域住民によるごみ集積所の清潔保持や環境美化の取り組みを支援するため、集積所の維持管理に関する助言や、啓発ポスターおよび飛散防止用ネットの配布を行う。 また、町内会等の申請に基づき、市が集積所の管理状況等を診断し、排出状況等が優秀な場合に、「五つ星集積所」として顕彰し、適正排出・適正管理を促進する。	飛散防止用ネット配布数：1,522枚 五つ星集積所診断数：58か所 （うち五つ星集積所認定数：33か所）		—		
				—	予定通り取り組みを進めた。五つ星集積所は、前年度を下回ったため、平成30年度は地域への働きかけを強めていく。			
	⑫	市民連携農業推進事業（地域イベント支援）	農業を基軸とした地域における地域の特性と資源等を活かした住民主体の地域づくり活動の推進を図るため、地域団体が自主的に取り組む事業に対して助成金を交付する。	農産物の産直市、試食会などを行うイベントに対し、助成を行った。 助成金交付実績：2件		毎年度の交付件数を2件程度とする。	経済局 農政企画課	
				A 着実に進捗した。				
	⑬	スポーツ推進に係る支援事業	①仙台市スポーツ推進委員協議会 仙台市スポーツ推進委員により、本市が行う体育・スポーツ振興事業への参画および推進や地域スポーツ振興のための啓発や調査・研究、地域団体との連絡調整、地域住民へのスポーツ等の技術指導を行う。	仙台市スポーツ推進委員協議会が行うスポーツ振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。		—		文化観光局 スポーツ振興課
				— 着実に取り組みを進めた。スポーツ振興事業の推進、地域スポーツ振興を図るため、引き続き同協議会への支援を行う。				

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課
				点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課
			②仙台市学区民体育振興会連合会育成補助 地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進めている仙台市学区民体育振興会連合会に助成する。	仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。		—	
				—	着実に取り組みを進めた。地域スポーツ活動を通じた健康増進、地域づくりを進めるため、引き続き同連合会への支援を行う。		
			③仙台市体育協会育成補助 種目別競技団体による市民の体育を振興し、健全なスポーツ精神を養成している仙台市体育協会に助成する。	仙台市体育協会が行う各種競技会、体力・競技力向上等に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。		—	
				—	着実に取り組みを進めた。市民の体力・競技力向上を図るため、引き続き同協会への支援を行う。		
	⑭	まちづくり支援専門 家派遣事業 【再掲】	地域の活性化を図る活動やまちづくり計画を作成する活動など、地域住民が主体となって活動を行う団体に対し、まちづくり支援の専門家を派遣することにより、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行う。	地域団体からの相談に応じてまちづくり専門家を派遣し、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行い、地域主体のまちづくり活動を支援した。 派遣地区：12地区		平成28年度～30年度における派遣地区を単年度平均で15地区以上とする。	都市整備局 都市計画課
				B	概ね目標に沿う水準で進捗した。地域における制度の活用が図られるよう、更なる周知に努める。		
	⑮	まち再生・まち育て 活動支援事業	今後の都市の持続ある発展を担う、地域主体のまちづくりを推進するため、まちの再生やまちを育てるエリアマネジメント等の活動を継続的に支援する。また、行政と地域が連携してエリアマネジメントに取り組んでいくための仕組みづくりを行うとともに、他地域において同様の取り組みを展開していくための課題の整理を進める。	荒井東地区の荒井東1号公園における、地元まちづくり団体の取り組み（新たな園内施設整備）について、公園管理者との協議・調整に係る助言などの支援を実施した。 また、他地域への展開を視野に入れ、荒井駅前広場をモデルケースとした公共空間利活用の可能性を検討する業務の委託発注を行い、実現性の検討や課題整理を進めた。 さらに、賑わいづくりを目的として実際に道路空間を利活用する実証実験を委託発注し、地元まちづくり団体が主催する賑わいづくりイベントの一部において実施した。		—	都市整備局 地下鉄沿線まちづくり課（市街地整備調整課）
				—	予定通り取り組みを進めた。今後は地元まちづくり団体の新たな取り組みに対し、平成29年度の検討を踏まえて具体的な課題整理や関係部署との協議・調整を進めていく。		

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
				点検結果		※（ ）内は 平成29年度担当課
	①⑥	各種緑化支援事業	①花壇づくり助成事業 地域の公有地（学校除く）に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子ども会など地域の団体を対象に、材料や管理に係る費用の一部を助成する。 ②花いっぱいまちづくり助成事業 道路や広場等公共の空き地や道路に面するショーウィンドウ等にプランターや花壇を設置し管理する事業を行う商店街に対し、材料や管理に係る費用の一部を助成する。 ③緑化木植栽助成事業 緑豊かな街並み形成を目的に、自らの労力で直接樹木を植栽しようとする町内会や老人クラブ、市民活動団体などを対象に、植栽に要する資材の費用の一部を助成する。	各種緑化支援事業などを通し、民有地緑化を推進した。 ①～③の助成による花壇等面積：19,829㎡ 花壇づくり助成件数：284件(18,995㎡) 花いっぱいまちづくり助成件数：7件 緑化木植栽助成件数：3件(834㎡)	①～③の助成による花壇等面積を毎年度19,000㎡以上とする。	建設局 百年の杜推進課
				A	着実に進捗した。	
	①⑦	市民参加によるみどりのまちづくり事業	①緑の活動団体 本市内における緑の保全・創出・普及に係る活動を自主的に行う団体を、「緑の活動団体」として認定し、希望する団体には活動助成金の交付を行う。	認定団体数：22団体 助成件数：12件 交流会参加率：59.0%	団体相互の情報交換や共有を図る交流会への参加率を60%以上とする。	建設局 百年の杜推進課
				B	概ね進捗したが、今後、より多くの団体の参加を図るための検討を行う必要がある。	
			②公園愛護協力会 公園の除草清掃、花壇の管理、遊具等の点検などを自主的に行う団体である公園愛護協力会への活動支援として刈払機の貸出、報償金の支給や、功労者としての表彰・推薦等を行う。	各団体へ報償金の支給や刈払機の貸出等の活動支援を行うとともに、功労者の表彰・推薦を行った。 新規結成：22団体	新規結成を毎年度15団体以上とする。	建設局 公園課
				A	着実に進捗した。	

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課
				点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課
	⑱	区民協働まちづくり事業	市民と行政との協働により、地域特性に応じたきめ細かな地域づくりを推進する。 ①企画事業 市民の創造性と意欲を最大限に生かし、地域課題の解決、地域の活性化および特色ある地域づくりを推進する。 事業実施後においては、評価を適切に行いながら、事業の一層の充実や見直しを図っていく。 ～各区の主な企画事業～（平成29年度） （青葉区） 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演事業 回文の里づくり事業 （宮城野区）地域はっぴい子育て支援事業 すずむしの里づくり事業 （若林区） 六・七郷堀サポーターズ 合唱のつどい （太白区） ディスカバーたいはく 秋保ミュージアム環境整備支援事業 （泉区） 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル 七北田川クリーン運動	企画事業数 青葉区： 11事業 宮城野区： 9事業 若林区： 12事業 太白区： 13事業 泉区： 15事業		—	各区まちづくり推進課、ふるさと支援担当 宮城総合支所まちづくり推進課 秋保総合支所総務課、ふるさと支援担当
				— 予定通り取り組みを進めた。			
			②まちづくり活動助成事業 市民の自らの創意工夫による自主的・自発的な区内の課題解決、地域コミュニティの活性化、地域や区の魅力を高める活動に対し、活動費の一部を助成する。助成を通じて、自主的・自発的なまちづくり活動が、地域に根差した継続的で自立した活動へと発展するよう支援していく。	助成件数 青葉区： 11件 宮城野区： 4件 若林区： 7件 太白区： 4件 泉区： 3件		—	
				— 予定通り取り組みを進めた。			
	⑲	婦人防火クラブ活動支援事業	婦人防火クラブの育成強化と活動の活発化を図るため、運営および活動を支援する。	火災予防知識の習得および技術の向上を図る訓練や研修会を実施した。 街頭での防火キャンペーンなど地域に密着した活動を実施した。 延べ活動回数：441回		地域における火災予防を推進するため、婦人防火クラブの活動を支援する。（婦人防火クラブ活動回数：年間500回程度）	消防局 予防課
				B 目標より若干下回ったが、概ね進捗した。			

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
				点検結果		※（ ）内は 平成29年度担当課
	⑳	PTA活動振興事業	学校・家庭・地域社会が連携し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成に取り組むことを目的として、PTA活動を支援する。	PTA指導者研修会やPTAフェスティバル等の開催を通し、PTA活動推進者育成やPTA活動の支援を行った。 「PTA活動振興」や夏季休業期間中の「学校プール開放事業」に係る補助金の交付を行った。 共催事業件数：6件	仙台市PTA協議会との共催事業を毎年度3件以上実施する。	教育局 生涯学習課
				A	着実に進捗した。今後、PTA活動の意義をより広めていくことが重要である。	
	㉑	学びのコミュニティづくり推進事業	地域のさまざまな団体が連携し、子どもと大人の交流や自然体験・社会体験の機会を提供する事業を実施する。各事業は、学校や市民センターも関わりながら実施し、地域の教育力向上からの地域コミュニティ活性化を目指す。	主に小学校区を中心として活動している地域団体が連携し、子どもと大人が交流しながら活動する事業を実施した。 委託団体：7団体（新規1団体）	平成28年度～30年度の委託団体を毎年度7団体以上とする。	教育局 生涯学習支援センター
				A	着実に進捗した。学校を取り巻く環境の変化により、昨年度より委託団体数が減となったことから、広報等を工夫し委託団体増に努める。	
(3) 地域社会の一員である事業者による社会貢献活動の促進						
	①	市民活動サポートセンターにおける事業者の社会貢献活動促進に関する支援	市民活動サポートセンターにおいて、事業者の社会貢献活動事例の紹介や市民活動団体等に関する情報提供、他の主体との意見交換の場の創出など、事業者による社会貢献活動を促進させるための支援を行う。	まちづくりの担い手となる多様な主体が集まり、地域の課題解決やまちの魅力づくり等をテーマに、仙台のまちづくりについて交流を深め対話する機会を創出する「マチノワ企画」として「マチノワ縁日」及び「マチノワWEEK vol.2」を実施した。 参加者数：マチノワ縁日 362人 マチノワWEEK vol.2 1,126人 機関紙「ぱれっと」において、事業者による社会貢献活動や協働事例を紹介（掲載件数：4件）した。	事業者が他の主体と交流・意見交換等ができる場となる事業を、平成28年度から新たに実施していく。	市民局 市民協働推進課
				A	着実に進捗した。	
	②	地元企業等の環境活動の促進	①環境配慮型店舗・事業所認定制度 買い物袋（レジ袋）の削減や再生紙利用、ごみ分別等、環境に配慮しごみの減量やリサイクルの推進に積極的に取り組んでいる店舗・事業所を「エコにこショップ・オフィス」として認定し、その取り組みを周知する。	認定事業者の取り組み内容について、事例集を作成・配布し、併せてウェブサイトに掲載した。 環境配慮型の店舗認定数：233 環境配慮型の事業所認定数：204 (合計 437)	環境配慮型店舗・事業所認定制度の認定店舗・事業所数を400以上とする。また、認定事業者の優れた環境配慮の取り組みを、ウェブサイト等で定期的に情報発信する。	環境局 廃棄物企画課
				A	着実に進捗した。	

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課
				点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課
			②アメニティ・せんだい推進協議会 市民活動団体・事業者・行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置し、エコフェスタの開催や講師派遣等を行い、ごみ減量・リサイクルや環境美化について広く市民に周知する。	「エコフェスタ2017」を開催した。 来場者数：11,500人 3R講師派遣事業実施回数：22回 「3Rわかる本2018」発行：17,000部		アメニティ・せんだい推進協議会事業におけるエコフェスタ開催での来場者数を10,000人以上、3R講師派遣の実施回数を25回以上とする。	環境局 家庭ごみ減量課
			B	概ね進捗した。			
			③仙台まち美化サポートプログラム 市民活動団体や事業者、学校等が道路や公園等の清掃活動を継続して行い、ごみの散乱のない快適なまちづくりを進める。	登録団体数：237団体		まち美化サポートプログラム登録団体数を240団体以上とする。	
			B	概ね進捗した。			
	③	地元企業の地域活性化活動等の促進	仙台市中小企業活性化条例に掲げる、「従業員の仕事と生活の調和」「地域社会の発展」および「市民生活の向上」に努め、他の中小企業の模範となる市内中小企業を表彰することにより、表彰企業の認知度や従業員のモチベーションを高めるとともに、他中小企業の取り組みへの波及を図る。	仙台「四方よし」企業大賞の実施 有効応募数：11件		毎年度15社以上の有効応募数を確保する。	経済局 経済企画課
	B	応募数は目標に届かなかったが、一定の応募数があり概ね進捗した。今後、周知の強化について展開していく予定である。					
	④	協力事業所表示制度	①消防団協力事業所表示制度 従業員が2人以上消防団員であるなど、消防団活動に協力していると認められる事業所を協力事業所として認定し、災害対応や訓練参加へのさらなる配慮など、企業の社会貢献により消防団員が活動しやすい環境を促進する。	認定事業所数：83事業所 増加数：5事業所		毎年度7事業所程度増加させる。	消防局 総務課
			B	消防団員の高齢化により定年退団者が多く、当該制度の要件を満たさない事業所が増加しているが、概ね進捗した。今後、更なる制度の広報に努める必要がある。			
			②応急手当協力事業所表示制度（杜の都ハートエイド） 自動体外式除細動器（AED）を設置し、かつ応急手当に関する講習を修了した従業員等が勤務している事業所を協力事業所として登録し、事業所近隣で発生した心肺停止傷病者の対応を行ってもらうなど、企業の社会貢献により応急手当を推進する。	登録施設数：1074事業所 民間施設および市有施設新規登録数：76事業所		毎年度50事業所程度増加させる。	消防局 救急課
			A	目標を上回り、着実に進捗した。			

事業番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成29年度担当課
			点検結果			
(4) 多様な主体の交流の促進						
①	仙台防災未来フォーラム	平成27年3月の国連防災世界会議を通じて培った国内外とのネットワークを生かし、地域団体、NPO、企業、大学などのマルチステークホルダーによる防災・減災、復興の取り組みの発信や共有などを目的とした市民参加型のシンポジウムを開催する。	平成30年3月9日、エル・パーク仙台にて「企業×防災」をテーマとした「仙台防災未来フォーラム2018」を開催した。また、平成29年11月25日～28日に、仙台国際センター等にて「世界防災フォーラム」「防災推進国民大会」「防災産業展」が開催され、仙台市は、「世界防災フォーラム」でのセッション主催、「防災推進国民大会」での家族向けプログラム「せんだい防災パビリオン」主催など、多様な市民が参加できる機会を提供した。 (仙台防災未来フォーラム2018) 延べ来場者数：約 150人 (世界防災フォーラム、防災推進国民大会、防災産業展) 延べ来場者数：約11,000人		延べ来場者数を次のとおりとする。 (平成28年度) 2,200人 (平成29年度) 2,400人 (平成30年度) 2,600人	まちづくり政策局 防災環境都市・震災復興室 (防災環境都市推進室)
			A	着実に進捗した。多様な市民が防災等に関する発信や共有を行う場を確保するため、今後も引き続き「仙台防災未来フォーラム」及び「世界防災フォーラム」の開催に取り組む。		
②	市民活動サポートセンターにおける多様な主体の交流促進のための支援・環境整備	多様な主体の交流が促進され、新たな課題に対して創意工夫により解決策を生み出し続ける「創発」によるまちづくりが推進されるよう、市民活動サポートセンターにおいて、多様な主体が集まり、意見を交わし、交流を深める機会を提供するとともに、施設の環境整備に取り組む。	まちづくりの担い手となる多様な主体が集まり、地域の課題解決やまちの魅力づくり等をテーマに、仙台のまちづくりについて交流を深め対話する機会を創出する「マチノワ企画」として「マチノワ縁日」及び「マチノワWEEK vol.2」等を実施した。 市民活動サポートセンターの市民協働推進拠点としての機能を強化するため、施設の一部リニューアルを行った。 参加者数：マチノワ縁日 362人 マチノワWEEK vol.2 1,126人		平成28年度～30年度の多様な主体の交流促進を目的としたプログラムの延べ参加者数を、毎年度100人以上とする。	市民局 市民協働推進課
			A	着実に進捗した。		
③	文化活動団体への支援による交流促進	新たな文化交流・創造・発信の促進を図るため、（公財）仙台市市民文化事業団を通して市民の自主的な文化活動に対し以下の支援を行う。 ①市内の文化団体等が実施する文化芸術の振興及び郷土の歴史継承を目的とする事業などに対し、経費の一部を助成する。	市内の文化団体等が実施する文化芸術の振興及び郷土の歴史継承を目的とする事業などに対し、経費の一部を助成した。 助成件数：138件		文化活動団体に対し、毎年度150件程度助成を行う。	文化観光局 文化振興課
			B	目標件数より若干少なかったが、概ね進捗した。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。		

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課	
				点検結果			※（ ）内は 平成29年度担当課	
			②イベント等の制作面での協力を行う。	イベント等の制作面での協力を行った。 協力件数：72件		毎年度50件程度、文化活動団体との協力事業を実施する。		
				A	着実に進捗した。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。			
			③季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行う。	季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行った。 支援件数：177件		—		
				—	昨年度よりも若干件数が増加した。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。			
	④	区民まつり	地域や世代を超えた交流によるコミュニティの活性化および区民のふるさと意識の醸成を図ることを目的に、区民との協働によるまつりを実施する。実施にあたっては、多くの市民が関わるができるような事業環境を構築するなど、より一層のまつりの魅力の創出を図る。 ～ 各区・総合支所のまつり ～ （青葉区） 青葉区民まつり （宮城総合支所） 宮城地区まつり （宮城野区） みやぎの・まつり （若林区） 若林区民ふるさとまつり （太白区） 太白区民まつり （秋保総合支所） まつりだ秋保 （泉区） 泉区民ふるさとまつり	開催日 青葉区民まつり： 11月 3日 宮城地区まつり： 10月29日 みやぎの・まつり： 10月15日 若林区民ふるさとまつり： 10月15日 太白区民まつり： 10月15日 まつりだ秋保： 10月29日 泉区民ふるさとまつり： 8月26日		—	各区まちづくり推進課 宮城総合支所まちづくり推進課 秋保総合支所総務課	
				—	予定通り取り組みを進めた。			
	⑤	学びのコミュニティづくり推進事業【再掲】	地域のさまざまな団体が連携し、子どもと大人の交流や自然体験・社会体験の機会を提供する事業を実施する。各事業は、学校や市民センターも関わりながら実施し、地域の教育力向上からの地域コミュニティ活性化を目指す。	主に小学校区を中心として活動している地域団体が連携し、子どもと大人が交流しながら活動する事業を実施した。 委託団体：7団体（新規1団体）		平成28年度～30年度の委託団体を毎年度7団体以上とする。	教育局 生涯学習支援センター	
				A	着実に進捗した。学校を取り巻く環境の変化により、昨年度より委託団体数が減となったことから、広報等を工夫し委託団体増に努める。			
	（5）多様な主体の活動等に関する情報の収集および発信の促進							
	①	まちづくり活動事例集の作成	町内会等のまちづくり活動に関する事例を紹介する活動事例集を、内容の充実を図りながら毎年度作成し、地域づくりに関する情報提供を行う。	町内会等のまちづくり活動に関する事例集「おらほ！のまちづくり」第8号を発行した。		—	市民局 地域政策課	
			—	予定通り取り組みを進めた。				

事業番号		事業名	事業内容	平成29年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成29年度担当課
				点検結果			
	②	市民活動サポートセンターにおける情報の収集・発信に関する支援・環境整備	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動・協働に関する情報収集・提供、相談対応など、多岐にわたる市民活動がさらに活発になるよう支援を行うとともに、情報収集・提供の充実を図るための施設の環境整備に取り組む。	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動や協働に関する情報収集・提供等により、市民活動の支援を行った。 ホームページアクセス数：31,630件 ブログ投稿数：234件		平成28年度～30年度の市民活動サポートセンターのホームページのアクセス件数を、毎年度33,000件以上とする。	市民局 市民協働推進課
	B		概ね進捗した。より分かりやすい情報を提供していく必要がある。				
	③	みやぎNP0ナビ等の活用促進	「みやぎNP0ナビ」※を活用した市民活動団体の情報発信機会の充実を図るほか、本市ホームページや内閣府ポータルサイトの活用によるNP0法人の情報公開を行う。 ※みやぎNP0ナビ…宮城県内の市民活動団体の情報を一元的に検索できるポータルサイト。県内の自治体や中間支援組織10団体からなる「みやぎNP0情報公開システム運用協議会」で運営。	「みやぎNP0情報公開システム運用協議会」において、「みやぎNP0ナビ」の周知のための広報に取り組んだほか、本市独自の取り組みとして、仙台市内の団体を対象にチラシを作成し登録の呼びかけを行った。本市所管のNP0法人については、本市ホームページや内閣府ポータルサイトによる情報公開を迅速に行った。 みやぎNP0ナビに登録している仙台市の団体（仙台市に主たる事務所がある団体）の増加数：6団体		平成28年度～30年度において、みやぎNP0ナビに登録する仙台市の団体（仙台市に主たる事務所がある団体）の増加数を100以上とする。	市民局 市民協働推進課
	C		目標に沿う水準に達していないため、一層の周知を図る。				
	④	協働の手引き・事例集の作成【再掲】	協働による事業を推進するため、協働の進め方や評価の方法などを含む協働の手引きや事例集を市民とともに作成する。	協働まちづくり推進委員会委員で組織されるアクションチームの企画内容を踏まえ、協働の手引き・事例集と協働まちづくりのプロモーション動画を市民とともに作成した。		平成29年度までに協働の手引き・事例集を市民参加により作成し、広く周知を図っていく。	市民局 市民協働推進課
	A		着実に進捗した。今後は作成した冊子と動画を活用し、協働によるまちづくりの推進を図る。				
	⑤	ボランティアセンターにおける各種支援等【再掲】	市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供を行いながら、ボランティアに関する相談および調整を行う。	地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。 ボランティア育成講座数：20講座 延べボランティア育成講座受講者数：513人 ボランティア登録団体数：397団体		ボランティアセンターへの登録団体数を、平成30年度までに300団体以上とする。	健康福祉局 社会課
	A		着実に進捗した。ボランティアの広がりや活動者のスキルアップが地域課題解決につながるよう、引き続き担い手育成に取り組んでいく。				

Ⅲ 市民協働事業

仙台市と多様な主体による市民協働事業について、実施状況を掲載しています。

市民協働事業

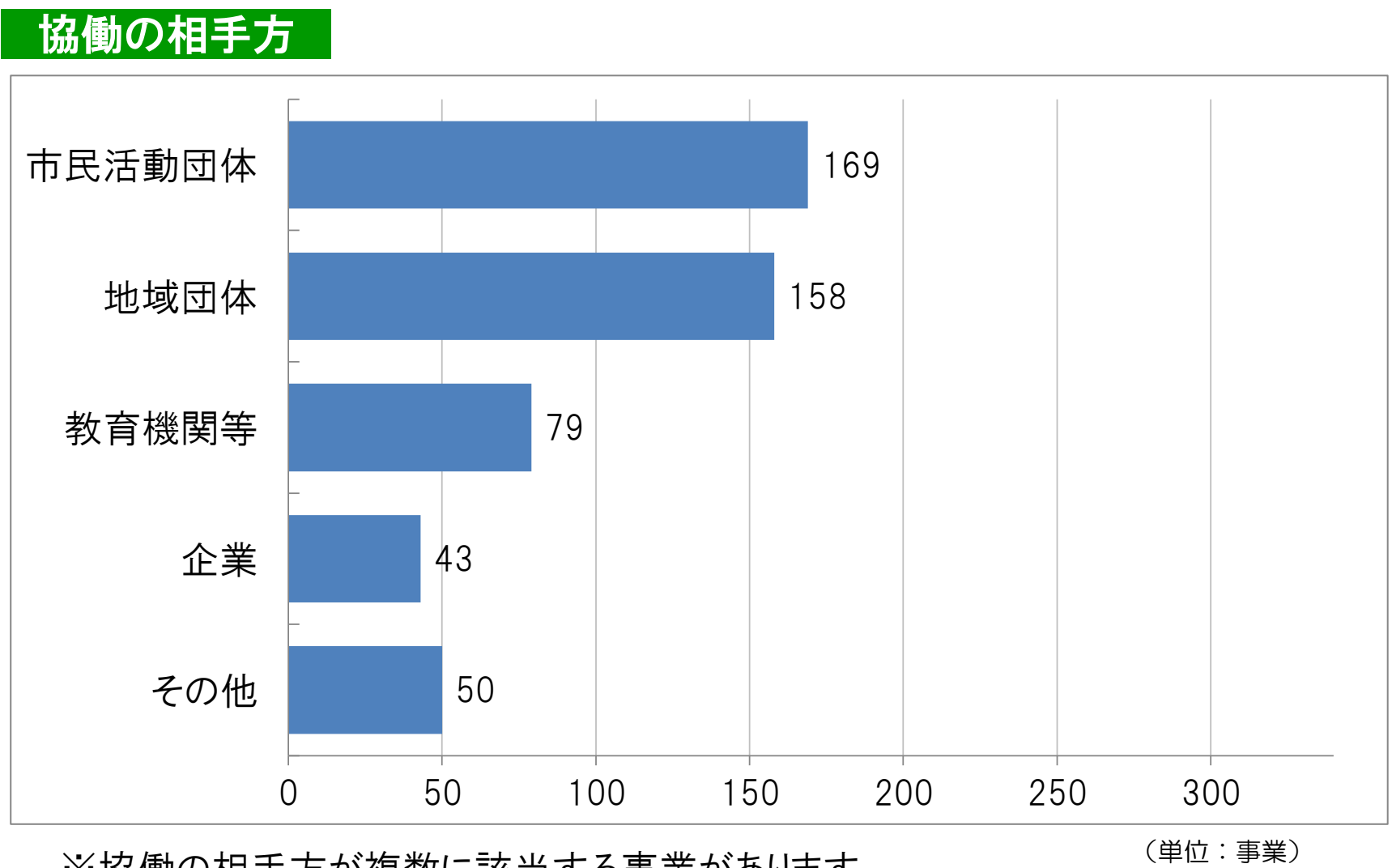
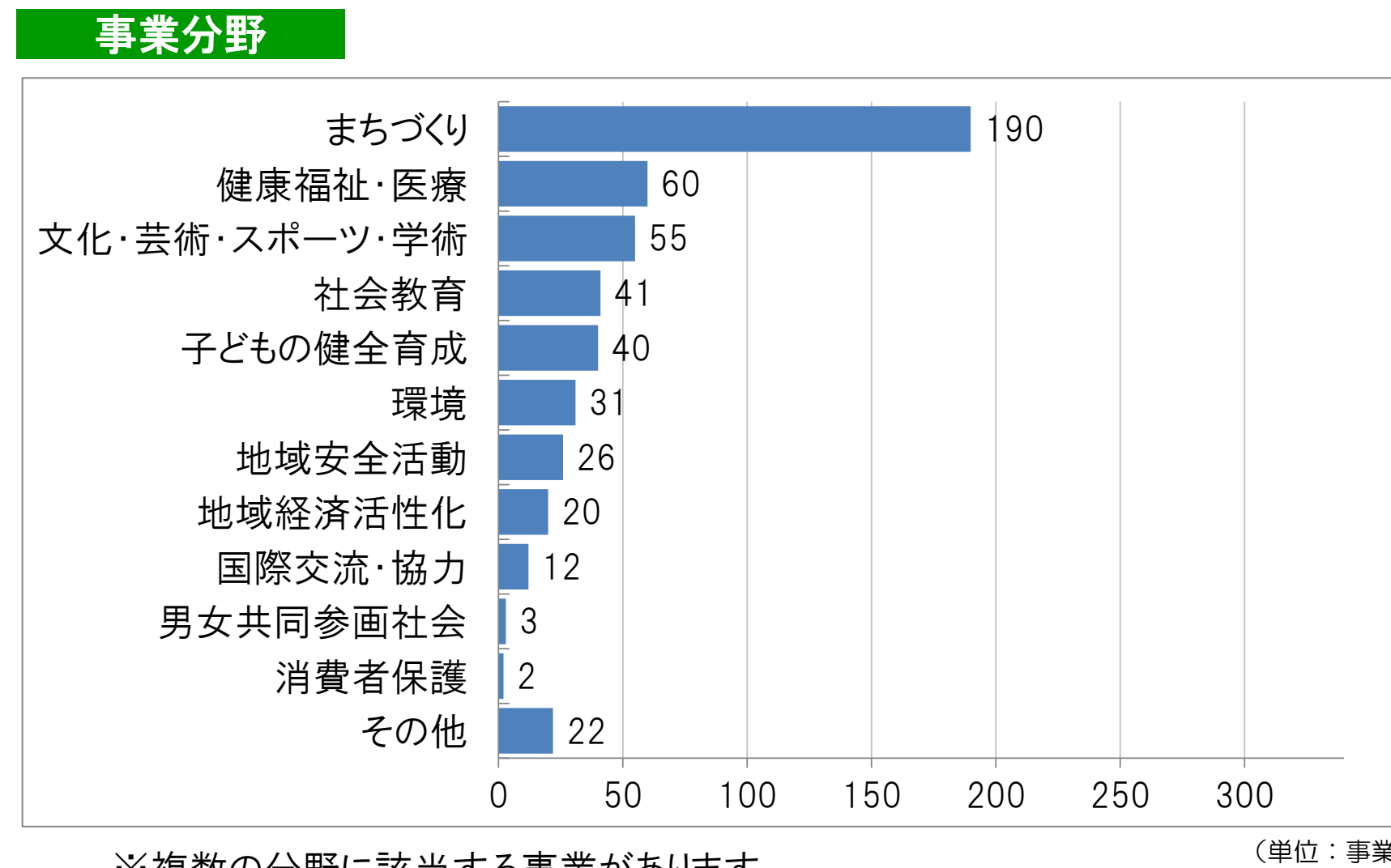
次の2つの要件を満たす事業

- ① 市が町内会等の地域団体、市民活動団体、教育機関、企業などと、お互いに主体性・当事者性を持って連携している事業であること
- ② 営利を主たる目的とせず、地域課題の解決やまちの魅力の向上を図るための事業であること

市民協働事業の総数 341事業

「事業分野」・・・事業の分野は、「まちづくり」が190事業(55.7%)であり、次いで「健康福祉・医療」が60事業(17.6%)「文化・芸術・スポーツ・学術」が55事業(16.1%)、と続きます。

「協働の相手方」・・・協働の相手方は、「市民活動団体」が169事業(49.6%)であり、次いで「地域団体」が158事業(46.3%)、「教育機関等」が79事業(23.2%)と続きます。



「協働まちづくり推進助成事業」や「郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト」による新たな支援の開始に加え、市民協働事業提案制度がきっかけとなり、制度による事業期間終了後も担当課との市民協働事業として事業が継続されるなど、協働によるまちづくりに取り組みました。

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
1	災害時応援協力に関する協定等の締結	災害時の支援体制の整備のため、企業や各種団体等との協定を締結する。	企業や各種団体等との協定締結：197件 (うち、17件を平成29年度に締結)	健康福祉・医療, 地域安全活動, その他	平成29年度の協定締結団体：全環衛生事業協同組合、一般社団法人全国上下水道コンサルタント協会東北支部、アイリスオーヤマ株式会社、学校法人梅檀学園東北福祉大学、ホテルモンテレ仙台、日本私立学校振興・共済事業団、学校法人三幸学園仙台ビューティーアート専門学校、株式会社法華倶楽部、仙台国際ホテル株式会社、仙台サンプラザ株式会社、ANAホリデイ・イン仙台、株式会社ベルコ、三井住友信託銀行株式会社、丸紅リアルエステートマネジメント株式会社、仙台市市民文化事業団・東北共立・石井ビル管理グループ、仙台北税務署・仙台中税務署・仙台南税務署ほか	—	危機管理室防災計画課、各協定所管課
2	広報紙等配布謝礼金	「仙台市政だより」等の配布に対する謝礼として、町内会等の配布団体に年1回謝礼金を交付する。	謝礼金交付実績：1,416件	その他	市政だより等の配布を行っている団体	91,875	総務局広報課 健康福祉局健康政策課 区役所総務課 議会事務局調査課
3	郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト	【鶴が丘「支え合い」コミュニティ・まちチャレンジ事業】 高齢者の生活・通院支援、子どもの学習支援を実施する。	地域の高齢者を対象に病院への付添等の互助活動や、小学生を対象に放課後学習教室を実施した。また、活動拡大の検討のため、地域住民を対象としたアンケートによるニーズ調査を実施した。	健康福祉・医療, 社会教育, まちづくり, 子どもの健全育成	鶴が丘一丁目町内会、鶴が丘はあとネット	5,000	まちづくり政策局プロジェクト推進課
4		【地域の高齢化を高齢者同士の助け合いで克服する仕組づくり】 高齢者の生活・通院支援、交流カフェの運営を実施する。	地域の高齢者を対象に、居場所づくりとしてのカフェの運営や、ゴミ出し等の助け合い活動、見守り・安否確認活動を実施した。	健康福祉・医療, まちづくり	結いの会・高森東	1,913	
5		【中山多世代交流センターの設置事業】 多世代交流センターの建設(新築にかかる費用については、中小企業庁所管の補助金を活用)、センター内における健康教室や学習塾、食堂等の運営を実施する。	多世代交流センターの開設に向けた工事(繰越により平成30年4月に完成)とワークショップを実施した。	健康福祉・医療, 社会教育, まちづくり, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人中山街づくりセンター、中山商店街振興組合	— 補助交付額3,676千円は工事の履行期限延長のため、平成30年度に繰越	

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
6		【大倉ふるさと農園整備地域活性化事業】 遊休農地を活用した市民農園の運営を実施する。	遊休農地を市民農園に整備するにあたり、ワークショップや、畑センサーやアプリ等のITを活用した実証実験等を実施した。	まちづくり、 地域経済活性化	大倉栗生町内会	3,120	
7		【泉区西部地区の「泉かむりの里観光」推進事業】 根白石おもしろ市(軽トラ市)の開催、特産品の製作、農業体験型サイクリングツアーを実施する。	根白石おもしろ市において地元農家による産直物等の販売や、地元の原材料を使用したゴーフレットの製造・販売、外国人モニターによる農業体験の検証を実施した。	まちづくり、 地域経済活性化	泉かむりの里観光協会	4,395	
8		【仙台秋保地区・地域資源を活かした観光モデル構築のための拠点整備事業】 古民家を改修した観光拠点の整備、サイクリングツアーを実施する。	観光と交流拠点の整備に向けた古民家の改修工事(繰越により平成30年7月に完成)や、サイクリングツアー、体験型ワークショップを実施した。	まちづくり、 地域経済活性化	株式会社アキウツーリズムファクトリー、 秋保温泉旅館組合	— 補助交付額 18,441千円は 工事の履行期 限延長のため、平成30年度に繰越	
9	地域力創造支援事業	【花と緑のエコタウンづくり事業】 (中山市民センター) 町内会等が地域の清掃活動で集めた大量の落ち葉や雑草を地域活動の一環として堆肥化し、花壇で活用するなど地域の環境美化を推進する活動を通して、地域コミュニティの活性化を図る。	落ち葉や雑草の堆肥化、野菜の栽培や収穫した野菜を使用した調理実習、バラ作り講座等を実施した。	まちづくり	中山西第二町内会、 西勝山町内会等	230	市民局地域政策課
10		【新浜たんぼ学校】 (高砂市民センター) 地域の稲作の復興状況と農業の魅力を理解していただく活動を通して、地域コミュニティの活性化を図る。	田植え体験、地域の自然観察、芋掘り体験、稲刈り体験、収穫祭等を実施した。	まちづくり	新浜町内会等	300	
11		【真美沢公園ネットワーク事業-真美沢公園元気プロジェクト-】 (黒松市民センター) 地域の中心にある公園の美化活動や公園の利活用に関するイベント等を企画・実施していく過程を通して、地域コミュニティの活性化を図る。	草刈り、植樹祭、花壇づくり等の公園の環境整備活動、自然観察会、コンサート等の公園の利活用に関するイベント等を実施した。	まちづくり	黒松連合町内会、 八乙女連合町内会、 八乙女地区連合町内会等	220	
12		【落合復興公営住宅「復興公営住宅におじゃまします」】 (落合市民センター) 復興公営住宅自治組織を中心に、住民間の交流を図るまつり等を実施することで、地域コミュニティの活性化を図る。	落合復興公営住宅や落合市民センターにおいて、製作活動、スポーツ企画、演奏会、交流会等を実施した。	まちづくり	落合栗生連合町内会等	90	

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
13		【みんなでつくる”活気と思いやりのあるまち若林”】 (若林市民センター) PTA親子行事や復興公営住宅での花植え作業を通して地域団体等が連携して活動することにより、地域コミュニティの活性化を図る。	若林西復興公営住宅での花植え作業「花いっぱい事業」、PTA親子行事「親子で防災ゲームin若林」、「笑顔・咲く・咲くせせらぎコンサート」等を実施した。	まちづくり	若林地区町内会連合会等	157	
14		【みんなの居場所をつくろう】 (将監市民センター) 年齢や性別を問わずに自由に集い、交流できるような居場所づくりを地域住民が企画・運営する活動を通して、地域コミュニティの活性化を図る。	市民センターまつりにおいて「居場所カフェ」及び「元気っ子広場」を実施したほか、地域交流会やワークショップを実施した。	まちづくり	将監中央町内会、 将監3丁目町内会、 将監公団自治会、 将監地区社会福祉協議会等	260	
15		【わが町再発見”私の住む町どんな町”】 (福沢市民センター) 復興公営住宅入居者相互や周辺地域住民との交流の機会づくりのための企画会議や行事の運営を通して、地域コミュニティの活性化を図る。	地域探訪、七夕飾りづくり、大学生による地域診断発表、子ども広場、地域交流コンサート等のイベントを実施した。	まちづくり	梅田町内会、 小田原市営住宅自治会、 北六連合町内会、 東六連合町内会等	177	
16		【八木山今昔物語～じっくり八木山を学ぼう～】 (八木山市民センター) 地域の歴史や地域資源を学ぶフィールドワーク等の活動を通して、地域の新たな魅力を探り、地域コミュニティの活性化を図る。	平成27年度、28年度に作成・検証した6枚の「地区マップ」を有効活用し、フィールドワークやサイン制作・設置のための講座を行った。	まちづくり	八木山連合町内会、 八木山南連合町内会等	297	
17		【つながる・ひろがる中田地区未来づくりプロジェクト～まだまだあるよ！中田お宝調査隊～】 (中田市民センター) 地域の「お宝」となり得る資源の収集、「お宝マップ」の作成等の活動を通して、地域の相互交流と地域コミュニティの活性化を図る。	昨年度までに作成した「お宝マップ」を活用したまちあるきイベント等を実施した。	まちづくり	中田地区町内会連合会等	300	
18		【つながる・ひろがる中田地区未来づくりプロジェクト～いいね！柳生西中田地域のお宝再発見～】 (柳生市民センター) 地域の「お宝」となり得る資源の収集、「お宝マップ」の作成等の活動を通して、地域の相互交流と地域コミュニティの活性化を図る。	「お宝マップ」の作成、まちあるきイベント等を実施した。	まちづくり	中田西部町内会連合会等	300	

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
19		【つながる・ひろがる中田地区未来づくりプロジェクト～「いいとこあっちゃ」知って活かそうまちのお宝～】 (東中田市民センター) 地域の「お宝」となり得る資源の収集、「お宝マップ」の作成等の活動を通して、地域の相互交流と地域コミュニティの活性化を図る。	「お宝マップ」の作成、まちあるきイベント等を実施した。	まちづくり	中田中部町内会連合会、 東中田町内会連合会等	300	
20		【片平公園活性化プロジェクト～地域の宝みんなの片平公園！～】 (片平市民センター) 地域にある片平公園を活用して、地域の各種団体が連携協働し、大人も子どもも楽しめるような事業を定期的開催しながら清掃活動を併せて行うことにより、公園を気持ちの良い空間として維持するという課題に向けて取り組むとともに、この活動を通して人々が地域活動に関心を持つようになるなど、地域力の向上と世代間交流による地域コミュニティの活性化を図る。	片平公園活性化委員会を立ち上げ、定期的な清掃活動とあわせ、花壇づくりやコンサートなどの企画を実施した。	まちづくり	米ヶ袋町内会、 霊屋下町内会、 大広会町内会、 花壇大手町町内会、 片平丁小学校PTA等	300	
21		【人が地域を創る ―折立素敵物語―】 (折立市民センター) 多くの住民が参加しながらツールとして地形模型やビデオを製作・活用することで、自然豊かで歴史のある折立地域の良さを見直し、地域住民全体の一体感を醸成するといった過程を通して、地域コミュニティの活性化を図る。	実行委員会を立ち上げ、地域交流や地域活性化を図るツールとして地域模型製作及びDVD制作を行った。	まちづくり	折立地区町内会連合会、 折立地区社会福祉協議会等	285	
22		【きずな・まなび・ちから―みんなの北三番丁公園プロジェクト】 (木町通市民センター) 地域住民自らが「北三番丁公園」を活用して「地域づくり」「人づくり」を考える講座等を市民センターと一緒に企画し、地域の町内会や学校等と共催・連携しながら実施する活動を通して、地域コミュニティの活性化を図る。	地域住民を企画員とする市民企画会議を立ち上げ、講座や星空観察会、コンサート等を実施した。	まちづくり	木町通小学校、 木町通学区連合町内会、 木町地区社会福祉協議会等	297	

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
23		【榴岡地区エキサイティング事業～ネットワークをいかしたまちづくり～】 (榴ヶ岡市民センター) 地域の各種団体間のネットワークづくりをし、連携して事業展開していくことで、地域に関わる人材育成を推進するとともに、ネットワークの力を地域課題の取り組みへとつなげ、地域コミュニティの活性化を図る。	防災をテーマに「榴岡寺子屋」(5回)を開催した。	まちづくり	榴岡地区町内会連合会、 榴岡地区社会福祉協議会等	190	
24		【わたしのまち七郷】 (七郷市民センター) 地域マップの作成等を通し、七郷の名所・旧跡やそこで営まれてきた暮らし、町内会を中心とした地域活動の様子を広く住民に周知・紹介し、居住する地域への理解と愛着を深め、よりよい地域づくりへの意識を高めることで、地域コミュニティの活性化を図る。	平成28年度に作成した「七郷散歩マップ」を活用したまち歩き(3回)や、「七郷散歩マップ」の基となった「七郷かるた」でかるた大会(2回)を開催した。	まちづくり	七郷地区町内会連合会、 七郷小学校社会学級等	84	
25		【楽元の森再生プロジェクト ～楽しく元気に生き生きと～】 (山田市民センター) 自然体験学習林「楽元の森」の整備とその活用により、地域資源としての魅力を更に高め、地域の宝として次代に残していく取り組みを通して、次代を担う人材の育成及び地域コミュニティの活性化を図る。	「楽元の森」を継続的に維持・管理・活用するための運営委員会を立ち上げ、「楽元の森」の整備作業や、焼き板製作やレクリエーション、野外音楽会などのイベントを実施した。	まちづくり	山田鉤取地域町内会連合会、 上野山体育振興会、 上野山小学校等	274	
26		【パワフルとみざわネットワーク】 (富沢市民センター) 若い子育て世代と町内会役員がそれぞれに持っている特徴を生かし、地域資源である筑川を中心としたイベントを協働して開催することで、これからの地域を担う人材である若い世代の力を地域へ還元する仕組みづくりを目指し、地域コミュニティの活性化を図る。	筑川の河川敷を利用して「ざる川フェスティバル」を実施した。	まちづくり	富沢地区町内会連合会、 富沢地区学区民体育振興会等	250	
27		【寺岡・紫山地域魅力づくりプロジェクト！ 「めざせ！みんなが集まる街づくり！」】 (寺岡市民センター) 町内会を中心とした地域諸団体・有志による事業推進委員会を組織化し、地域全体で連携・協働して自然豊かな寺岡山・紫山を活用した地域の魅力づくりに取り組む活動を通じ、地域コミュニティの活性化を図る。	平成28年度に立ち上げた事業推進委員会により、人材バンクづくり、緑景観マップづくりとその活用、作品展等の取り組みを進めた。	まちづくり	寺岡・紫山両連合町内会、 宮城大学学生、 寺岡小学校・中学校等	278	

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
28		【クリーン&グリーンアップ西中山】 (南中山市民センター) 地域全体の清掃活動(クリーンアップ)と地域の公園を中心にした緑化活動(グリーンアップ)を行いながら、住民のコミュニティ意識を醸成し、地域コミュニティの活性化を図る。	昨年度には公園の竣工遅延によりできなかった公園プレオープンイベントを開催した。	まちづくり	西中山連合町内会、 西中山南町内会、 西中山北町内会、 西中山豊齢会、 西中山南子ども会育成会、 西中山北子ども会育成会等	114	
29		【地域をつなぐ「へくり沢散歩道」づくり】 (柏木市民センター) 町内会や前年度まで実施した「ジオラマ講座」受講者を中心として、「へくり沢散歩道」の整備等を行うことで地域資源を活用した地域コミュニティの活性化を図る。	へくり沢に案内板(8か所)を設置し、これらをつないで「散歩道」として案内マップを作成した。またこの「へくり沢散歩道」を活用したウォーキング会を実施した。	まちづくり	八幡地区町内会連合会、 国見地区連合町内会等	300	
30		【まち創りin貝ヶ森】 (貝ヶ森市民センター) 地域で意見交換を行いながらジオラマを作製することを通し、地域の問題点の共通認識を持ち、地域団体同士の連携を深めることで地域コミュニティの活性化を図る。	東北文化学園大学の建築環境学科教授による協力を得ながら、地域でジオラマを作製し、またその作成過程においても地区文化祭や東北文化学園大学の学園祭においてジオラマの展示を行った。	まちづくり	貝ヶ森連合町内会、 国見連合町内会、 八幡連合町内会等	250	
31		【“ゆうゆうの森”再生プロジェクト】 (宮城西市民センター) 上愛子小学校の自然体験学習林“ゆうゆうの森”と、里山「白沢五山」の整備を町内会とPTA等で行い、イベントを開催することで、団体間の交流を促進し地域コミュニティの活性化を図る。	枝打ちといった里山の整備を行うとともに、炭焼きやPTA夏キャンプ等の子供から大人まで参加体験できるイベントを実施した。	まちづくり	上愛子学区連合町内会、 上愛子小学校、 上愛子小学校PTAお父さん委員会等	300	
32		【思いやりネットワーク構築事業】 (福室市民センター) 町内会と地区社会福祉協議会が「思いやりネットワーク構築検討会」を組織し、定期的に顔を合わせながら集いの場を企画することで顔の見える関係を構築し、地域コミュニティの活性化を図る。	「思いやりネットワーク構築検討会」(3回)、要援護者等について情報交換を行う「ひまわりの集い」(5回)のほか、敬老会等を開催した。	まちづくり	高砂東町内会、 高砂第2民生委員児童委員協議会、 高砂地区社会福祉協議会等	95	
33		【「みんなの荒町公園」再生事業】 (荒町市民センター) 地域の中心部にある荒町公園の整備・美化活動を行い、さらには整備した公園でイベントを実施することで、継続して地域住民が集うことのできる場所を作り、地域コミュニティの活性化を図る。	「焼き芋と昔遊びを楽しむ会」等、地域の子供から大人まで参加できるイベントを開催し、その準備や反省のための実行委員会を計10回開催した。	まちづくり	荒町地区連合町内会、 荒町商店街振興組合等	230	

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
34		【ホタルの里・坪沼プロジェクト】 (生出市民センター) プロジェクトチームを結成し、そこでの話し合 いをもとに蛍の生態についての勉強会、生 息地の環境整備、蛍観察路の整備、蛍の 育成(養殖)などを行うことで地域コミュニ ティの活性化を図る。	実行委員会を8回開催したほか、蛍の幼 虫放流会(2回)やホタル観察会等を実施 した。	まちづくり	坪沼北町内会、 中沖町内会、 板橋町内会、 根添町内会等	290	
35		【向陽台「支え合いのまちづくり」プロジェクト】 (松陵市民センター) 野菜づくりや健康づくり、収穫祭などの講座 やイベントを通して住民間交流を促進し、地 域コミュニティの活性化を図る。	地域住民を企画員とする企画会議を行 い、野菜づくり、花壇づくり、剪定、健康等 についての講座や野菜の収穫祭(芋煮 会)を実施した。	まちづくり	向陽台連合町内会、 向陽台地区社会福祉協議会、 向陽台包括支援センター等	250	
36		【目指そう！災害に強い長命ヶ丘！】 (長命ヶ丘市民センター) 連合町内会、小中学校、市民センターで実 行委員会を立ち上げ、合同で総合防災訓 練を行うことで、地域コミュニティの活性化 を図る。	防災訓練の内容について年間を通して意 見交換を行い、連合町内会、小学校、中 学校の合同防災訓練を実施したほか、地 域防災マップも作成した。	まちづくり	長命ヶ丘連合町内会、 長命ヶ丘小学校、 長命ヶ丘中学校等	214	
37	コミュニティまつり助成	町内会、連合町内会が主催又は中心となり 実施するコミュニティまつりの一層の振興を 図るため、その経費の一部を補助する。	コミュニティまつりの一層の振興を図るた め、公益財団法人仙台ひと・まち交流財 団から助成金を交付した。 助成金交付実績:422件	まちづくり	仙台市内の町内会又は連合町 内会(コミュニティまつりのため に設けた実行委員会を含む)	13,706	市民局地域政策課
38	町内会等育成奨励金	地域住民により自主的に結成されている町 内会・自治会の運営経費の一部を援助す ることにより、町内会等の育成を図り、もって 地域住民の福祉の向上を図るとともに、住 民の市政参加を促進することを目的とす る。	町内会育成奨励金世帯数:403,905世 帯	まちづくり	地域住民により自主的に結成さ れている町内会・自治会	214,070	市民局地域政策課
39	市連合町内会長会運営補助金	市内の連合町内会組織との連絡協調を目的 として活動する仙台市連合町内会長会 の自主的な運営及び活動に要する経費に 対し補助金を交付する。	補助金交付実績:1件	まちづくり	仙台市連合町内会長会	1,800	市民局地域政策課
40	区連合町内会長協議会運営補助金	区内の連合町内会組織との連携協調を目的 として活動する区連合町内会長会の自主 的な運営及び活動に要する経費に対し 補助金を交付する。	補助金交付実績:5件	まちづくり	区連合町内会長協議会	14,375	市民局地域政策課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
41	地区連合町内会運営補助金	地域内の町内会等の連携協調を目的として活動する連合組織の自主的な運営及び活動に要する経費の一部を補助することにより、市民生活の向上等を目的とする。	補助金交付実績:114件	まちづくり	地区連合町内会	12,461	市民局地域政策課
42	地区集会所建設等補助金	地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会施設を新築・増築・改築・修繕・建物区分購入しようとする者に対し、予算の範囲内においてその経費の一部を補助する。	補助金交付実績:21件	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	49,218	市民局地域政策課
43	地区集会所借上補助金	地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会施設を借上により確保しようとする者に対して、その経費の一部を補助する。	補助金交付実績:9件	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	1,743	市民局地域政策課
44	屋外掲示板設置補助金	町内会等が屋外掲示板を設置しようとする場合において、経費の一部を補助する。	屋外掲示板設置実績:33基	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	964	市民局地域政策課
45	防犯活動支援事業	犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の自主的な防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金交付実績:77件	まちづくり, 地域安全活動	仙台市防犯協会連合会、各地区防犯協会連合会、各单位防犯協会	21,094	市民局市民生活課
46	仙台市地域安全安心まちづくり事業	地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。	安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。 補助金交付実績:11件	まちづくり, 地域安全活動	概ね単位町内会の区域から小学校学区程度の範囲の地域において、自主的に結成された団体	703	市民局市民生活課
47	国分町地区安全安心街づくり推進	仙台市安全安心街づくり条例に基づき、安全安心街づくり活動重点推進地区に指定する国分町地区における犯罪防止等を目的とした安全安心街づくりを推進するとともに、市民及び来訪者にとって安心して楽しめる街・健全で魅力ある街づくりの取り組みを推進する。	国分町地区安全安心街づくり推進協議会等と連携し、下記の事業を行った。 夜間パトロール:12回 環境美化活動:1回 国分町地区安全安心パレード:1回	まちづくり, 環境, 地域安全活動	国分町地区安全安心街づくり推進協議会	196	市民局市民生活課
48	各区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業	安全安心街づくり条例に基づき、各区において指定する安全安心街づくり活動推進モデル地区において、町内会、防犯協会、学校、区役所等が連携し、先導的かつ模範的な安全安心街づくりを推進する。	各区モデル地区において、町内会等が連携して防犯啓発活動など安全安心街づくりに向けた事業を実施した。	まちづくり, 地域安全活動	町内会、防犯協会等の地域団体、学校、警察	1,300	市民局市民生活課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
49	落書き消去支援事業	各区街並み形成課、宮城総合支所公園課及び秋保総合支所建設課において、消去活動に取り組む個人・団体等に活動に必要な用具(消去剤、ウエス、バケツ等)の貸出を行う。	貸出実績:2件	環境, 地域 安全活動	消去活動を行う個人・団体	135	市民局市民生活課
50	山岳遭難防止活動団体に対する補助金	山岳遭難防止活動団体が行う山岳遭難防止事業に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金交付実績:3件	地域安全活動	宮城県山岳遭難防止対策協議会各支部	988	市民局市民生活課
51	地域版避難所運営マニュアル作成	指定避難所ごとに市の避難所担当課を割り当て、担当課と町内会をはじめとする地域団体、学校などの施設管理者等の3者で避難所運営に関する話し合いを行い、顔の見える関係を築きながら、「仙台市避難所運営マニュアル」を参考に、「地域版避難所運営マニュアル」を作成する。マニュアルに基づき、避難所運営訓練の実施を推進するとともに、訓練を通して検証し、必要に応じマニュアルの修正を行っていく。	地域版避難所運営マニュアル作成等支援アドバイザーの派遣:19件 指定避難所193か所のうち191か所についてマニュアル作成済み ※平成30年3月31日現在	まちづくり, 地域安全活動	町内会等の地域団体、学校等の施設管理者	2,064	市民局市民生活課
52	杜の都の自転車プランに基づくモデル事業	各区・総合支所が選定した市内6か所のモデル地域において自転車ルール・マナーの啓発や教育活動に関係行政機関や地域の住民、学校等と連携して行い、意識の向上を促すとともに、市民に自転車利用のルール・マナーを理解してもらう。	定期的な街頭啓発、街頭や通学路における交通安全指導、学校や地域における交通安全教育などを行った。	地域安全活動	地域住民、学校、地区交通安全協会等	4,464	市民局自転車交通安全課
53	仙台市交通安全母の会連合会に対する補助事業	地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営ならびに活動費の一部を支援する。	高齢者世帯(約800世帯)を訪問しての交通安全啓発事業、通学路等での交通安全指導の実施、高齢者や児童を対象とした交通安全教室等の開催のほか、各種交通安全キャンペーン等に参加した。 交通安全研修会等への参加:計4回 キャンペーン、交流会等の開催:計6回	地域安全活動	仙台市交通安全母の会連合会	1,000	市民局自転車交通安全課
54	協働まちづくり推進助成事業	【貞山運河の利活用による新浜の復興まちづくり】 貞山運河を新浜や沿岸部の復興まちづくりに活かすため、魅力を掘り起こす。地域資源、歴史的資源としての価値を再認識して、地元住民、企業、関連する団体と協力して、イベントやフォーラム等を実施する。	・新浜の魅力発掘のための、フットパス、Eボート/和船の試乗イベントの実施 実施回数:5回 延べ参加者数:250人 ・貞山運河流域のマップ作成 発行部数:2,000部 ・フォーラムの開催 来場者数: 約500人	まちづくり, 地域経済活性化	貞山運河研究所、 新浜町内会	1,282	市民局市民協働推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
55		【交通弱者のための「かにっこ号」(仮称)の運行 ～乗り合いタクシーと施設送迎バスの利用を考える～】 高齢化が進んでいるこの地域において、高齢者や障害者が買い物や通院に利用できる、「かにっこ号」(仮称)の運行を目指す。	・地域勉強会の実施 事例共有、地域での意見交換と合意形成、モニターの選出等を実施した。 ・施設送迎バス 運行ルート(仮)の作成 施設送迎バスによる運行案を作成した。 ・外出時の交通利用に関する意識調査 全戸配布によるアンケート実施した。 配布件数:3,637件 回収率:29.6%	健康福祉・医療, まちづくり	東中田町内会連合会、社会福祉法人仙台ビーナス会、東中田地区社会福祉協議会	686	
56		【仙台スポーツボランティアプロジェクト ～仙台を日本で一番スポーツボランティアが盛んなまちに～】 スポーツボランティア(SV)がより活動しやすい環境づくりや活動ノウハウの体系化を通して、仙台・宮城地域のSVを量・質両面から盛り上げる。	・SVに特化したwebサイトの構築 募集情報、関連イベント情報を発信した。 ・SV研修の実施 初級研修会実施回数:2回 初級研修会参加者数:170人 リーダー研修会実施回数:1回 リーダー研修会参加者数:43人	まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人ボランティアインフォ、市民スポーツボランティアSV2004、仙台大学	2,996	
57		【文教地区桜ヶ丘における大学と地域の特色を生かした世代間交流】 大学の持つ最大の資源である学生たちの若いパワーを活用し、高齢者と子どもたちと学生が交流する場を創出することで、地域に活力を生み出し、地域全体が明るく元気なまちとなることを目指す。	・高齢者からのヒアリングと料理づくりの実施 実施町内会数:8町内会 ・「さくらっこニコニコキッチン」の実施 実施回数:8回 ・交流サロンの開催 実施回数:1回 ・桜ヶ丘杜の音楽祭の開催 実施回数:1回	健康福祉・医療, まちづくり	宮城学院女子大学社会連携部、桜ヶ丘学区連合町内会	256	
58	若者の社会参加促進事業(仙台ミラソン)	将来の仙台のまちづくりの担い手となる人材の育成と、市職員の政策形成力の向上を目的として、学生を中心とした若者と市職員等が地域課題の解決策の企画・立案やフィールドワークを重ねる「仙台ミラソン」を実施する。	若者を対象とした地域課題解決策の企画立案・実践プログラムを実施した。 ワークショップ:1回 進捗報告会:1回 中間発表・最終報告会:各1回 参加者数:52人	まちづくり, その他	仙台ミラソン実行委員会	3,000	市民局市民協働推進課
59	協働推進人材育成事業	職員の協働に対する意識やNPOに対する理解を深め、庁内の協働推進を図る人材を育成するため、市民活動団体等へ職員を派遣する体験型事業を実施する。	市職員を対象とした事前研修:1回 市民活動団体等に派遣する研修:延べ5日間 実施報告会:1回 受講者数:20人 派遣受入団体数:14団体	その他	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	1,530	市民局市民協働推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
60	仙台市NPO法人組織基盤安定化事業	NPO法人の組織運営上の事務能力・コンプライアンス意識を高めることで、法人の組織基盤を安定したものにし、法人に対する市民の信頼を高め、協働によるまちづくりの担い手としての力の発揮につなげるため、セミナー等を実施する。	・会計・税務・労務等、NPO法人の組織運営に精通した専門家によるセミナーを実施。 セミナー：7回 延べ参加者数：131人(120団体) ・会計・税務及び労務に関する専門家による個別相談会を実施。 参加団体数：13団体	まちづくり	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる	2,000	市民局市民協働推進課
61	仙台市市民活動サポートセンター指定管理	市民活動の促進に関する事業(施設及び設備の提供、連携交流の推進、情報収集及び提供、人材育成、相談、調査研究等)及び協働の推進に関する事業(機会の提供、情報収集及び提供、事業の支援、調査研究等)を実施する。	仙台市市民活動サポートセンターを運営し、市民活動の促進に関する事業、協働の推進に関する事業を実施した。 総利用件数：17,132件 総利用者数：63,913人	その他	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	7,940	市民局市民協働推進課
62	まちづくり人材育成と情報発信事業	東西線開業を契機に高まった市民のまちづくりへの機運を広げ、まちのにぎわい・楽しさの創出や地域の課題解決を図り、地域の魅力を向上させていくことを目的に、まちづくりのプロジェクトをつくり実現を目指す人材の育成と、メディアを活用した市民によるまちの情報発信の促進を行う。	まちづくり人材育成講座「WE SCHOOL」を開講し、同講座の受講生が企画するプロジェクトの実現化に向けたサポートを行った。 受講者数：46人/3クラス 受講生が生み出したプロジェクト数：10件	まちづくり	株式会社都市設計(WEプロジェクト事務局)	16,632	市民局市民プロジェクト推進担当
63	仙台市および地下鉄東西線沿線のまちづくりプロジェクト活動(東北工業大学との連携)	「東北工業大学と仙台市とのまちづくりにおける連携・協力に関する協定書」に基づき、東西線沿線まちづくりの研究等を東北工業大学への業務委託により実施する。	仙台市のまちづくりに関わる5つのプロジェクトを実施した。	まちづくり	東北工業大学	1,500	市民局市民プロジェクト推進担当
64	東西線まちづくり事業助成	【全国餃子祭りin仙台】 地下鉄東西線国際センター駅北側青葉山交流広場を会場に集客イベントを開催する。 併せて地域特産の仙台産雪菜を皮に練り込んだ仙台の新たな名物食品「仙台あおば餃子」もPRする。	「仙台青葉餃子」をはじめ全国餃子サミット参加団体と行う集客イベントを開催した。 日時：7月1日、2日 場所：せんだい青葉山交流広場(国際センター駅北側) 来場者数：約65,000人(2日間)	まちづくり	全国餃子祭りin仙台実行委員会	500	市民局市民プロジェクト推進担当
65		【せんだいセントラルパーク伊達な川床】 広瀬川の環境や仙台城址の景観を眺めることのできる場所に川床を設置することで、子供から大人までゆったりと納涼の時間を過ごしなが、仙台の魅力を体験してもらう。	広瀬川大橋下流に約20畳の川床を設置し、飲食できる場を提供した。 日時：7月7日～9日 場所：広瀬川大橋下流左岸 来場者数：約1,000人(3日間)	まちづくり、 環境	特定非営利活動法人都市デザインワークス	500	市民局市民プロジェクト推進担当

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
66		【ひかりの散歩みちプロジェクト～荒井に暖かいあかりを灯そう～】 荒井駅周辺は開発中であり、空き地も多く夜間は暗い印象があることから、地域づくり、にぎわいづくりのため、「灯り・明かり」のある新しい街、未来の街のイメージを住民と荒井を訪れる人たちと共有することを目的としたイベントを開催する。	荒井駅周辺を明るくすることを目的に、子供たちが描いた絵画をライトアップし展示するイベントを開催した。 日時:9月3日 場所:東西線荒井駅屋上 来場者数:約1,000人	まちづくり, 子どもの健 全育成	ひかりの散歩みち実行委員会	143	市民局市民プロジェ クト推進担当
67		【伊達政宗生誕450年記念 仙台刈りでギネス・伊達男に挑戦】 政宗公をイメージした仙台刈りのヘアスタイリング同時記録でギネスに挑戦し、仙台城址まで駆け上がりの競争を行う。	仙台刈りのヘアスタイリング同時記録でギネスに挑戦するイベントを開催した。 日時:10月9日 場所:国際センター展示棟、仙台城址 来場者数:約500人	まちづくり	仙台刈りプロジェクトZ実行委員 会	500	市民局市民プロジェ クト推進担当
68		【ARIGATO fes～ Episode.0～】 復興のために活動している団体に感謝し、その存在を仙台市民に広く知ってもらうことを目的としたイベントを開催する。	東日本大震災の支援のため活動している全国の団体と連携し、活動を紹介するイベントを開催した。 日時:2月12日 場所:クリスロード商店街、荒浜 来場者数:約800人	まちづくり	ありがとうフェス実行委員会	375	市民局市民プロジェ クト推進担当
69	市民活動スペース(エル・パーク仙台)管理運営	男女共同参画に取り組むさまざまな市民グループの活動を支援するため、活動の場の提供、関連情報の収集と提供、市民活動相談などを行うオープンスペースを設置している。市民活動支援機能の充実を図るため、特定非営利活動法人に委託し、市民協働による運営管理を行っている。	利用者数(オープンスペース):55,502人 ワークステーション利用回数:1,445回	男女共同参 画社会	特定非営利活動法人イコール ネット仙台	11,039	市民局男女共同参 画課
70	仙台市民間シェルター入所者支援等事業補助金	女性に対する暴力の根絶及びDV被害者に対する支援のため、特定非営利活動法人の運営する民間シェルター入所者に対する支援、DV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る経費を補助する。	民間シェルター入所者に対する支援及びDV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る補助金の交付を実施した。	男女共同参 画社会	(DV被害者の安全確保の観点 から、非公開)	2,400	市民局男女共同参 画課
71	消費生活パートナー事業	消費生活センターと地域をつなぐ担い手(パートナー)を養成し、連携して消費者啓発を行うことにより、消費者被害の未然・拡大防止及び消費生活相談窓口の周知を図る。	消費生活パートナー養成講座やフォローアップ講座を実施するとともに、定期的に啓発等資料を送付して、地域における消費者啓発やパートナー活動を推進する取り組みを行った。 登録者数:48人	消費者保護	市民(公募による)	360	市民局消費生活セ ンター

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
72	仙台市消費者団体活動補助金	消費生活に関する知識の普及や情報の提供等、消費生活の向上を図ることを目的として活動している団体に対し、事業への補助・情報提供等の支援を行う。	補助金交付実績：3件	社会教育、 消費者保護	特定非営利活動法人消費者 市民ネットとうほく、 仙台市生活学校連絡協議会、 公益財団法人みやぎ・環境とく らし・ネットワーク	1,600	市民局消費生活セ ンター
73	福祉避難所	介護など個々の対応が必要となるため、指定避難所での対応が困難な方の避難先となる福祉避難所について、介護施設等との協定締結を進める。	協定締結施設：117施設	健康福祉・ 医療	平成29年度協定締結先： 社会福祉法人緑愛会 (特養 オード・エクラ)、 社会福祉法人家庭福祉会 (障害者支援施設 きぼう 園)、 社会福祉法人愛泉会 (障害福祉サービス事業所あ いむ鶴ヶ谷)	628	健康福祉局総務課
74	小地域福祉ネットワーク活動推進事業	高齢者、障害者、子育て家庭等、誰もが住み慣れた地域で自立して安心した生活が送れるよう、見守り活動やサロン活動等の地域における支え合い・助け合い活動を推進するため、地区社会福祉協議会を実施主体として、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体と連携しながら実施する地域福祉活動の費用の一部を社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。	助成金交付実績：104件	健康福祉・ 医療	地区社会福祉協議会	18,585	健康福祉局社会課
75	市民協働事業提案制度採択事業： 仙台市内のホームレスの全体把握と 居宅確保後の地域定着に向けた伴 走支援	「特定非営利活動法人仙台夜まわりグループ」との協働により、ホームレスに対する調査、情報共有を行うとともに、自立啓発セミナーの実施により、ホームレスの自立を支援する。	夜まわりを月2回、アンケート調査を月1回、自立啓発セミナーを月1回実施した。また、アンケート結果をもとに、個人ごとの「カルテ」を作成し、支援を行った。	健康福祉・ 医療	特定非営利活動法人仙台夜ま わりグループ	1,301	健康福祉局保護自 立支援課
76	福祉まつり「ウェルフェア」	障害者の作品展やステージ発表など文化・芸術活動の発表の場を設け、障害者の創作意欲を助長するための環境の整備や必要な支援を行う。また、市民への障害に対する理解を促進するため、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に来場できる催しを開催する。	開催回数：2回	健康福祉・ 医療	仙台市障害者福祉協会(受託 者)、その他実行委員会を構成 する関係団体	3,042	健康福祉局障害企 画課
77	表現活動による障害者差別解消・障 害理解の促進に関するPR事業 『TOGETHER ACTION PROJECT part2(TAP2)』	障害の有無に関わらず気軽に参加し一緒に楽しめる、ワークショップやオープンアトリエでの音楽などの表現活動を通じた交流を行い、特に若い世代などに対する障害理解の促進を図るPR事業を実施する。	実施回数：5回	健康福祉・ 医療、文化・ 芸術・ス ポーツ・学 術	特定非営利活動法人とってお きの音楽祭	2,000	健康福祉局障害企 画課

事業番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
78	市民協働事業提案制度採択事業： GoodJob！東北プロジェクト 福祉× クリエイティブ産業の協働事業	仙台市域に暮らす障害のある方と地元デザイナーが、一緒に商品開発を行うイベントとして(株)楽天野球団の協力の下、球団応援グッズの商品開発ワークショップを実施する。	・48時間デザインマラソンの実施 クリエイター6名、障害のある個人3名、福祉事業所4団体、計28人が参加した。 実施回数：1回 参加者数：28人	健康福祉・医療、地域経済活性化、文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	2,893	健康福祉局障害企画課(障害者支援課)、 経済局地域産業支援課(産業振興課)
79	難病医療相談会	患者や家族の療養上の不安を解消するため、医師、保健師、看護師等が病気の理解、不安の解消、療養生活等に関する助言・指導を行う難病医療相談会について、市と実施機関の協働にて企画を行う。	実施回数：29回 (委託による実施24回、各区での実施5回)	健康福祉・医療	特定非営利活動法人宮城県患者・家族団体連絡協議会(MPC)	1,425	健康福祉局障害者総合支援センター (障害者支援課)
80	被災者住宅再建相談支援事業	応急仮設住宅入居世帯の住まいの再建を促進するため、不動産団体と連携して相談会を開催する。なお開催にあたっては、弁護士等の専門家による総合相談会と一緒に開催する。	・不動産団体との連携による民間賃貸住宅相談会を開催した。 実施回数：2回 相談件数：17件	その他	公益社団法人宮城県宅地建物取引業協会、 公益社団法人全日本不動産協会宮城県本部、 公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会連合会	—	健康福祉局被災者生活支援室
81	専門家による相談事業	被災者の住宅ローンの返済や住宅建築・購入等に係る融資相談に対応するため、「住宅再建相談会」を住宅金融支援機構との共催により定期的に開催する。また、土地の相続や登記等、被災者の様々な相談に対応するため、弁護士等の専門家による総合相談会を、上記相談会の拡大版として、年2回開催する。	・住宅金融支援機構との共催による住宅再建相談会を開催した。 実施回数：2回 相談件数：18件 ・弁護士等の専門家による総合相談会を開催した。 実施回数：2回 相談件数：39件	その他	住宅金融支援機構、仙台法務局、仙台弁護士会、宮城県司法書士会、一般社団法人宮城県建築士事務所協会、東北税理士会、宮城県土地家屋調査士会、宮城県行政書士会、宮城県社会保険労務士会、一般社団法人宮城県社会福祉士会、日本FP協会、特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会	185	健康福祉局被災者生活支援室
82	被災者伴走型生活支援事業	応急仮設住宅等の入居者を対象とした見守りによる戸別訪問や相談対応を実施するとともに、関係機関と連携を図りながら入居者の生活再建・自立促進に向けた伴走型支援を実施する。また、主体的な住まい探しが困難な応急仮設住宅等の入居者に対し、転居のための総合的な相談・支援を実施する。	・応急仮設住宅等入居者を対象とした見守りを実施した。 延べ訪問件数：92件 延べ面談件数：28件 ・住まい探しが困難な応急仮設住宅等の入居者に対し、転居のための総合的な相談・支援を実施した。 延べ支援件数：804件 転居決定数：11件	健康福祉・医療	一般社団法人パーソナルサポートセンター	24,840	健康福祉局被災者生活支援室

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
83	仙台市給食サービスボランティア助成事業	ひとり暮らし等の高齢者で、食事の準備が困難な方へバランスの取れた食事を提供することによる健康状態の維持、コミュニケーションの確保及び孤立化の防止など、高齢者の介護予防に資するため、ボランティア団体等が行う給食サービス事業に対し助成を行う。	助成金交付実績:5団体 延べ配食数:58,029食	健康福祉・医療	食事サービスふたばの会、高齢者配食サービスぽけっと・はうす、けやきグループ、高齢者配食サービス「ほっと亭」、特定非営利活動法人輪っか	18,146	健康福祉局高齢企画課
84	老人つどいの家(好日庵)	高齢者の教養向上、レクリエーション等のために利用する老人つどいの家「好日庵」を設置する者に対し助成を行い、高齢者の心身の健康増進を図る。	助成金交付実績:90件	健康福祉・医療	老人クラブ	28,622	健康福祉局高齢企画課
85	老人クラブ活動事業助成	高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、老人クラブの活動に対し助成金を交付する。	助成金交付実績:440件	健康福祉・医療	老人クラブ	23,252	健康福祉局高齢企画課
86	仙台市ふれあいデイホームボランティア助成事業	ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者等を対象とした生活指導や軽運動、食事の提供などを通じて、生きがいづくりや健康づくり、居場所づくりを行うボランティア団体への助成を行う。	助成金交付実績:13団体 延べ実施回数:823回	健康福祉・医療	ふれあいの家・さざんか、フラッシュグループ、特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家、ゆうゆう(結遊)、特定非営利活動法人ゆうあんどあい、ふれあいデイホーム菰、ふれあいサロンかざとり、泉ヶ丘ふれあいデイホームろばたの会、南光台ボランティア友の会けやきの会、特定非営利活動法人でんでん宮城いきいきネットワーク、永和台ふれあいデイホームひまわり会、ふれあいサロンとみざわ、湯元ゆのはな会	11,538	健康福祉局高齢企画課
87	住民主体による訪問・通所型生活支援モデル事業	要支援者等の利用対象者を新たに受け入れる、高齢者に対する生活支援活動(訪問型サービス)又はサロン活動(通所型サービス)を実施しているボランティア団体等に対し、助成を行う。	助成金交付実績:23団体	健康福祉・医療	吉成学区社会福祉協議会、鶴ヶ谷地区社会福祉協議会、デイハウス運営委員会、特定非営利活動法人あかねグループ、特定非営利活動法人仙台傾聴の会仙台支部、中田中部地区社会福祉協議会、地域サポート研究会ひなたぼっこ、特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家、向山地区社会福祉協議会、中田西部地区社会福祉協議会、歌声喫茶、	2,077	健康福祉局高齢企画課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
					特定非営利活動法人地域生活支援オレンジねっと、特定非営利活動法人おひさまくらぶ、特定非営利活動法人グループゆう、けやきグループ、百縁ひろばネットワーク、悠友ボランティアグループin明石南、向陽台ささえ愛の会、桂ボランティアの会、松陵・永和台地区社会福祉協議会、ビレジハッピー倶楽部、いっぷく処の会、仙台市松陵生活学校		
88	高齢者健康増進 (第20回生きがい健康祭)	高齢者の生きがいと健康づくりの場の充実を目的とし、高齢者保健福祉計画の重点課題の一つである「生きがいづくり・社会参加の促進」への具体的な取り組みと位置づけ、実行委員会・仙台市・公益財団法人仙台市健康福祉事業団の三者共催で毎年実施する。 (参考:生きがい健康祭とは、以下3つの総称) ①競技種目交流大会 ②市民広場交流事業 ③はつらつ健康フェスティバル	①競技種目交流大会(全17競技種目) 参加者数:2,108人 ②市民広場交流事業(関係団体・一般団体・協賛企業計28団体、その他14団体によるステージ発表) 来場者数:約10,000人 ③はつらつ健康フェスティバル 発表者:18団体680人 一般入場者数:191人 ボランティア等:31人	健康福祉・医療, 地域経済活性化, 文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市高齢者生きがい健康祭実行委員会ほか	3,089	健康福祉局高齢企画課
89	認知症カフェ支援事業	認知症カフェの立上げや継続的な運営を支援することを目的として、研修や情報交換会を開催する。	研修実施回数:1回 情報交換会等実施回数:1回 延べ参加者数:182人	健康福祉・医療, まちづくり	認知症介護研究・研修仙台センター、認知症カフェ開催団体(認知症の人と家族の会宮城県支部、地域包括支援センター、認知症介護家族、特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホーム等)	482	健康福祉局地域包括ケア推進課
90	介護予防月間	介護予防の意義や重要性を広く市民に啓発し、積極的な介護予防の取り組みへの参加を促すことを目的とし、11月を介護予防月間と位置づけ関係団体と連携して実施する。	オープニングイベント来場者数:1,856人 個別催事 関係団体:16団体 催事回数:43回 来場者数:5,343人	健康福祉・医療	一般社団法人仙台市医師会、一般社団法人仙台歯科医師会、一般社団法人仙台市薬剤師会、公益社団法人宮城県看護協会、公益社団法人宮城県栄養士会、一般社団法人宮城県理学療法士会、特定非営利活動法人日本健康運動指導士会、老人クラブ連合会等	595	健康福祉局地域包括ケア推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
91	被災者向け介護予防・コミュニティ 形成事業	復興公営住宅で暮らす高齢者等は生活環 境の変化の中で、ストレスなどから運動量が 少なくなり、生活不活発病や閉じこもりが多 くなる。これを防ぐために運動教室を実施し、 生活機能改善を図り、新たな交流の場を提 供することを目的とする。	実施回数:52回(市内4区全7か所) 参加者数:723人	健康福祉・ 医療, その 他	町内会等の地域団体、地域包 括支援センター、一般社団法 人パーソナルサポートセンター	2,767	健康福祉局地域包 括ケア 推進課
92	介護予防自主グループ支援事業	地域における介護予防活動の推進を目的 に、引き続き介護予防運動サポーターの人 材育成、介護予防自主グループ活動が継 続するための後方支援を実施する。	・サポーター養成研修 実施回数:73回 参加者数:1,552人 ・スキルアップ研修 実施回数:32回 参加者数:1,178人 ・その他 実施回数:2回 参加者数:107人 新たに24グループが活動を開始。市内 216グループが活動中。	健康福祉・ 医療	地域住民により自主的に結成さ れている介護予防自主グルー プ、地域包括支援センター	4,947	健康福祉局地域包 括ケア 推進課
93	認知症サポーター等養成事業	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や 職場において認知症の人や家族を支援す る「認知症サポーター」を養成する「認知症 サポーター養成講座」の事務局を運営し、 市民からの講座開催の申込みに応じて講 師を派遣する。なお、講師は講座開催のた めに「キャラバン・メイト養成研修」を受けた 「キャラバン・メイト」が担当し、原則ボラン ティアの立場で行う。認知症サポーターを 養成することにより、認知症の人や家族が 安心して暮らし続けることのできる地域づくり を推進する。	キャラバン・メイト養成数:57人 認知症サポーター養成数:11,891人	健康福祉・ 医療, まち づくり	「キャラバン・メイト」として登録さ れた人、市民(認知症サポー ター養成講座を受講した人)	368	健康福祉局地域包 括ケア 推進課
94	市民健康プラン推進(3歳児カリエス フリープロジェクト85)	3歳児のむし歯有病者率の低下を目指し、 乳児期健診時に歯と口の健康づくりへの動 機づけを行う。	・「せんだい☆でんたるノート」、「協力歯科 医療機関リスト」を各13,000部作成し、8 か月児から9か月児保護者へ啓発を実 施。 ・協力歯科医療機関を対象とした研修 会:2回開催、参加者110人	健康福祉・ 医療	一般社団法人仙台歯科医師 会、 一般社団法人仙台市医師会	709	健康福祉局健康政 策課
95	市民健康プラン推進(がん予防啓 発)	民間企業と協定を締結し、がん検診等市民 健診受診に関する啓発を行う。	企業との協定締結:22件	健康福祉・ 医療	アイリスオーヤマ株式会社他21 企業団体	246	健康福祉局健康政 策課
96	歯と口の健康週間 市民のつどい	歯と口の健康週間に合わせ、歯と口の健康 に関する正しい知識を市民に普及啓発し、 適切な健康習慣の定着を図る。	実行委員会開催数:3回 市民のつどい・来場者数:810人	健康福祉・ 医療	東北大学歯学部、一般社団法 人仙台歯科医師会、PTA協議 会、幼稚園連合会、栄養士会 等	90	健康福祉局健康政 策課
97	食育推進(大学生の食育プロジェク ト)	食に関心の薄い年代に対する、同世代の 学生による食に関する啓発の企画・実施を 行う。	平成28年度に当該プロジェクトで作成した リーフレットを活用し、PTAフェスティバル、 成人式にて啓発活動を実施した。 リーフレット配布数:470部	健康福祉・ 医療	管理栄養士養成大学の学生	43	健康福祉局健康政 策課

事業番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
98	看護師人材確保対策事業	看護師の離職防止を目的に医療機関等に勤務した新人看護師の研修事業を実施する。	卒後1年目研修(3回コース)実施回数:2回 卒後2年目研修(1回コース)実施回数:2回(同じテーマで同日2回実施)	健康福祉・医療	公益社団法人宮城県看護協会	1,000	健康福祉局健康政策課
99	食で健康サポート店事業	健康的な食生活の推進を目的に、栄養成分表示やバランスメニューの提供等を行っている飲食店等を登録する。	登録件数:56店舗	健康福祉・医療	市内飲食店、食料品販売店、給食施設	60	健康福祉局健康政策課
100	受動喫煙防止宣言施設事業	県、市、全国健康保険協会宮城支部の3者の連携事業。受動喫煙防止に取り組む施設を登録し、周知する。	登録件数:1038施設 (うち市内施設:547施設)	健康福祉・医療	事業所、飲食店等	145	健康福祉局健康政策課
101	こころの健康づくり事業(自死遺族等に対する支援事業補助)	自死遺族に対する支え合いの活動を行っている団体を支援する。	補助金交付実績:5団体	健康福祉・医療	社会福祉法人仙台いのちの電話他4団体	971	健康福祉局健康政策課
102	収容動物の譲渡事業	動物管理センター(アニマル仙台)に収容された犬や猫の命を繋ぐため、譲渡会を行う。	収容動物譲渡会実施回数:32回	その他	特定非営利活動法人エーキューブ、公益社団法人仙台市獣医師会	—	健康福祉局動物管理センター
103	仙台市市民協働によるHIV・性感染症予防啓発及び検査受検促進事業	(1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進 HIV検査を必要とする人が安心して検査に行くことができるように情報提供ウェブサイトとして平成27年度に開設した、「仙台HIVネット」の運営を継続し、その周知及び充実に図り、これまでHIV検査を受けたことがない方の受検を促進する。 (2)MSM(男性間性交渉者)を対象とした受検促進 HIV感染のハイリスク層であるMSM(男性間性交渉者)を対象とした広告掲載、広報物の配布を行い、検査受検を促進する。	(1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進 ・情報サイト「仙台HIVネット」の運営継続 閲覧件数:5,994件 ・仙台市市民活動サポートセンター通信「ぱれっと」への情報掲載:HIV/エイズの現状、「仙台HIVネット」のPR、当該協働事業の取り組み紹介 ・twitterを用いた情報発信:エイズ・性感染症情報発信、「仙台HIVネット」のPR ・イベントでのHIV検査情報の掲示、「仙台HIVネット」の広報カード等の配布 (2)MSMを対象とした受検促進 ・MSM向けアプリケーション(バナー)広告 掲載回数:年4回、各2週間 ・MSM向け広報物の作成・配布:6月、12月に仙台市が実施したエイズ・梅毒即日検査会のポスター、カードを作成し、市内のMSM向け商業施設に配布(それぞれ12店舗、ポスター20部、カード300部)	健康福祉・医療, その他	東北HIVコミュニケーションズ	420	健康福祉局健康安全課
104	赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会献血事業補助金交付	献血推進のため、赤十字奉仕団が行う献血事業の活動を支援する。	補助金交付実績:1件	健康福祉・医療	赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会	275	健康福祉局健康安全課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
105	環境衛生改善機器等整備補助金交付	ハエ・蚊等の駆除用として動力薬剤散布機、地域に繁茂する雑草の除草用として動力草刈機、下水道処理区域でない私道に布設する準公共的な排水設備を整備する事業に補助金を交付する。	補助金交付実績:31団体	健康福祉・医療, 環境	町内会、連合町内会、衛生団体連合会、公衆衛生組織等	950	健康福祉局生活衛生課
106	せんだい食の安全サポーター	食の安全サポーター会議(講習会・食品関係施設の見学)への参加を通じて、食品安全についての理解を深めながら、市民向けのパンフレット等の作成作業や食品衛生監視指導計画への意見を述べる作業などを行う。	せんだい食の安全サポーター会議:4回	健康福祉・医療	せんだい食の安全サポーター	509	健康福祉局生活衛生課
107	せんだい食の安全情報アドバイザー	リスクコミュニケーションをさらに推進するため、食品衛生監視員とともに食品の安全性に関する普及啓発を行うなど、自ら情報発信する活動を行う。	せんだい食の安全サポーター会議:4回 食品衛生普及啓発活動:1回 市民向け講演会への参加:1回 研修:1回	健康福祉・医療	せんだい食の安全情報アドバイザー	上記事業と共通	健康福祉局生活衛生課
108	仙台すくすくサポート事業	育児の援助を受ける方(利用会員)と育児の援助を行う方(協力会員)が会員となって行う市民相互の育児援助活動であり、仙台すくすくサポート事業事務局が会員登録や仲介を行い、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を協力会員の中から選任されたサブリーダーが行っていく。	日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。	子どもの健全育成	協力会員	4,044	子供未来局総務課
109	のびすくネット仙台	コミュニティFM「ラジオ3」との共催により、子育て支援情報局「のびすくネット仙台」を放送している。毎週月曜日に仙台市の子育て支援の情報提供を行っている。	子育て支援に関する情報発信を行った。 放送回数:52回(うち半数は再放送)	子どもの健全育成, その他	ラジオ3(株式会社仙台シティエフエム)	—	子供未来局総務課
110	学習・生活サポート事業	生活困窮世帯の中学生に対し、学力の向上のための学習支援及び心の安定を図る居場所の提供を行うとともに、その保護者への相談支援等を実施することなどにより、貧困の連鎖を防止することを目的とする。	平成25年度は太白区、平成26年度は太白区、青葉区でモデルを実施し、平成27年度より全区へ拡大した。 参加者数:82人(平成25年度) 172人(平成26年度) 286人(平成27年度) 331人(平成28年度) 321人(平成29年度)	健康福祉・医療, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人アスイク	69,643	子供未来局子供家庭支援課、健康福祉局保護自立支援課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
111	仙台市青少年健全育成団体事業費等補助金交付	青少年の健全な育成を図るため、仙台市内で活動している青少年健全育成団体が行う事業等に対し補助金を交付する。	補助金交付実績:13件	社会教育, 子どもの健全育成	ガールスカウト仙台地区協議会、日本ボーイスカウト仙台地区協議会、仙台子どもまつり実行委員会、仙台市保護司会連絡協議会、更生保護法人宮城東華会、青葉区児童福祉協議会連絡協議会、若林区児童福祉協議会連絡協議会、太白区児童福祉協議会連絡協議会、社会を明るくする運動仙台市推進委員会、仙台市子ども会育成会連合会、仙台市泉区子ども会育成会、仙台市宮城子ども会育成会連合会、仙台市青少年健全育成協議会	5,674	子供未来局子供相談支援センター
112	仙台市地域子育て支援クラブ等活動補助金交付	仙台市地域子育て支援クラブ事業実施要綱に定める組織として、本市内で設立し活動する地域子育て支援クラブ等の活動に要する経費の一部を助成する。	補助金交付実績:86件	まちづくり, 子どもの健全育成	仙台市地域子育て支援クラブとして登録されている団体及び、それらの団体の連絡協議会	8,950	子供未来局子供相談支援センター
113	地球温暖化対策関連事業 (仙台市地球温暖化対策推進協議会によるもの)	市民・事業者・行政等から構成される仙台市地球温暖化対策推進協議会が、市域における地球温暖化対策を推進するため、市民や事業者を対象としたイベントの開催など各種事業を実施する。	・事業者向け省エネ・再エネ支援制度紹介セミナーを開催した。 参加者数:14人 ・ミニ太陽光発電システムワークショップを開催した。 参加者数:8組18人 ・エコフェスタ2017、第29回太白区民まつりへ出展した。(太陽光発電によるガラスエッチング体験) 参加者数:累計302組	環境	仙台市地球温暖化対策推進協議会	394	環境局環境企画課
114	せんだいE-Action事業	市民、企業、行政などが協働して3E(省エネ・創エネ・蓄エネ)啓発に取り組むため「せんだいE-Action実行委員会」を組織し、各種普及啓発を行う事業。	・緑のカーテンの普及、打ち水、ライトダウンイベント等を実施した。 参加者数:5,208人 ・「伊達な節電所キャンペーン」を実施した。 節電実績:メガソーラ6.3基分 参加者数:246人	社会教育, まちづくり, 環境	せんだいE-Action実行委員会	2,423	環境局環境共生課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
115	杜の都の市民環境教育・学習推進 会議事業 (FEEL Sendai)	市民・NPO・学校・事業者・行政等で構成する組織により、幅広いネットワークを活用しながら環境学習プログラムの実践や環境社会実験、啓発イベント等を企画し、環境に配慮する人を社会全体で育てていくため、環境教育・学習を推進する。	・体験型環境学習プログラムを小学校等で実践した。 延べ実践件数：70件 ・市民活動団体等による環境社会実験企画を実施した。 企画数：3企画 ・啓発イベントを開催した。 来場者数：約1,300人 ・その他、環境教育に携わる若い世代の育成事業等を実施した。	社会教育、 まちづくり、 環境、子ども の健全育成	杜の都の市民環境教育・学習 推進会議	4,261	環境局環境共生課
116	天水桶手づくり講座	水循環に関する講座(座学)及び天水桶作り講座(実習)を年1回開催。 この講座は、合流式下水道の改善と放流先河川の水質浄化等を目的として平成8年度より毎年開催している。現在は大型ごみ箱を材料に天水桶を作製し、雨水利用や水循環について周知を図っている。	天水桶手づくり講座を実施した。 実施回数：1回(7月8日) 参加者数：抽選による参加者54人 (申込者数71人) 会場：農業園芸センター	環境	仙台リバーズネット・梅田川	336	環境局環境対策課
117	アメニティ・せんだい推進協議会	市民団体・事業者・行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置。平成29年度より市民参加を求める事業への提言及び意見交換の場とする部会を設置。情報交換を行うほか、ごみ減量・リサイクルや環境美化を含めた環境問題について市民に広く訴えるため、イベントの開催や冊子の発行などさまざまな活動している。	・エコフェスタ2017を開催した。 来場者数：11,500人 ・3R講師派遣事業を実施した。 実施回数：22回 ・冊子「3Rわかる本2018」を発行した。 発行部数：17,000部	環境	全環衛生事業協同組合、仙台市環境整備公社、仙台市集団資源回収業者協議会、仙台・みやぎ消費者支援ネット、仙台市生活学校連絡協議会、みやぎ生活協同組合、生活協同組合あいコープみやぎ、ACT53仙台、公益社団法人仙台青年会議所、仙台生ごみリサイクルネットワーク、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、ペットボトルラベルはがし調査実行委員会、とうほく食育実践協会	1,567	環境局家庭ごみ減量課
118	集団資源回収事業	資源物の有効利用を図るとともに、地域のコミュニティづくり等に資するため、地域における資源物(紙類・布類・アルミ缶等)の集団回収の実施団体に対し、回収量や実施回数に応じて、奨励金を交付するほか広報物の配付等を実施する。	実施団体に対し、奨励金を交付し、広報物として集団資源回収のてびき、リーフレットを配布した。 実施団体数：1,321団体	環境	町内会、子供会等	94,394	環境局家庭ごみ減量課
119	生ごみ減量・リサイクル講座	生ごみの減量及び資源としてリサイクルすることの意識向上を図るため、生ごみ減量のコツやリサイクル方法を紹介する。	生ごみ減量講座を実施した。 実施回数：20回 参加者数：525人	環境	仙台生ごみリサイクルネットワーク	503	環境局家庭ごみ減量課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
120	地域清掃支援	「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」に基づく清掃活動支援。公共の場所を清掃する団体、個人などに対し、ごみ袋の配布、火ばさみの貸与、ごみ収集の支援を行う。	ごみ袋配布枚数:大袋305,323枚 小袋111,234枚 火ばさみ貸出し本数:延べ2,203本	環境	ボランティア清掃活動を行う市民・事業者・町内会等	10,840	環境局家庭ごみ減量課
121	仙台まち美化サポートプログラム	市民グループ、企業、学校などの団体が年6回以上、公共用地等の一定の区域を決めて清掃、除草等を行う場合、覚書を締結の上、ごみ袋の提供、火ばさみの貸出し、ごみの収集などの支援をする。	登録団体数:237団体	環境	ボランティア清掃活動を行う市民グループ、企業、学校等	—	環境局家庭ごみ減量課
122	クリーン仙台推進員制度	ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、生活環境の保全のため、地域で取り組むリーダーを育成するとともに、その活動を支援する。	クリーン仙台推進員:2,483人 クリーンメイト:1,715人 グループ学習会実施回数:2回 分別研修会開催:5区 排出実態調査:1,654人 排出実態調査報告会:5区	環境	町内会、クリーン仙台推進員、クリーンメイト	10,159	環境局家庭ごみ減量課
123	COC+参加大学との連携事業	学生が取材班を組織し、地元中小企業の経営者や社員に対して、企業の魅力や取り組みなどについて取材する。取材を基に、取材先の紹介記事を書き、専用WEBサイト、SNS、情報誌などで情報を発信する。	学生が地元中小企業を取材して作成した記事を情報誌(WISE)としてとりまとめ、各大学等へ配布した。併せて、専用WEBサイトに記事を掲載し情報発信を行った。 学生参加者数:27人 取材先:16社 情報誌(WISE)配布数:10,000部	地域経済活性化	仙台・地域人材定着推進実行委員会	24,800	経済局地域産業支援課
124	中心部商店街活性化事業	中心部商店街の賑わい維持のため、市中心部の8商店街振興組合をはじめ、仙台商工会議所、大型店、河北新報社、学識経験者、まちづくり関係者等が連携するエリアマネジメント組織の立ち上げ及び自立に向けた取り組みを支援する。併せて中心部の賑わいをフィールドとして活用し、起業促進等のモデルケース構築にも取り組む。	平成29年4月1日に発足した仙台市中心部商店街活性化協議会において、中心部エリアの魅力向上や利便性向上に資する事業を検討し実施した。また、今後の協議会のあり方や新規事業について協議会の中で検討を行った。	まちづくり、地域経済活性化	中心部8商店街振興組合(名掛丁、クリスロード、おおまち、サンモール、一番町一番街、一番町四丁目、本町、仙台朝市)	72,535	経済局地域産業支援課
125	商店街賑わい創出・基盤整備事業	商店街等が地域の特性を生かし、交流人口拡大等にかかるイベント事業により地域のコミュニケーションを高め活力ある商店街づくりを行うためのイベント助成金をはじめ、商店街のソフト・ハード事業等を支援し商店街の持続的な活性化を図る。	イベント助成事業:26件 商店街ビジネス連携支援事業:2件 広報力強化支援事業:1件	まちづくり、地域経済活性化	商店街及び任意の商店会等	13,243	経済局地域産業支援課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
126	東北大学IIS研究センター	東北大学電気・情報系研究室と企業とのマッチング・コーディネート等により、域外の研究開発型企业との共同研究開発等の推進を通じて誘致活動を実施し、併せて、地域のIT関連企業の技術力向上や販路拡大・新ビジネス参入を支援する。	延べ来訪数:184社(450人) 延べ訪問数:837社 競争的資金獲得支援:2件	地域経済活性化	東北大学	26,041	経済局産業振興課 (企業立地課)
127	農あるふるさとづくり支援事業	農業を基軸とした地域における地域の特性と資源等を活かした住民主体の地域づくり活動の推進を図るため、地域団体が自主的に取り組む事業に対して助成金を交付する。	農産物の産直市、試食会などを行うイベントに対し、助成を行った。 助成金交付実績:2件	地域経済活性化	概ね半数以上が当該地域に住所を有する者で構成されている団体	218	経済局農政企画課
128	日本文化体験	外国人に対し、日本の伝統文化体験の機会を提供する催し物を実施する。	・6月に「七夕交流会」を実施し、抹茶、煎茶、生け花、書道、折り紙、着付け等の日本文化体験を行った。 参加者数:180人 ・10月にレンヌ市から高校生が来仙し、着付け体験を行った。 参加者数:10人 ・3月に2回、アカプルコ市から市民訪問団が来仙し、着付けと生け花、書道、折り紙体験を行った。 参加者数:1回目7人、2回目10人	文化・芸術・スポーツ・学術, 国際交流・協力	日本伝統文化の会	156	文化観光局交流企画課
129	せんだい日本語講座	外国人市民を対象に行う日本語講座。青葉区中央市民センターを会場に、前期、後期と通年で基礎から中級まで10クラス実施する。講師は特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会が務める。	講座開催数:674回 受講者数:前期130名、後期114名	社会教育, 国際交流・協力	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	1,960	文化観光局交流企画課
130	日本語ティールーム	外国人市民を対象に行う日本語講座(託児付)。八木山市民センターを会場に通年で実施する。講師は日本語ティールームボランティアが務める。	講座開催数:70回 受講者数:62名	社会教育, 国際交流・協力	日本語ティールーム	250	文化観光局交流企画課
131	さっと日本語クラブ	小中学生の外国人を対象に、日常生活及び学校生活、学習に必要な日本語能力習得を図る講座を提供する。青葉区中央市民センターを会場に、5月から翌年2月に実施する。講師は特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会が務める。	講座開催数:34回 受講者数:29名	国際交流・協力, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	100	文化観光局交流企画課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
132	せんだい地球フェスタ	仙台市内の国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体とボランティアが集まるイベントを開催する。	「せんだい地球フェスタ2017」を9月に開催し、団体紹介、ステージ発表、世界の食ブース、日本語弁論大会、映画上映、ワークショップ等を行った。 来場者数:約7,300人 参加団体:66団体 ボランティア:103人	国際交流・協力	せんだい地球フェスタ実行委員会	4,803	文化観光局交流企画課
133	日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス2017宮城	日本語を母語としない親子のために、高校進学についての説明会を開催する。	「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス2017宮城」を7月に実施し、高校進学に関する説明、教員からのアドバイス、進路相談を行った。 参加者数:42人	国際交流・協力, 子どもの健全育成	日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス実行委員会、宮城県国際化協会等	70	文化観光局交流企画課
134	外国につながる子どもサポートせんだい	日本語を母語としない外国人児童生徒をはじめとする、外国につながる子どもの支援を行う。	外国につながる子どもに関する相談対応及びコーディネーター派遣による支援の実施 相談受付:50件 コーディネーター派遣:32件	国際交流・協力, 子どもの健全育成	外国人の子ども・サポートの会、特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会、外国人支援の会OASIS	617	文化観光局交流企画課
135	日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室	日本語を母語としない小中学生の学習の場を提供し、ボランティアによる日本語や教科の指導を行う。	「日本語を母語としない子どものための夏休み教室」を8月に実施し、教科学習及び日本語学習を行った。 参加者数:外国につながる子ども延べ48人	国際交流・協力, 子どもの健全育成	外国人の子ども・サポートの会、特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	101	文化観光局交流企画課
136	仙台国際センター交流コーナー相談業務	国際センター交流コーナーにて、各種相談サービスを行う。	相談受付数:4,682件 (日本人:3,124件、外国人:1,558件)	社会教育, まちづくり, 国際交流・協力	外国人支援の会OASIS	9,822	文化観光局交流企画課
137	市民活動助成	国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体に対して、事業経費の一部を補助する。	補助金交付実績:9件	国際交流・協力	国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体	611	文化観光局交流企画課
138	西部地区活性化助成事業	主要観光地である西部(秋保・作並定義・泉西部)地区において、同地域における観光振興の基盤強化や新たな観光資源の創出を促進し、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を目的に実施される地域活性化事業について助成する。	助成金交付実績:22件	まちづくり, 地域経済活性化	西部(秋保・作並定義・泉西部)地区の区域内に活動拠点を有し、観光振興に寄与する活動を行う団体	14,719	文化観光局観光課
139	仙台国際ハーフマラソン大会	市民も参加できるマラソン大会を運営する。	仙台国際ハーフマラソンを開催した。 参加者数:12,991人 沿道観衆者数:51,000人	文化・芸術・スポーツ・学術	市民ボランティア、市学区民体育振興会連合会、スポーツボランティア団体	59,984	文化観光局スポーツ振興課
140	全日本大学女子駅伝対校選手権大会	大学女子日本一を決める駅伝大会を実施する。	全日本大学女子駅伝対校選手権大会を開催した。 沿道観衆者数:60,000人	文化・芸術・スポーツ・学術	市学区民体育振興会連合会	11,000	文化観光局スポーツ振興課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
141	スポーツコミッションせんだい	大規模スポーツ大会の開催・支援等による本市の地域活性化を図る。	スポーツイベントについての開催支援数：7件 平成29年度の大会誘致数：5大会	文化・芸術・スポーツ・学術	スポーツボランティア団体、大学、報道機関、運輸機関	6,301	文化観光局スポーツ振興課
142	仙台市学区民体育振興会連合会育成補助	小学校区ごとに組織された学区民体育振興会の集合体で、地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進める。	仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市学区民体育振興会連合会、120学区民体育振興会	18,699	文化観光局スポーツ振興課
143	仙台市体育協会育成補助	種目別競技団体による市民の体育を振興し、健全なるスポーツ精神を養成する。	仙台市体育協会が行う各種競技会、体力・競技力向上等に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市体育協会、区体育協会	18,129	文化観光局スポーツ振興課
144	仙台市レクリエーション協会育成補助	市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興と発展を図る。	仙台市レクリエーション協会が行うレクリエーションの普及・発展に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市レクリエーション協会、区レクリエーション協会	602	文化観光局スポーツ振興課
145	杜の都の演劇祭	市内で活躍する演劇関係者らでつくるプロジェクトチームと協力し、街なかの飲食店にてドラマリーディングを行う。	市内中心部の飲食店において、4演目全16ステージを開催した。また、今年度は公募団体による周辺公演(エクステンジプログラム、コラボレーションプログラム、フリンジプログラム)を12演目実施した。	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	杜の都の演劇祭プロジェクト	3,200	文化観光局文化振興課
146	市民能楽講座	能楽に関する専門性を有する仙台市能楽振興協会と連携し、能になじみのある人はもとより、初心者にもわかりやすい能の公演と併せて、解説・ワークショップを開催する。	市民能楽講座を開催した。 チケット販売枚数： 能楽公演：544枚、事前講座：81枚 参加者数： 能楽公演：538人、事前講座：78人	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市能楽振興協会	2,298	文化観光局文化振興課
147	公益財団法人仙台市市民文化事業団事業(支援・助成・協力)	市民の自主的な文化活動を支援し、新たな文化交流・創造・発信を図るための支援を行う。 ①助成事業：審査会を経て、評価項目に該当する事業の経費の一部を助成する。 ②協力事業：イベント等の制作面での協力を行う。 ③支援事業：公益財団法人仙台市市民文化事業団が発行する季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行う。	①助成金交付実績：138件 ②協力件数：72件 ③支援件数：177件	文化・芸術・スポーツ・学術	事業を主催し実施する市内の団体(個人)、事業を主催し市内で実施する市外の団体(個人)	19,717	文化観光局文化振興課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
148	まちづくり支援専門家派遣事業	【青山地区】 青山地区に合った交通手段を実現するために設立された地域住民組織に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、地域に合った交通手段の実現のため検討会を実施した。 派遣回数:1回	まちづくり	青山地区交通検討会	50	都市整備局公共交通推進課
149		【生出地区】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	委員会の活動を支援するためのまちづくりアドバイザーを派遣した。 派遣回数:計8回	まちづくり	生出地区まちづくり委員会	400	太白区ふるさと支援担当
150		【中田地区】 鉄道高架化と東西を通した地区全体の活気あるまちづくりの勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	勉強会の活動を支援するためのまちづくりアドバイザーを派遣した。 派遣回数:計3回	まちづくり	中田地区鉄道高架化・まちづくり勉強会	150	太白区ふるさと支援担当
151		【通町地区】 地域の特性や課題の整理、まちづくり方針や整備イメージ等の作成に向けた勉強会及び住民アンケートを実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、地域の特性や課題整理のための勉強会及び地域住民の意識等を把握するためのアンケート調査を実施した。 派遣回数:計10回	まちづくり	青葉神社通りまちづくり協議会	500	都市整備局都市計画課
152		【坪沼地区】 坪沼小学校跡施設の活用方法を中心とする地域振興策の検討、基本構想の作成を行う団体に対して、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、坪沼小学校跡施設の活用方法を中心とする地域振興策の検討を行う勉強会を実施した。 派遣回数:計10回	まちづくり	坪沼地区ふるさと活性化研究会	500	太白区ふるさと支援担当
153		【愛子地区】 区画整理事業の事業化に向けた土地利用計画や資金計画を定める事業計画案の検討を行う団体に対し、まちづくりコンサルタントを派遣し支援を行う。	コンサルタントを派遣し、区画整理事業の事業化に向けた勉強会及び各地の先行事例の視察を実施した。 派遣期間:6月1日～平成30年3月31日	まちづくり	愛子土地区画整理組合設立準備委員会(愛子地区まちづくり発起人会から改組)	659	都市整備局市街地整備課(市街地整備事業課)
154		【燕沢地区】 燕沢地区に合った交通手段を実現するために設立された地域住民組織に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、地域に合った交通手段の実現のため検討会を実施した。 派遣回数:6回	まちづくり	燕沢地区交通検討会	300	都市整備局公共交通推進課
155		【おおまち地区】 地域の特性や課題の整理、まちづくり構想案の作成に向けた勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、まちづくりの方向性をまとめたまちづくり構想案の策定に向けた勉強会を実施した。 派遣回数:計10回	まちづくり	今後のおおまちのまちづくりを考える勉強会	500	都市整備局都市計画課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
156		【車町通地区】 地域の特性や課題の整理、まちづくり方針 や整備イメージ等の作成に向けた勉強会及 び住民アンケートを実施する団体に対し、ま ちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、地域の特性や課 題整理のための勉強会及び地域住民の 意識等を把握するためのアンケート調査 を実施した。 派遣回数：計6回	まちづくり	車町通共栄会	400	都市整備局都市計 画課
157		【宮城野通地区】 宮城野通エリアの活性化に向けたエリアマ ネジメント活動の検討を行う団体に対し、ま ちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、まちづくりコンセプ トや手法の検討、他都市事例学習などを 行った。 派遣回数：計5回	まちづくり	宮城野通り勉強会	250	都市整備局都心ま ちづくり課
158		【作並・新川地区】 地域課題の整理と活性化策検討のための 勉強会及び住民アンケートを実施する団体 に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援 を行う。	アドバイザーを派遣し、地域住民を対象に したアンケート調査を行い、地域課題の把 握を行うとともに地域活性化策の検討等 の取り組みを行った。 派遣回数：計6回	まちづくり	作並・新川地区活性化連絡協 議会	400	青葉区宮城総合支 所ふるさと支援担当
159		【国見地区】 平成風土記作成のための資料収集や取材 を行う団体に対し、まちづくりアドバイザーを 派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを 行った。 派遣回数：計5回	まちづくり	国見地区平成風土記作成委 員会	250	青葉区まちづくり推 進課
160	景観まちづくり協議会活動助成金事 業	【青葉通地区】 魅力的で賑わいのある「青葉通」を目指し、 まちづくり活動を行っている地元協議会に対 し、景観形成に関する活動の助成等により 支援する。	地元協議会が青葉通の賑わいづくりのた めに実施した「青葉通カフェ」に対して助 成金を交付した。	まちづくり	青葉通まちづくり協議会	100	都市整備局都市景 観課
161	生活交通運行維持対策事業	路線バスの運行が廃止された坪沼地区に おいて、地域の住民組織が主体となって運 営している乗合タクシーについて、支援を行 う。	乗合タクシーの運営を支援するため、補 助金を交付した。	まちづくり	坪沼乗合タクシー運営協議会	2,500	都市整備局公共交 通推進課
162	鶴ヶ谷第一市営住宅団地における 高齢者見守り事業	鶴ヶ谷第一市営住宅団地において、郵便 物の溜まり状況の確認等を地元NPO団体に 委託し、町内会と連携しながら入居者の安 否確認や異常時の確認等、対応を進める。	各世帯の郵便物の溜まり状況を確認し、 入居者の安否確認に努めた。(確認日 数：104日、特に異常はなし。)	健康福祉・ 医療、まち づくり	特定非営利活動法人暮らしの サポートセンター	750	都市整備局住宅政 策課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
163	マンション管理適正化推進事業	マンション管理の適正化の推進のため、専門家団体・行政等が、マンションの管理組合の管理運営を支援する。 市はマンション管理支援ネットワーク事業の委託、会議への参加等を、宮城県マンション管理士会は、マンション管理基礎セミナー等の企画立案や事務局としてネットワーク構成団体との調整を、その他の団体は各種事業の実施に伴う人的派遣や知的情報の提供を行う。	・情報提供啓発事業 マンション管理基礎セミナー：2回 公開相談会(セミナー併設)、 管理入門講座(セミナー併設)、 相談窓口等一覧の作成及び 管理組合向けに配布 ・ネットワーク運営 全体会議(1回)、 運営会議(6回)、 各種部会(計7回) ・各団体相談事業(日常の相談対応、公開相談会の開催等)	その他	マンション管理支援ネットワーク せんだい・みやぎ(事務局：一般 社団法人宮城県マンション管理 士会)	3,618	都市整備局住宅政策課
164	私道等整備補助	私道等の整備補助金交付要綱に基づき、町内会等が一般公衆の用に供されている私道の整備または災害復旧を行う場合、一定の要件を満たすものについて市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績：13件	地域安全活動	町内会等	44,209	建設局道路管理課
165	街路灯整備補助	仙台市街路灯補助金交付要綱に基づき、町内会等が私道に街路灯を設置する場合に、市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績：45件	地域安全活動	町内会等	4,360	建設局道路管理課
166	街路灯電気料補助	町内会等が私道に設置している街路灯の電気料について、市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績：582件	地域安全活動	町内会等	33,291	建設局道路管理課
167	仙台雪道おたすけ隊	本市が管理する道路の除雪を行う地域の任意団体を対象に、凍結防止剤の提供や除雪作業物品等の貸与を行う。	登録団体数：49団体 (うち平成29年度登録団体数：6団体)	地域安全活動	仙台雪道おたすけ隊登録団体	6	建設局道路保全課
168	仙台市歩道等除雪機械購入補助金	本市が管理する道路の除雪を行う団体を対象に、小型除雪機械の購入に対し、購入金額の9割を補助する。	補助金交付団体数：102団体 (うち平成29年度補助金交付団体数：6団体)	地域安全活動	仙台雪道おたすけ隊登録団体、町内会	1,555	建設局道路保全課
169	ふるさとの杜再生プロジェクト	復興のシンボルのひとつとなる事業として、市民・NPO・企業等の力を結集し、海岸防災林や海岸公園、居久根など、東部地域のみどりの再生に取り組んでいく。 また、NPO、復興支援団体、緑の活動団体、仙台市公園緑地協会等が参加する「ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議」を設置し、プロジェクトへの市民参加のプラットフォームとする。	・ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議 開催数：6回 ・市民植樹の実施(海岸公園蒲生地区、海岸防災林荒浜字南官林地区) ・育樹会の実施(海岸公園蒲生地区、荒浜地区)	まちづくり、 環境	ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議	16,865	建設局百年の杜推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
170	緑の活動団体の認定 緑の活動団体助成金	みどりの協働の担い手を得ること、市民が広くみどりづくりに参加しやすい環境をつくることを目的に、「杜の都の環境をつくる条例」に基づき、緑の保全・創出・普及活動を行う団体を認定する。また、その活動に対し助成金を交付する。	緑の活動団体認定団体数:22団体 助成金交付実績:12件	まちづくり, 環境	緑の活動団体	481	建設局百年の杜推進課
171	花壇づくり助成事業	地域の公有地(学校除く)に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子供会など地域の団体を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。	公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績:284件	まちづくり, 環境	地域団体等	10,740	建設局百年の杜推進課
172	花いっぱいまちづくり助成事業	道路や広場等公共の空地、道路に面するショーウィンドウ等にプランター・花壇・つり花などを設置する商店街を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。	公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績:7件	まちづくり, 環境	商店街	3,375	建設局百年の杜推進課
173	緑化木植栽助成事業	緑豊かな街並み形成を目的に、自らの労力で直接樹木を植栽しようとする町内会や老人クラブ、市民活動団体などを対象に、植栽に要する資材の費用の一部を助成する。	助成金交付実績:3件	まちづくり, 環境	地域団体等	748	建設局百年の杜推進課
174	仙台市公園愛護協力会	公園ごとに組織され、公園の除草清掃、遊具施設の点検通報活動、園芸講習会や適正利用等に関する公園愛護思想の普及など地域におけるきめ細かな活動に取り組み、地域コミュニティづくりにも貢献する。	結成数:1,295団体	まちづくり, 環境	仙台市公園愛護協力会各会	40,617	建設局公園課
175	市民協働事業提案制度採択事業: 西公園パークマネジメント社会実験 事業	西公園において管理や利用の実態調査や協議会の開催、「パークハウス」や「パークマネージャー」の設置を行い、市民が担い手となる公園運営のあり方や課題、必要条件などを検討及び検証する。	利用実態調査、協議会(西公園を育てるラボ)開催(全8回)、西公園4WEEKSの開催等を行った。	まちづくり	特定非営利活動法人都市デザインワークス	3,000	建設局公園課
176	仙台市河川愛護会	河川環境美化活動を地域社会の運動として広く普及・推進するため、各河川愛護団体の連合組織として昭和43年に結成。現在では、20団体が加盟し、各愛護団体が市域内の河川・水路の美化活動に取り組む。	延べ実施延長:1,066,849m 延べ参加人数:19,862人	環境	仙台市内の各河川愛護団体	1,531	建設局河川課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
177	広瀬川1万人プロジェクト	杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、毎年春と秋に行う広瀬川流域一斉清掃をはじめとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動を展開する。	春と秋に広瀬川流域の一斉清掃を実施した。 ・春(6会場) 参加者:1,355人、回収ゴミ量:247袋 ・秋(14会場) 参加者:1,962人、回収ゴミ量:244袋 (回収ゴミ量は450ゴミ袋換算)	まちづくり, 環境	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	—	建設局河川課
178	広瀬川で遊ぼう	多くの市民に広瀬川に関心を寄せてもらうため、毎年5月のゴールデンウィークに、若林区の宮沢緑地にてさまざまなアクティビティが体験できるイベントを開催する。上空を泳ぐ鯉のぼりを眺めながら楽しむ「手漕ぎボート」や「Eボート」、自分で作ったロケットを広瀬川の水で飛ばす「ペットボトルロケット」など、子供から大人まで、家族で広瀬川に親しむことができる。	イベント「広瀬川で遊ぼう」を5月3日、4日、5日の3日間開催した。 来場者数:8,500人(3日間合計)	まちづくり	広瀬川で遊ぼう実行委員会	450	建設局河川課
179	作並かつぱ祭り	広瀬川の上流域で、子供たちが川に親しめるイベントとして開催する。インストラクターに指導を受けながら、川遊びや生き物の観察ができる体験や、生け簀を泳ぐニジマスを手づかみで捕まえる体験など、川の中に入っていく催し物を通して、子供たちが広瀬川の自然や生き物に直接触れ、川の魅力を体感しつつ、環境保護の大切さを学ぶことで、広瀬川の自然を次世代に引き継ぐためのきっかけとする。	イベント「作並かつぱ祭り」を開催した。 来場者数:305人 ※平成27年度より事前申込制による人数制限を実施	まちづくり, 地域経済活性化	作並かつぱ祭り実行委員会	200	建設局河川課
180	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青葉区民まつり	11月3日(文化の日)に、地域や世代を超えた交流と区民意識の高揚を図ることを目的に、区内の多くの市民団体や企業の協賛を得ながら、区民の代表からなる実行委員会を組織し、区を挙げて区民手づくりのまつりを実施する。	勾当台公園市民広場等を会場に、ステージや催事を行ったほか、市民パレードを実施した。 開催日:11月3日	まちづくり	いきいき青葉区推進協議会、 青葉区民まつり実行委員会	4,000	青葉区まちづくり推進課
159 と 同一 事業	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青葉区平成風土記作成事業	連合町内会単位の地域で今日時点における地理の状況や遡れる範囲の歴史的知識(今後忘れ去られる恐れのある地域歴史や市民生活の歴史)を地域住民の手で「平成風土記」として書き留め、史料に資するとともに、今後の地域づくりの参考となる資源とする。	国見地区において作成委員会を立ち上げ、2年間の実施期間のうち1年目となる平成29年度は、資料収集や取材を行った。 会議開催数:9回	まちづくり	国見地区平成風土記作成委員会	50	青葉区まちづくり推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
181	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台伝統ものづくり塾	仙台区の地域に残る伝統民芸を理解し、ものづくりを体験することで歴史の中に息づく生活文化としてのものづくりの奥深さと、体験を通して得た達成感や知識を家庭、地域や職場で話題として取り上げ広く周知していく。	近年見かけるとが少なくなった畳と表具を取りあげ、その歴史を学ぶとともに、ミニ畳・からくり屏風・和綴じノートの製作体験を行った。 参加者数:96人(4回実施)	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台伝統ものづくり塾実行委員会	185	青葉区まちづくり推進課
182	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台区の昔を伝える紙芝居作り・上演	仙台区のひとや歴史、民話、名産物など次代に伝えていきたいことを題材とした紙芝居を企画制作し、さまざまな機会や場所において上演するもの。紙芝居上演講習会を実施し、上演者の養成も行っている。	仙台七夕まつりや八木山動物公園での紙芝居上演会や、紙芝居上演者育成のための講習会を開催したほか、34作品目となる新作紙芝居の作成を行った。紙芝居の貸し出し、販売も行っている。 貸出:29件(74作品)、販売:7件	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台区の昔を伝える紙芝居作り・上演実行委員会	400	青葉区まちづくり推進課
183	区民協働まちづくり事業-企画事業: ほたるの里づくり	ホテルに関するイベントなどを通じて、大勢の区民がホテルに対しての関心と、ホテルを大切にする運動を盛り上げるとともに、ホテルの保護や、その生息環境の維持保全等に努めている。	ホテルが住める環境づくりのための水辺の清掃活動や、ホテル観賞会、ホテルまつり(旭ヶ丘ホテルまつり、新川ホテルまつり、定義ほたるまつり他)等の各種イベントを開催した。	まちづくり、環境	仙台区ほたるの里づくり協議会	1,000	青葉区まちづくり推進課
184	区民協働まちづくり事業-企画事業: 西公園キャンドルライトファンタジー	西公園の活性化と市民の交流の場の提供を目的として、子どもたちをはじめとする市民が未来への夢やメッセージを託した手づくりキャンドルをさまざまな形に並べるキャンドルパフォーマンスを開催している。	12月9日に西公園を会場に、手作りキャンドルの飾りつけ、出店、ステージ発表などを実施した。 来場者数:約5,500人	まちづくり	西公園キャンドルライトファンタジー実行委員会	646	青葉区まちづくり推進課
185	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台区宮城地区市民文化祭	宮城地区の芸術文化の伝承及び創造の発展・向上を図ることを目的として、毎年、地区内の伝統芸能をはじめとした文化活動団体のさまざまな部門の作品展示やステージ発表を行う「仙台区宮城地区市民文化祭」を開催する。	広瀬市民センター、広瀬文化センター等を会場に舞踊、郷土芸能の発表会、工芸作品や写真等の展示、囲碁大会を実施した。 開催日:11月9日から12日まで 参加者数:1,319人	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台区宮城地区市民文化祭実行委員会	450	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課
186	区民協働まちづくり事業-企画事業: 回文の里づくり事業	「幕末の廻文師仙代庵」が作並を詠んだ回文碑が旧作並街道にあった縁を活かし、回文をこぼ遊びの文化として発展させるとともに、作並地区の魅力あるまちづくりを目的として、「子ども回文コンクール」や「回文コンテスト・交流大会」などを企画、開催する。	第20回記念回文コンテスト・交流大会を開催し、記念大会フォーラム、回文かるた大会、回文紙芝居などの交流大会を行った。 開催日:2月24日から25日まで	地域経済活性化	仙台・作並回文の里づくり実行委員会	830	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課
187	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城地区まつり	まつりに関わる人の交流によりコミュニティの活性化を図るとともに、観光資源や伝統文化などの情報を発信して、地域活性化やふるさと意識を喚起することを目的として地区まつりを開催する。	宮城総合支所駐車場、広瀬文化センター、保健センター等を会場に、仙台農業協同組合・みやぎ仙台区商工会等関係団体と協力し、宮城地区まつりを実施した。 開催日:10月29日	まちづくり	いきいき宮城地区推進協議会、宮城地区まつり実行委員会	1,550	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
188	区民協働まちづくり事業-企画事業: 絆づくり田んぼアート事業	多種の水稻を用いて田んぼに巨大な絵を描き、地域資源の活用と個性や魅力のあふれる地域づくりを目指す。活動を通して子供からお年寄りまで世代を超えた交流を図る。	平成29年度は「在仙プロスポーツのキャラクター」の図案を、多種の水稻を用いて田んぼに描いた。観覧台も設置した7月～8月の鑑賞会には、子供からお年寄りまで多くの来場者があり、世代を超えた交流を図った。 参加者:田植え6月6日 300人 稲刈り10月7日 雨天中止 観覧者:7月～9月 約70,000人	まちづくり, 地域経済活 性化	絆づくり田んぼアート実行委員 会	600	青葉区宮城総合支 所まちづくり推進課
189	区民協働まちづくり事業-助成事業 (青葉区)	【片平地区防災コミュニティ醸成プロジェクト】 防災情報の周知徹底、防災情報の共有を通じたコミュニティ醸成、地域資源を活用したまちづくりの発展を目的として、防災宝探しゲーム等を利用した若者と災害弱者との交流や観光客向けの防災情報の発信方法を検討、防災訓練等を実施する。	防災宝探しゲームを行ったほか、片平地区総合防災訓練の実施、地域情報ホームページの運用を開始した。	地域安全活 動	片平地区災害に強いまちづくり 委員会	400	青葉区まちづくり推 進課
190		【西部広陵太鼓による地域活性化事業】 町内会等各種団体と積極的に連携を図りながら、地域内外の方々を対象とした太鼓体験教室の開催や各種イベントへの参加、指導者講習会の開催等を実施する。	各種地域イベント等における演奏会:29 回 体験教室:3回	文化・芸術・ スポーツ・学 術	西部広陵太鼓実行委員会	350	青葉区まちづくり推 進課
191		【ボランティアとシニア世代者が運営する「わい・がや傾聴亭(サロン)」】 シニア世代やこども達がいつでも立ち寄れる場所を提供し、地域コミュニティの拠点づくりによる町内の活性化と快適に暮らせる地域づくりを行う。前年度に続き、料理教室や粘土教室等の実施や、29年度は40代から50代の交流の場の演出や外部講師による講演会等を企画する。	粘土細工の実演や料理教室などをテーマに、サロンを開催した。 サロン実施回数:13回	まちづくり	わい・がや三水会	135	青葉区まちづくり推 進課
192		【四季を楽しむ合奏プロジェクト】 音楽と季節を楽しむ心を大切にした双方向性のある全員参加型の合奏会を四季をベースに年4回開催する。事業実施により潤いのあるまちづくりへの貢献と地域コミュニティの活性化を目指す。29年度は参加者募集に併せてスタッフも募集し、運営体制の強化も図る。	合奏会の開催:4回	文化・芸術・ スポーツ・学 術	おもちゃの音楽隊	177	青葉区まちづくり推 進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
193		【ジイジ&バアバの「へとへとでもやっぱり楽しい孫育て」冊子作成プロジェクト】 祖父母が子育てのサポーターとなって家庭内の子育てをよりスムーズに行えるよう、情報活用冊子「祖父母手帳」を作成し、世代を越えた子育て支援の一助となることを目指す。	企画会議の開催:16回 勉強会の開催:4回 イベント開催:3回	子どもの健全育成	結糸乃会	241	青葉区まちづくり推進課
194		【青葉神社通り魅力づくり事業】 地域の歴史性の再確認として、大学との連携による調査、マップ作成、見学会の実施や、前年度の交通量調査の結果に基づいた地域にふさわしいモデル案の作成・検討を行う。	イベントや会議の開催、広報紙の発行を行った。 イベント開催:3回 会議開催:17回 広報紙発行:2回	まちづくり	青葉神社通りまちづくり協議会	500	青葉区まちづくり推進課
195		【青葉山・八木山フットパスづくり】 青葉山から八木山まで歩くフィールドワークとワークショップを交互に実施し、その結果をまとめた散策ガイドを作成することで、両地区の連携体制を構築し、新たな魅力を創出する。	フィールドワーク:3回 ワークショップ:4回 広報紙発行:5回	まちづくり	青葉山・八木山フットパスの会	450	青葉区まちづくり推進課
196		【安心安全な商店街づくり(減災への挑戦)プロジェクト】 商店街における防災訓練等を実施することによって、防災教育や防災への意識高揚、対処能力を育成し、安心安全な商店街の形成を目指す。	防災教室:1回 防災訓練:1回	地域安全活動	クリスロード商店街振興組合	296	青葉区まちづくり推進課
197		【女性防災リーダー育成講座】 震災時に避難所運営や防災・減災の担い手として女性リーダーの重要性がクローズアップされ、地域の防災力向上のため、女性を対象とした防災・減災講座や避難所運営の実践力を身に着けるワークショップを開催する。	ワークショップの開催:3回	地域安全活動	北仙台地区連合町内会	157	青葉区まちづくり推進課
198		【市民のための防災力UP講座in青葉】 青葉区民の防災力向上を目的に、子育て中の親と一般の青葉区民を対象として、「市民のための防災力UP講座in青葉」を開催し、自助・共助につながる情報提供やワークショップを行う。	ワークショップの開催:4回	地域安全活動	女性防災ネット青葉	147	青葉区まちづくり推進課
199		【仙台藝術舎/creek】 個人の意思をアートという媒体を使い表現したいという学生、若者の手助けを行うために、講義を行うことで多面的に学べる「場」を提供し、人材の育成を行う。その成果の発表の機会を設ける。	成果展の開催:1回	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台藝術舎/creek	78	青葉区まちづくり推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
200	ふるさと底力向上プロジェクト： 荒巻包括ケアシステムモデル事業	荒巻地区において、高齢になっても住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができるよう、地域特性を踏まえた支え合いシステムを地域と協働で構築する。	地域が主催する検討会(6回開催)を支援する取り組みを行った。	健康福祉・医療, まちづくり	荒巻地区福祉向上委員会(町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、地域包括支援センター、赤十字奉仕団などで構成)	2,000	青葉区障害高齢課、ふるさと支援担当
201	ふるさと底力向上プロジェクト： 中山郊外居住モデルプロジェクト	中山地区における少子高齢化の進展に伴う地域課題を解決するため、地域が展開する「中山プロジェクト」の推進を支援する。	プロジェクトの拠点施設となる多世代交流センターの建設に向け、国等への補助申請についての調整などの支援を行った。	まちづくり	特定非営利活動法人中山街づくりセンター	—	青葉区ふるさと支援担当
202	ふるさと底力向上プロジェクト： 仙台萬本さくらプロジェクト	青野木地区・大倉地区において、住民・事業者・行政等からなる実行委員会を設置し、桜の名所づくりをはじめとする各種活性化事業に取り組む。	桜の苗の植樹本数：約1,100本	まちづくり	仙台萬本さくらプロジェクト実行委員会	380	青葉区宮城総合支所ふるさと支援担当
203	戦災復興展	昭和20年7月10日の仙台空襲で大惨事となった仙台のまちの復興に力を注いだ方々への感謝の念を新たにする場として、毎年仙台空襲のあった7月10日前後に戦災復興展を開催する。	戦災復興展を各種団体の協力により開催した。 来場者数：2092人	社会教育, まちづくり	仙台の戦災・復興と平和を語り継ぐ会ほか	851	青葉区まちづくり推進課
204	被災者交流活動助成-青葉区	復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	助成金交付実績：2件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	68	青葉区まちづくり推進課
205	青少年健全育成事業 子供のための日本語講座 「さっと日本語クラブ」	在仙の外国籍児童・生徒が学校や地域での言葉や生活上の不安、困難を解消し、また普段の授業で使用している教科書等をもとに日本語を学ぶことで、学校教育の補完的役割を果たす。 事業運営は「特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会」への委託事業としており、増加傾向にある外国人子女への学習の場として、今後の需要の増加が予想される。	実施回数：34回 延べ参加人数：497人	国際交流・協力, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	310	青葉区青葉区中央市民センター
206	区民協働まちづくり事業-企画事業： 宮城野通・榴岡公園ふれあい魅力UP事業	仙台駅東口からコボスタ宮城に至る宮城野通や榴岡公園周辺の地域資源を積極的に活用し、企業・団体・町内会や市民、NPO等との協働により、新たな賑わいと魅力の創出に取り組む。	榴岡公園の花見のライトアップを実施した。	まちづくり	宮城野通・榴岡公園活性化委員会、仙台駅東口商工事業協同組合	899	宮城野区まちづくり推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
207	区民協働まちづくり事業-企画事業: みやぎの・まつり	区制開始の年の平成元年に始まった宮城野区の「区民まつり」。区内で活動するさまざまな市民やグループの発表と交流の場として区民手作りのまつりを毎年開催する。	みやぎの・まつりを開催した。 開催日:10月15日	まちづくり	みやぎの区民協議会、 みやぎの・まつり実行委員会	5,370	宮城野区まちづくり 推進課
208	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域はっぴい子育て支援事業	育児不安や孤立育児を少しでも軽減し、子育ての楽しさを実感できるよう、地域でのつながりを深め、子育て家庭同士が交流する場の提供や保護者が子供と一緒に成長していけるような環境づくりとして「地域はっぴい子育てプロジェクト」を実施する。	①イベントの実施 ・ママらいふ手帳講座 6回 (新田・原町・榴ヶ岡・幸町南児童館、 鶴ヶ谷東コミュニティセンター、福室市民 センター) 参加親子:計44組 ②会議等の実施:9回 ③ママらいふ手帳作成:3,000部	健康福祉・ 医療, まち づくり	みやぎの区民協議会子育て支 援部会	352	宮城野区まちづくり 推進課
209	区民協働まちづくり事業-企画事業: すずむしの里づくり事業	仙台市の虫である「スズムシ」の繁殖・飼育に関する広報啓発活動を通して豊かな自然環境による潤いあるまちづくりを目指し、スズムシの配布会の他、スズムシの声と楽器の音色を味わうコンサートなども行う。音の風景からスズムシの魅力を再発見する取り組みも行う。	講師派遣事業:6小学校 参加児童約 500人 配布会の実施:3会場 約500人来場 実験放虫事業:4回 約10000匹 飼育事業:70ケース 約50,000匹 展示広報事業:市内25か所に展示	環境	すずむしの里づくり実行委員会	450	宮城野区中央市民 センター
210	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域防災力向上事業	地域の防災力向上を目的として防災・減災に関するセミナー等を企画し、知識の習得や意識向上に繋がる取り組みを行う。	宮城野区防災セミナーの実施:1回(10 月30日実施) 来場者数:183人	地域安全活 動	町内会等	30	宮城野区区民生活 課
211	区民協働まちづくり事業-企画事業: ご近所ふれあいステップアップ事業	地域のなかで、人と人とのつながりやコミュニケーションを深めることをテーマに据え、小さな子どもから高齢者まで、常日頃から顔を合わせる機会を設け、地域の安心に関わる課題に対し、地域社会全体の絆を深めていくことで、いわゆる「無縁社会」に陥らないやさしい街づくりを推進し「共に生き自立できる社会づくり」を目指す。	安全安心パトロールの実施:2回(10月16 日、11月20日) 「原町地区 安全安心街づくりのつどい」 の実施:1回(3月25日) 参加者数:115人	まちづくり, 地域安全活 動	町内会、子供会、老人クラブ等 の地域団体	92	宮城野区区民生活 課
212	区民協働まちづくり事業-企画事業: おらほの公園草刈隊	登録団体による区内都市公園の除草・剪定のボランティアに対し草刈機の貸出や燃料、ゴミ袋の支給による活動支援を行う。	登録団体:42団体 (企業団体17、町内会等団体25) 実施公園:28公園 (企業団体15、町内会等団体13) 延べ実施回数:67回 ※うち企業は延べ31回 機械貸出延べ台数: 自走式除草機84台、 肩掛式除草機120台、 ヘッジトリマー20台	環境	企業、町内会、公園愛護協力 会等によるボランティア団体(登 録制)	1,669	宮城野区公園課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
213	区民協働まちづくり事業-企画事業: みやぎの地域力向上支援事業	ふるさと意識を醸成し、地域活動を活性化 するため、地元学の成果を活用しながら、 地域の歴史や生活文化・観光などの情報 発信に取り組む様々な団体の活動と交流を 促進し、地域力の向上を図る。	新たなプロジェクトの創出を目指し、「地域 メディアネットワーク検討会」において、事 業の方向性の検討を進めたほか、サロン 事業において活動者の交流事業を実施し た。 検討会:2回 サロンイベント開催:3回	社会教育, まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	NPO、地域団体等	316	宮城野区まちづくり 推進課
214	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮文活性化事業	宮城野文化センター前広場の活用により、 地域の賑わい創出を図る。	試験的な取り組みとして「MIYAGINO CAFF」を開催した。 開催日:3月3日	まちづくり	宮城野区文化センター	152	宮城野区まちづくり 推進課
215	区民協働まちづくり事業-助成事業 (宮城野区)	【仙台駅東口ガイド推進プロジェクト】 多くの歴史的遺産が残る東口の魅力発信 のため、まち歩きガイドの実施や公開講座の 開催、学校や地域団体等へ学習支援など の活動を実施する。	定例まち歩きガイド:8回 公開講座:4回 ガイド養成講座:4回 定例打合せ:24回 依頼ガイド:8回	まちづくり	東口ガイドボランティア「宮城野 さんぽみち」	340	宮城野区まちづくり 推進課
216		【平日フェス】 地域支援者への支援・母子応援・人脈の繋 がりの創出を目的に、地域住民が企画に関 わるフェスイベントを開催する。	ウィンターフェスを開催。 参加者:約350人	まちづくり	平日フェス実行委員会	350	宮城野区まちづくり 推進課
217		【歴史的文化遺産による「まちおこし運動」】 岩切の歴史的な文化遺産を掘り下げ、案内 マップや立体地形図を制作し、散策会や出 前講座にて地域内外に魅力を広め、歴史 的認識の向上を図る。	岩切城立体地形図を作成した。 公開講座:1回 まちあるき:1回	まちづくり	岩切歴史探訪の会	400	宮城野区まちづくり 推進課
218		【栄あそぼう会】 地域を越えて、楽しみながら軽運動や脳ト レ、季節の催し等により心身のリフレッシュと 親睦を深め、健康寿命を延ばすことを目標 に定例会や交流会を実施する。	毎月第2・第4水曜日の定期的な介護予 防運動に加え、外部講師を呼び計3回の 交流会・講演会を実施した。	健康福祉・ 医療, まち づくり	栄あそぼう会	50	宮城野区まちづくり 推進課
219	ふるさと底力向上プロジェクト: つるがや地域連携・活動マッチング 事業	鶴ヶ谷地区をモデルに、高齢者人口の増 加等に伴う諸課題に対応するため、関係機 関の協働の取り組みにより、世代や分野を 超えた連携拡大の仕組みを導入し、活動 団体の活性化等に取り組む。	地域の各分野のコーディネート役を担う団 体等(市民センター・社会福祉協議会・学 校・地域包括支援センター等)で構成す る「連携ミーティング」を開催し、分野や世 代を超えた活動団体間のマッチングを行 うモデル事業を開始した。	まちづくり	鶴ヶ谷地区町内会連合会をは じめとした地域団体、学校等	53	宮城野区ふるさと支 援担当

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
220	津波被災地域まちづくり支援事業	移転対象地区以外の区域のうち、さまざまな津波防災施設の整備を行っても津波による浸水が予測される地区において、防災性の向上や地域コミュニティの再生を図りながら新たなまちづくりを支援するため、まちづくりコンサルタントを派遣し、地域との協働によるまちづくり計画の作成を支援する。	コンサルタントを派遣し、平成26年度に作成した「地区まちづくりアクションプラン」の実践・検証の取り組みを支援した。	まちづくり	南蒲生、新浜の両地区における住民	3,964	宮城野区ふるさと支援担当
221	被災者交流活動助成-宮城野区	復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	助成金交付実績:13件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	1,240	宮城野区ふるさと支援担当
222	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区民ふるさとまつり	地域間、世代間の交流及び区民意識の醸成を図ることを目的に、区民との協働により区民まつりを開催する。	区民で構成する実行委員会を中心にまつりの企画・準備等を行い、「まつり行くならかばやし 絆深まるふるさとまつり」をテーマにイベントを実施した。 開催日:10月15日 実行委員会:7回	まちづくり	若林区まちづくり協議会	4,578	若林区まちづくり推進課
223	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区合唱のつどい	若林区は古くから多くの合唱団体が活動しており、独自に合唱連盟を結成している。区民との交流を図ることを目的に、区民との協働により合唱のつどいを開催する。	合唱を主体とした音楽祭を、7月1日に開催。「合唱連盟わかばやし」加盟の合唱サークルや、区内小・中・高校の合唱部・吹奏楽部など、計19団体が出演した。 来場者数:約880人	まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術	若林区まちづくり協議会	419	若林区まちづくり推進課
224	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域メディアの活用による(新しい地縁)創造プロジェクト	地域に発信されているメディア(ラジオ)を活用して、若林区及び若林区まちづくり協議会が行う事業等の情報を発信する。区民から番組を制作するスタッフを募り、区民との協働により取材や編成を行う。	平成29年7月から平成30年3月までの9ヶ月間、毎月第1・第3土曜日10:00から30分間の番組をラジオ3にて放送した(毎月第2・第4土曜日は再放送)。また、取材内容等に関する全体会議を年4回開催した。	健康福祉・医療, 社会教育, まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術, 子どもの健全育成	若林区まちづくり協議会	836	若林区まちづくり推進課
225	区民協働まちづくり事業-企画事業: わかばやし区春らんまん	賑わいと魅力のあるまちづくりの推進ができるように、若林区連合商店会と地元の町内会が協力して、地元も商店会も元気になるまつりを開催する。	屋台やステージ発表の他、もちまき、ビンゴ大会等を行った。 また、実行委員会を年4回開催した。	まちづくり, 地域経済活性化	若林区連合商店会春らんまん実行委員会	300	若林区まちづくり推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
226	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域資源活用事業	若林区内の地域資源に着目し、その魅力を広く発信することで、歴史や文化、環境や景観、暮らしとの関わりを深める機会を醸成する。	＜六・七郷堀サポーターズ＞ ・定例会(おおよそ月1回) ・一般参加者を募集しての「堀DAYさんぽ」の実施(2回開催) ・第29回ふるさとまつりに参加(「堀で笹舟を流そう!」「堀なかツアー」) ・本庁舎1階ギャラリーホールでの展示会「堀DAYミュージアム 本日晴・展(ほんじつせいてん)」を開催 ・市民講座「今日は、堀DAY参観日」を開催 ＜まち歩きマップ「若林WALKER」＞ 好評により、宮城野通駅編、連坊駅編、薬師堂駅編を増刷した。	まちづくり, 環境, 地域 経済活性化	六・七郷堀サポーターズ	648	若林区まちづくり推進課
227	区民協働まちづくり事業-企画事業: ボッチャをととした区民地域交流促進事業	障害の有無や体力差などに関係なく一緒に実践できるユニバーサルスポーツ「ボッチャ」を活用した各種講座を開催することで、障害者(児)への理解を深めるとともに世代や年齢を超えた区民相互の交流を図る。	・ユニバーサルスポーツ・ボッチャで交流-みんなでつながろう-(5回連続講座)を開催し、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」への理解を深めるとともにボッチャのルールを学び体験する機会とした。 ・卸町市営住宅でボッチャを活用した出前講座「地域げんき倶楽部」を開催し、入居者同士の交流の場を提供した。(3回開催)	健康福祉・医療, まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術 子どもの健全育成	卸町市営住宅町内会	162	若林区中央市民センター
228	区民協働まちづくり事業-企画事業: 広瀬川灯ろう流し光と水とコンサートの夕べ	広瀬川の清流を背景に、コンサートや花火・縁日を設け、楽しい夏のひと時を過ごしながらか、川にまつわる自然や歴史・文化に触れる「広瀬川灯ろう流し」事業の開催を支援する。	8月20日開催。コンサートや縁日、灯ろう流し、花火等を行った。 来場者数:約40,000人	まちづくり, 環境, 文化・芸術・スポーツ・学術	広瀬川灯ろう流し実行委員会	1,418	若林区まちづくり推進課
46 と 同一 事業	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業	モデル地域を指定し、町内会を中心とした地域団体等と警察、区役所等行政機関が連携しながら、防犯・交通安全の啓発活動・キャンペーンや研修会、防災訓練などを行い、総合的な安全と安心の街づくりに取り組み、地域住民が主体的で自主的な活動を継続できることを目的に支援を行う。	卸町地区を安全安心街づくり活動推進モデル地区に指定し、以下の事業を実施した。 ・調整作業部会3回、全体会議2回 ・特殊詐欺抑止啓発活動 ・防災講座	まちづくり, 地域安全活動	卸町地区安全安心街づくりの会	411	若林区区民生活課
229	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区の映像保存・活用事業	震災からの復興への取り組みや豊かな地域資源、史跡・旧跡の残る街並みなど区内の様子を市民センターのボランティアが撮影し、市政だよりの若林区のページや区役所でのパネル展示などで紹介していく。	・情報発信 「若林の点描」シリーズを市政だよりに掲載 掲載回数:12回 ・パネル展示 実施回数:2回 (区役所及び若林区文化センター)	まちづくり, その他	写真撮影ボランティア	97	若林区中央市民センター

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
230	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区地域学校連携推進会議	学校等との連携による人づくりや地域づくりを推進するため、若林区内の学校(小・中・高)・区役所・市民センター・児童館・図書館・文化センターの教員・職員が一堂に集まり、学校支援地域本部のスーパーバイザーなども交えて情報交換を行う。	区長講話のあと「仙台市嘱託社会教育主事の役割」の紹介のほか、中学校区ごと12グループに分かれてエリア別に情報交換会という内容で開催した。 市民会議の開催回数:1回 参加者数:101人	まちづくり, 子どもの健 全育成	小・中・高等学校の地域連携担当者、嘱託社会教育主事、学校支援地域本部役員	20	若林区中央市民センター
231	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区健康づくり区民会議	「若林区健康づくり行動計画」に基づき、区民の主体的な健康づくりを進めるため、寸劇・ウォーキングイベント・歩行禁煙ストリートキャンペーン・健康づくりフェスティバルなどの健康啓発の主要事業の他、健康づくりの推進を検討する会議を行う。	会議等の開催:計12回 健康づくり寸劇の上演:11回 健康づくりフェスティバルの実施 歩行禁煙ストリートキャンペーンを荒町地区にて実施した。また、たばこのポスターコンクールを区内小中学校の児童生徒を対象に実施した。 応募作品数:計68点 健康づくり啓発の媒体として既存のキャラクター着ぐるみを活用して健康づくりの関心を高めた。 ウォーキングイベント(七郷コース)を実施した。	健康福祉・ 医療	輪っ！かばやし子育て応援団、若林区マイタウンスポーツ協会、若林区体育協会、若林区小児科医師、仙台歯科医師会若林区地区長、仙台市薬剤師会、仙台市地域活動栄養士会、六郷地域包括支援センター、障害者相談事業所、青葉学院短期大学、蒲町中学校、荒町小学校、聖和幼稚園、若林区生活衛生同業組合協議会、協同組合仙台卸商センター総務課、セントラルウェルネスクラブ南小泉店、若林区連合町内会、若林区老人クラブ連合会、若林区レクリエーション協会	599	若林区管理課、家庭健康課
232	区民協働まちづくり事業-企画事業: 子育て推進ネットワーク事業	子育てしやすい環境づくりを目指し、「遊び・学び・出会いの場」を提供する。育児サロンや子育て交流事業の開催、情報誌の作成などを通じて、地域に密着した効果的な子育て支援を図る。 ①輪っ！かばやし子育て応援団活動 ②子育て情報ブック・マップ作成事業 ③七郷地区子育て交流事業	①輪っ！かばやし子育て応援団活動 ・子育てイベント(親子ふれあいひろば・ウェルカムto若林)の開催 実施回数:2回 参加親子:95組 ・育児サロンの開催 実施回数:11か所、延べ49回 ・子育て情報「WA！通信」を年2回発行 発行部数:3,830枚 ・研修会の開催 実施回数:2回 ②子育て情報マップ「わっぴー」を作成し、新生児訪問時や転入手続時等で配布した。 作成数:5,500部 ③七郷地区の子育て支援関係者で交流会を1回開催した。	子どもの健 全育成	輪っ！かばやし子育て応援団	937	若林区家庭健康課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
233	地域活性化推進事業： わくわドキドキ5感で楽しむ若林実行 委員会	東西線開業を祝うイベントとして始まった事業。開通後は名称を変更し継続。若林区の魅力を広く発信することで、にぎわいや交流を創出し、市内外からの誘客を図ることを目的に、見て、聞いて、触れて5感で楽しめるイベントを企画開催する。	①区内各地でのまち歩きを実施した。 まち歩き実施回数：4回 ②区内の被災農地で収穫した稲わらを使用した「わらアート」を9月17日から12月3日まで展示した。 展示場所：せんだい農業園芸センター 延べ来場者数：64,334人 ③「わらアート」のプレイベントとして、クラフトアートワークショップを7月29、30日に開催した。 参加者数：159名	まちづくり, 地域経済活 性化, その 他	若林区まちづくり協議会	1,700	若林区まちづくり推 進課
234	区民協働まちづくり事業-助成事業 (若林区)	【クレッシェンド&フォンテーヌクリスマスコンサート】 障がいのある方々と地域住民との交流の場としてクリスマスコンサートを開催。音楽を通じ、心のバリアフリーを実現する。	若林区文化センター大ホールで「クリスマスコンサート」のイベントを実施した。 開催日：12月16日(土) 入場者数：約450人	健康福祉・ 医療, まち づくり, 文化・ 芸術・ス ポーツ・学 術	クレッシェンド	350	若林区まちづくり推 進課
235		【農業を通じた市民と住民の交流活性化と地産地消推進によるコミュニティづくり】 交流ベリー園および市民農園の利用者同士や地域住民との日常的な交流を促進することで、地域再生を促す取り組みを行う。また、若林区新鮮野菜お届けショップ「くるまあと」を活用したコミュニティづくりを展開する。	①交流市民農園での野菜づくりや、交流ベリー園でのベリーの鉢植え、剪定、土壌改良の実施のほか、交流会を2回開催した。 ②くるまあとによるコミュニティづくり(毎週土曜日)、秋野菜や冬野菜を利用した食のサロンを開催した。	健康福祉・ 医療, まち づくり, 地域 経済活性化	一般社団法人ReRoots	389	若林区まちづくり推 進課
236		【第2回心をつなぐ若林シーサイドマラソン】 被災した若林区沿岸部でシーサイドマラソンを開催する。震災経験の風化を防ぎ、復興により変わりゆく地域の再生や新たな利活用を推進する。	若林区沿岸部藤塚地区から井土地区の堤防でシーサイドマラソンを開催した。 開催日：12月10日(日) 参加者数：976人	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	若林シーサイドマラソン実行委員会	170	若林区まちづくり推 進課
237		【ねこメイクdeまち歩き&ねこ灯籠づくりワークショップ】 「ねこまつり」にあわせて、地域の子ども対象のワークショップや近隣の歴史的遺構、地域の歴史を辿る「まち歩き」を行い、南小泉地区周辺の魅力を発信する。	・ねこ灯籠づくりワークショップ 開催日：8月21日、9月4日 展示日：10月21日 ・ねこメイクdeまちあるき 開催日：10月22日	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・学 術, 子どもの 健全育成	猫塚古墳ねこまつり実行委員会	350	若林区まちづくり推 進課
238		【乳幼児室内あそび場 ちびひろ】 転入出の多い荒井地区とその周辺に居住している乳幼児親子の居場所づくりを行い、子どもが心身共に豊に成長できる場を提供する。	週に1回、上荒井公会堂を会場に、乳幼児が安心して遊ぶ場を提供した。 開催期間：4月～翌3月(計45回) 延べ参加者数：789人	まちづくり, 子どもの健 全育成	乳幼児室内あそび場ちびひろ	71	若林区まちづくり推 進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
239		【南小泉の歴史を探る】 南小泉地域にある史跡を地域住民とともに読み解きながら取りまとめ、さらに地域に還元する。また「歴史想像図」を作成し、地域のPRに活用する。	南小泉町内会館を会場に「南小泉の歴史を探る」と題した講習会を開催した。また、歴史想像図の作成や展示、門松づくりやその展示を行った。 講習会開催期間：7月～12月(計6回) 参加者数：各回約30人 歴史想像図展示：10月～展示中 門松展示：12月～翌1月 展示場所：若林区役所 若林区文化センター	社会教育、まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	南小泉地域支援友の会	225	若林区まちづくり推進課
240		【まちづくりアートマルシェin卸町】 文化芸術の活性化およびアーティストと地域コミュニティとのつながりを強化することで、新たな魅力を創出する。	ワークショップ「LOGBOOK おろしまち」を開催した。また、「SENDAI OROSHIMACHI Art Marche2017」の中で、さまざまなイベントを同時開催した。 開催日：10月5日～9日 ワークショップ開催日：10月1日 参加者数：774人	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	せんだい卸町アートマルシェ実行委員会	355	若林区まちづくり推進課
241	ふるさと底力向上プロジェクト： 六郷東部地区現地再建まちづくり	六郷東部地区の各町内会や関係機関・団体等と連携し、地域主体のまちづくり活動について支援を行う。 平成29年3月に閉校した東六郷小学校の跡地を地域のコミュニティ拠点とするため、グラウンド・駐車場・多目的広場などを整備する。	地域主体のまちづくり活動について、専門家を派遣する等支援を行い、地域住民と関係団体が実行委員会を組織し、「六郷東部ふるさと交流祭」が開催された。 開催日：10月28日 参加者数：約300人 東六郷小学校跡地整備について、基本設計・用地測量を実施した。	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体、一般社団法人ReRoots、特定非営利活動法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク、東六郷・東部かあちゃん'ず	13,973	若林区ふるさと支援担当
242	被災者交流活動助成-若林区	復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	助成金交付実績：13件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	1,191	若林区ふるさと支援担当
243	区民協働まちづくり事業-企画事業： 太白区民まつり	文化活動、社会福祉活動など多様な市民活動の発表、幅広い市民同士の交流、各種行政施策(交通安全、環境、消防など)のPRなど、太白区における市民の総合的な交流の場を創出する。	区民で構成する企画委員会を中心に事業の企画・準備を行ったほか、ステージ出演者及びテント村出店者対象の参加団体説明会、当日運営ボランティアへの説明会である実行委員会の開催等を経て、太白区民まつりを開催した。 開催日：10月15日 企画委員会：7回	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	4,000	太白区まちづくり推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
244	区民協働まちづくり事業-企画事業: たいはくっこくらぶ	太白区内の小学5年生及び6年生を対象に、参加児童同士の交流を図りながら、同区内の自然、歴史、文化等をはじめとしたさまざまな体験学習を行うことを通じて、児童の地域理解の促進と健全育成を図る。	・太白区内の自然、歴史、文化等をはじめさまざまな体験学習を行う「まちづくり塾」を、各種の市民活動団体やジュニアリーダー等の協力を得ながら実施した。 実施回数:5回 ・「まちづくり塾」の企画・運営を検討する実行委員会を実施した。 実施回数:7回	社会教育, まちづくり, 子どもの健 全育成	太白区まちづくり推進協議会	691	太白区まちづくり推 進課
245	区民協働まちづくり事業-企画事業: ディスカバーたいはく	冊子ディスカバーたいはくで紹介した区内の自然、史跡、名所等を実際に訪れる機会を設けることにより、広く太白区の魅力を再発見する機会を提供する。	・太白区内の名所旧跡をバスで巡る区内探訪会と徒歩で巡る探訪会を実施した。 実施回数:バス2回、徒歩1回 ・冊子ディスカバーたいはくと太白区の史跡遺跡マップを、まちづくり推進課窓口でそれぞれ頒布した。 ディスカバーたいはく頒布数:64部 太白区の史跡遺跡マップ頒布数:12部	社会教育, まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	572	太白区まちづくり推 進課
246	区民協働まちづくり事業-企画事業: 太白区まち物語	地域住民自らが、地域の成り立ちや歩み、地域資源(人・物・場所)、生活史の変遷、現況、課題を訪ね・調べ・まとめ、手づくりの地域誌としての「まち物語」を製作し、地域を未来に語りつぐとともに、今後のまちづくりにつなげる。	・地域誌の製作活動を支援するため、「八本松・郡山まち物語製作委員会」及び「西多賀まち物語作成委員会」の両地区委員会に対して、助成金を交付した。 ・「八本松・郡山まち物語製作委員会」が平成30年1月に地域誌「郡山・八本松まち物語」を発刊し、「西多賀まち物語作成委員会」が30年度中の発刊を目指し、事業に取り組んだ。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会、 太白区まち物語地区委員会	686	太白区まちづくり推 進課
247	区民協働まちづくり事業-企画事業: たいはく若者まちづくりフォーラム	主に大学生を対象に、まちづくりへの関心の高揚を図るほか、まちづくり活動への参加を促進し、その活動を支援することにより、まちづくりの担い手となる人材の育成を図るとともに、地域のまちづくり活動を推進する。	・まちづくりに取り組む地域と大学(研究室)とのマッチングを図るとともに、学生が当該地域で行うまちづくり活動を支援するための助成金を交付した。 助成件数:1件 ・東北工業大学と共同でまちづくりをテーマとした講座を平成29年度後期より開講した。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	429	太白区ふるさと支援 担当
228 と 同一 事業	区民協働まちづくり事業-企画事業: 広瀬川灯ろう流し光と水とコンサートの夕べ	広瀬川の清流を背景に、コンサートや花火・縁日を設け、楽しい夏のひと時を過ごしなが ら、地域の自然や歴史・文化に触れる「広 瀬川灯ろう流し」事業の開催を支援する。	広瀬川灯ろう流し光と水とコンサートの夕 べの実施 開催日:8月20日 来場者数:40,000人	まちづくり, 環境, 文化・ 芸術・ス ポーツ・学 術	広瀬川灯ろう流し実行委員会	1,418	太白区まちづくり推 進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
248	区民協働まちづくり事業-企画事業: 太白区管内食育推進連携事業	食育推進標語「MorningVegetable～朝食 に野菜を～」(略してモーベジ)を通して、若 い世代や子育て世代の朝食を食べることへ の関心が高まるよう、幼稚園16施設に情報 誌、情報誌「モーベジ通信α」等を配布す るほか、幼稚園家庭学級において、家庭で の実践に繋がるよう体験型食育講座を実 施する。	・情報誌発行 「モーベジ！通信」 配布先:幼稚園3施設(延800人) 情報提供送付:130施設 (保育所・幼稚園・小中学校等) ・講座開催 「モーベジ！食育講座」 実施児童館:2施設 参加者数:18組 実施小学校:1施設(2回) 参加者数:91人	健康福祉・ 医療, 子どもの 健全育成	大学・幼稚園等	130	太白区家庭健康課
249	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域と共に育む子どもの健康づくり事 業	区内の児童館と連携し、健康学習教材を 活用しながら子供の健康的な食生活・歯と 口の健康づくり・防煙を進め、健康的な生活 習慣が身に付くように支援する。	歯と口の健康づくり:5館(回) 参加者数:234人 健康的な食生活:9館(回) 参加者数:382人 防煙:6館(回)、 防煙+歯と口の健康づくり:4館(回) 参加者数:436人 太白区児童館フェスタでパネル展示及び クイズを行い活動状況をPRした。 参加者数:113人	健康福祉・ 医療, 子どもの 健全育成	地域住民	100	太白区家庭健康課
250	区民協働まちづくり事業-企画事業: 認知症を支える地域づくり	高齢者が健やかに暮らし続けられるよう に地域包括支援センターと連携し、認知症を テーマに地域での支えあいの大切さを理解 するため講演会等を実施する。	認知症に関する講座や講話・交流会を計 4回実施 参加者数:248人 (①合同83人②秋保45人③山田69人 ④茂庭51人)	健康福祉・ 医療, まち づくり	山田地域包括支援センター、 茂庭地域包括支援センター、 秋保地域包括支援センター	176	太白区障害高齢課
251	区民協働まちづくり事業-企画事業: 元気もり森まもり隊	住宅地に隣接する都市緑地において、「仙 台市森林アドバイザーの会」の協力を得て、 町内会や大学生・小学生との協働による緑 地の環境整備(間伐、枝払い、下草刈り)を 実施するほか、今後の緑地のあり方を検討 する。	環境整備等実施:5回 参加者数:170人	まちづくり, 環境	仙台市森林アドバイザーの会、 町内会、小学生	450	太白区公園課
252	区民協働まちづくり事業-企画事業: まつりだ秋保	秋保の豊かな自然や伝統文化、農作物や 観光資源など地域の特性を活かしたまつり を開催することにより、訪れる人々に潤いと 安らぎを与え地域理解や活用PRによる地 域活性化を図る。	まつりだ秋保2017を実施した。 開催日:10月29日 来場者数:630人	まちづくり	まつりだ秋保実行委員会	1,305	太白区秋保総合支 所総務課
253	区民協働まちづくり事業-企画事業: 秋保地区スポーツレクリエーション大 会	誰でも気軽に参加できるニュースポーツを 中心とした大会を実施することにより、冬期 間の運動不足の解消や運動への動機付 け、幅広い年齢層の地域間交流や地域の 融和を図る。	第20回秋保地区スポーツレクリエーション 大会を開催した。 開催日:2月25日 参加チーム数:16チーム 366名 個人種目参加者数:77名	まちづくり	スポレク実行委員会	226	太白区秋保総合支 所総務課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
254	区民協働まちづくり事業-企画事業: 秋保ミュージアム環境整備事業	秋保全体を中山間地ミュージアムととらえ、豊かな自然や風景、歴史や文化、観光や創作等の資源を発掘整理し、新たな視点で結び付けて魅力ある地域資源の活用・情報発信、協働による整備を地域全体の動きとしていくための連携体制づくりを進め、地域づくりに関わる人材の育成や情報共有、交流人口増、中山間地の地域活性化と地域力向上を図る。	・秋保の魅力を伝えるパンフレット作成 発行部数:新規5種類×12,000部 ・魅力ある地域資源の環境整備 整備箇所:2か所 (野尻旧足軽集落、大倉山登山道) ・秋保地区地域活動のつどいの開催 開催日:1月28日 参加者数:104名 事例発表団体:7団体 ブース出展団体:10団体	まちづくり	地元町内会、 秋保地域資源活用委員会、 秋保地区地域活動のつどい連絡会議	1,087	太白区秋保総合支 所ふるさと支援担当
255	市民協働事業提案制度採択事業: 貧困家庭等の子どもを対象とした夕 食支援による地域の居場所づくり活 動	子どもに無料で夕食を提供することにより、貧困家庭やひとり親家庭、共働き家庭の子どもの食をめぐる問題の解決を図り、地域の中に気軽に集うことができる居場所をつくる。	「おりざの食卓」を運営し、孤食や生活困窮家庭の子どもを中心とした多世代夕食支援を実施した。 実施期間:4月～平成30年3月 実施回数 :98回(毎週木曜日、金曜日)	子どもの健 全育成	特定非営利活動法人おりざの 家	1,150	太白区家庭健康課
256	区民協働まちづくり事業-助成事業 (太白区)	【手芸を通しての憩いの場づくり】 手芸のワークショップを通して、孤立しがちな乳幼児親子の居場所づくりや仲間づくりを行うなど、育児にやさしいコミュニティづくりを学校や町内会等と連携しながら進める。	子育て中の親子を対象とした手芸のワークショップと憩いのお茶会を開催するなど、同世代の母親同士が交流できる憩いの場づくりを行った。	まちづくり、 地域安全活 動	*CHOUETTE*(シュエット)	380	太白区まちづくり推 進課
257		【Oneday無料楽器講座「マシュマロック!!!」】 思春期の若者が、初歩的な楽器演奏方法を楽しみながら、自身の自己評価の向上を実現する講座を無料で開催する活動を通して、中高生の居場所づくりを行う。	主に中高生を対象に、ギター等の無料音楽講座を開催し、思春期の若者の健全育成に寄与した。	まちづくり、 子どもの健 全育成	mon-stella(モン・ステラ)	50	太白区まちづくり推 進課
258		【交流広場「Coco!において」】 生出の自然、歴史、文化、農業体験を通し、「生きがいづくり」や「仲間づくり」を行うとともに、地域への愛着心を育む事業を実施することにより、地域活性化の担い手を育成する。	農業体験や太白山イベント等を通し、生出地域の資源を活用しながら、地域内外の人々と交流することで、地域のまちづくり活動の推進と担い手の育成を行った。	まちづくり	生出地区まちづくり委員会	410	太白区まちづくり推 進課
259		【大野田小学校区「縦」と「横」の関係づくり】 大野田小学校にゆかりのある著名人を招いた講演会や子どもの見守り等各種活動を通して、住民同士のつながり作りのきっかけを提供し、学区内の「縦」(多世代)と「横」(地域住民)の関係を深める。	子どもの見守り活動や卒業生による講話を通し、地域内の交流のきっかけを創出した。	まちづくり	大野田小学校区「縦」と「横」の 関係づくり実行委員会	60	太白区まちづくり推 進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
149 及び 152 と 同一 事業	ふるさと底力向上プロジェクト： 生出地区活性化支援	①生出地区まちづくり 平成27年度に設置した「生出地区まちづくり 委員会」で、課題を整理・検討する。 ②坪沼小学校跡地利活用 平成28年度から地域住民が中心となった 「坪沼地区ふるさと活性化研究会」を設立 し、住民意見交換会を開催する。	①生出地区まちづくり 分野別に課題を整理・検討し、報告する 内容をまとめた。 ②坪沼小学校跡地利活用 坪沼小学校跡施設利活用を中心に議論 を重ね、住民意見交換会を開催しながら その内容を要望書としてまとめた。	まちづくり	①生出地区まちづくり 生出地区まちづくり委員会 ②坪沼小学校跡地利活用 坪沼地区ふるさと活性化研究 会	170	太白区ふるさと支援 担当
260	ふるさと底力向上プロジェクト： 秋保体験観光創出支援事業	① 野尻地区体験観光創出支援事業 二口エリアの玄関口、里山の自然が豊かな 野尻地区において、特色ある体験観光を提 供するため野尻集会所を基点に、地元の特 産であるそばや里山の「食」文化等を活か した体験観光、近隣の名取川清流「天神淵」 での川遊び体験観光創出を支援し、市民や 観光客との交流による活性化に繋げる。 ② そばの郷「秋保」振興事業支援事業 秋保地区の「食」文化であり、観光の魅力の 一つである「そば」について、更なる発展を 期するため、そばの郷「秋保」振興事業とし て、全国レベルの「そば打ち大会」を開催 し、宮城のそば処として、内外に強力な情報 発信(アピール)、地元産そば栽培意欲の 増進、そば文化の振興を基軸とした地域活 性化の、交流を促進し心豊かで潤いのある 中山間地の活性化を図る。	①野尻地区体験観光創出支援事業 野尻地区において、集会所の改築補助 や交流カフェ「ばんどころ」のオープンから 運営まで、協働による新たな体験型観光 の創出に取り組んだ。 ・天神淵川遊びモニター体験 開催日：7月1日、7月29日 参加者数：49名 ・野尻交流カフェばんどころオープン 開催日：10月14日～ ・野尻の冬 雪遊びモニター体験 開催日：2月10日～11日 参加者数：26名 ②そばの郷「秋保」振興事業支援事業 宮城手打ちそば研究会、あきう生産組合 等と連携し、新しい誘客、地産地消を推 進した。 ・仙台秋保そばフェス2017の開催 開催日：6月3日～4日 総参加者数：2,850人 (一般来場者を含む) ・全麺協素人そば打ち段位認定 参加者数：43人 (初段位・二段位) ・全日本素人そば名人大会 東北予選参加者数：46人	まちづくり, 地域経済活 性化	野尻いぐする会、 宮城手打ちそば研究会、 東北工業大学、 「仙台秋保そばフェス2017」連 絡会議	4,367	太白区秋保総合支 所ふるさと支援担当
261	たいはく朝市	太白区内の農業者と消費者との交流の場 を創出し、農業者が生産した野菜を販売す る朝市を開催する。	4月から12月の毎月第二・第四日曜 日に、太白区役所南側駐車場等で、朝市を 開催した。 実施回数：18回	まちづくり, その他	たいはく朝市推進協議会	—	太白区まちづくり推 進課
262	被災者交流活動助成-太白区	東日本大震災の被災者等を対象に復興公 営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内 会等が行うコミュニティ形成に資する事業に 対し、公募により助成を行う。	年間を通して助成事業の公募を行うと ともに、申請のあった事業の審査や助成金 の交付等を行った。 助成金交付実績：1件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体 等	100	太白区まちづくり推 進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
263	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉区民ふるさとまつり	区民のふるさと意識の醸成を図り、世代や地域を超えた新しいコミュニケーションの輪を広げていくため、市民参加のイベントとしてまつりを開催する。	泉区最大のイベントとして「ふるさと泉、まつりの輪」をコンセプトとして実施した。 参加団体数:92団体 (ステージ発表、市民展示、縁日コーナー等) 開催日:8月26日 花火打上総数:4,500発	まちづくり	泉区民ふるさとまつり協賛会	6,750	泉区まちづくり推進課
264	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉区民文化祭	文化活動団体で構成された泉区文化協会会員及び一般参加者が毎年、イズミティ21を会場に日頃の成果を発表する。	第38回泉区民文化祭を開催した。 入場者数:2,116人	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市泉区文化協会	620	泉区まちづくり推進課
265	区民協働まちづくり事業-企画事業: いずみ朝市	生産者と消費者の交流及び地域振興を図るため、地元の生産者や業者などによる朝市を開催する。	4月から12月までの第2・4日曜日(4月は第4のみ)にいずみ朝市を開催した。 延べ来場者数:9,810人	まちづくり	いずみ朝市運営委員会	100	泉区まちづくり推進課
266	区民協働まちづくり事業-企画事業: ニュースポーツフェスティバル	ニュースポーツを通じ地域住民の健康増進と体力維持を促進し、地域間交流や、親子・老人・子どもとのコミュニケーションを図ることを目的に泉区民ふるさとまつりに合わせて開催する。	・第18回ニュースポーツフェスティバル開催 参加者数:613人 ・第18回ニュースポーツいきいきフェスティバル開催 参加者数:46人(12チーム)	文化・芸術・スポーツ・学術	ニュースポーツフェスティバル実行委員会	270	泉区まちづくり推進課
267	区民協働まちづくり事業-企画事業: 将監沼ふれあい事業	中世からの遺産である将監沼を中心とした周辺の自然環境を保護し、四季折々の花が咲き、野鳥のさえずりが聞こえるよう環境整備を行う。 区民参加による実行委員会を組織し、参加者の連帯感を高めながら、地域コミュニケーションの場として活用するとともに、自然の大切さやふるさとの意識の向上を図る。	将監沼周辺の間伐、下刈等の実施、子育て事業の推進のほか、地域のコミュニケーションを図る下記事業を実施した。 将監さくら祭り開催:1回 沼のほとり音楽会開催:1回 将監ふれあいコンサート開催:1回 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル参加:1回 将監市民センターまつり参加:1回	まちづくり	「将監沼の自然」とふれあいを育む会	200	泉区まちづくり推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
268	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉ヶ岳利活用推進事業	泉区のシンボルである泉ヶ岳の豊かな自然環境を将来にわたり維持し継承していくため、市民との協働により泉ヶ岳の魅力を生かした利活用を促進する。	・泉ヶ岳山開きに合わせ、会員と一般参加者で芳の平周辺の一斉清掃を実施した。 実施回数:1回、参加者数:80人 ・ミズバショウの保全管理計画の策定に向けたモニタリング調査等を実施した。 実施回数:3回、参加者数:55人 ・荒廃していた芳の平果樹園跡地を里山に戻すための下刈り作業と樹木の保全作業を実施した。 実施回数:6回、参加者数:120人 ・公募し当選した者と登山や泉ヶ岳自然観察会を実施した。 実施回数:3回、参加者数:98人 ・泉ヶ岳悠・遊フェスティバルへ出店した。 実施回数:1回、参加者数:176人 ・リーフレット「泉ヶ岳の花」を配布した。	まちづくり	泉ヶ岳利活用推進市民会議	600	泉区まちづくり推進課
269	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル	区民に泉ヶ岳の自然とその魅力に触れる機会を提供し、ふるさとの山の自然の素晴らしさを再認識してもらうとともに、区民の交流を促進することを目的に、泉ヶ岳悠・遊フェスティバルを開催する。	2017泉ヶ岳悠・遊フェスティバルを実施した。 実施回数:1回 参加者数:7,500人	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	1,440	泉区まちづくり推進課
270	区民協働まちづくり事業-企画事業: 区民意識普及啓発	住みよい心豊かな潤いのあるまちづくりを進めるため、区民憲章の普及・啓発、泉区写真コンクールの開催、泉区民デーの開催等を実施する。	・泉区写真コンクールを実施した。 応募数:2部門88作品 ・泉区民デーを開催した。 参加者数:509人 ・泉区民ふるさとまつりに出展し、啓発活動を実施した。 ・市民憲章運動東北ブロック研修会に参加した。 ・市民憲章運動推進全国大会に参加した。	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	520	泉区まちづくり推進課
271	区民協働まちづくり事業-企画事業: 七北田川クリーン運動	泉区のシンボルである七北田川の清掃活動と鮎の放流活動を行うことにより、ふるさとへの愛着心と環境保護についての意識の高揚を図る。	・七北田川の清掃活動を実施した。 会場数:4会場 参加者数:計1,073人 回収ゴミ:計2,440kg ・七北田川への関心や知識を高めるため、自然観察会を開催して、水質・水生生物調査観察、いかだ下りなどを実施した。 参加者数:小学生25人	環境	泉区まちづくり推進協議会	100	泉区まちづくり推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
272	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉中央美化推進	区民の環境美化・緑化への意識の醸成を 図るため、「ごみの散乱のない快適なまちづ くり推進地区」に指定されている泉中央地区 で清掃や緑化活動を行う。	緑化活動:7回 清掃活動:2回 参加者数:981人(11月) 963人(3月)	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	330	泉区まちづくり推進 課
273	区民協働まちづくり事業-企画事業: いずみのふるさと学	地域に対する理解と愛着を深めてもらうこと を目的に、泉区の名所史跡をたどる探訪会 等を開催する。	いずみのふるさと探訪会の開催実施 参加者数:41人(6月) 24人(10月)	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	280	泉区まちづくり推進 課
274	区民協働まちづくり事業-企画事業: 大学連携地域づくり事業	【大学地域ネットワーク】 大学の知的資源や学生のパワーを生かした まちづくりを積極的に進めていくため、協定 を結び連携協力活動を進める。	地域情報の収集と情報提供(地域イベン トのチラシ、ポスター作成)に関して連携し ている。 ・泉区6大学まちづくりフェスティバル(大 学の地域活動の発表及びワークショップ) を開催した。 参加者数:約100人 ・各大学が地域に入り、夏祭り等の地域イ ベントの企画・協力やステージの参加を 行った。	まちづくり	泉・大学地域ネットワーク (泉区内6大学、泉区まちづくり 推進協議会)	194	泉区まちづくり推進 課
275		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【生文大ワクワクプロジェクト事業】 区内のイベントでシルクスクリーンの技法を 使ったものづくりの体験講座を開催し、地域 の方と交流する。	いず・ちゅう祭、泉区民ふるさとまつり及び 地域のイベントにて、シルクスクリーン等の 技法を用いたトートバック作り、消しゴムは んこづくり、竹とんぼ作成等のワークショッ プを実施。泉区民文化祭では、高校・短 大・大学の茶道部による野立て席やプロ ジェクションマッピング等も行った。	まちづくり	東北生活文化大学 版画研究室	80	泉区まちづくり推進 課
276		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【地域いきいきプロジェクト事業】 地域の方への庭掃除の支援や、地域の方 の交流を促すため、地域主催のサロンへの 参加や学生主催のイベントを実施する。	「地域の支え合いで暮らしを豊かに」を テーマに、鶴が丘一丁目地区での学習支 援や、将監地区で市民センター主催のサ ロンに参加するほか、学生主催の芸術祭 や地域のお祭りに積極的に参加した。	まちづくり	仙台白百合女子大学 志水ゼミ	80	泉区まちづくり推進 課
277		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【デザインによる地域活動支援プロジェクト事 業】 区内のイベントのポスターや告知物をデザイ ン・制作し、地域の活性化を図る。	高森地区を中心に、夏祭りや集会所のイ ベント時にポスターやチラシを作成すると ともに、当日の運営に参加した。将監南ふ れあい祭りでは缶バッジ作成のワーク ショップを通じて、デザインの楽しさを子供 たちに伝えた。	まちづくり	宮城大学 マイチゼミ	100	泉区まちづくり推進 課
278		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【ダンスを通して地域に貢献したい事業】 区内でよさこいとストリートダンスの演舞発表 を行うほか、子ども向けのダンス教室や交 流会を開催し、ダンスステージイベントを通 じて地域の方との交流を図る。	地域行事にて、よさこいとストリートダンス の発表を行うほか、公開講座として子ども たちへのダンス教室や交流会を開催。よ さこいの団体は、泉区の団体を交えたよさ こいイベントを立ち上げ、地域との交流の 幅を広げた。	まちづくり、 文化・芸術・ スポーツ・学 術	聖和学園短期大学 DANCE FOR ALL!!	80	泉区まちづくり推進 課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
279		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【地域Smile集まる居場所づくりプロジェクト・世代間交流2017】 高齢者、独居高齢者、老夫婦世帯の孤立化や閉じこもりの予防、生活不活性病や要支援・要介護状態の予防をするために、地域コミュニティ活動支援を実施し交流の機会を設ける。	南中山・館六丁目・北中山地区で開催の高齢者を対象としたサロンや交流会へ参加した。各町内会役員や地域住民、施設職員等とサロンの打合せを行い、要介護予防体操やネイルなどのアクティビティを実施した。また、学園祭への招待や食事会の開催も実施した。	健康福祉・医療, まちづくり	聖和学園短期大学 地域サポーターズ聖笑	100	泉区まちづくり推進課
280		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【スポーツによる地域貢献活動事業】 小学校でのサッカー教室の開催、みやぎ夢燈花などのイベントで、地域の小学生とのサッカーボウリングやゲームを通じ、学生のボランティア意識を高めるとともに、地域交流を進めていく。	学内及び地域の小学校でのサッカー教室をはじめ、各種スポーツ・遊びの教室を展開。南中山児童センターと連携し、体育クラブの企画、指導を行った。ダンスや体育クラブ、野外活動のサポートなど、活動の幅を広げて地域の活性化に貢献している。	まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術	聖和学園短期大学 スポーツクラブBOA SORTÉ	60	泉区まちづくり推進課
281		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【本気田っちゃ、スマイルもりもりプロジェクト事業】 本田町及び近隣地の住民と一緒に、介護予防自主グループ「ぬくもり会」における介護予防運動の取り組みをサポートし、会員の参加意識を高める活動を行う。	泉区本田町及び近隣地域の住民と介護予防自主グループ「ぬくもり会」の介護予防運動のサポートを行う。さらに活動を広めるため、泉中央地区の認知症カフェで軽運動を行ったり、活動内容をあらわした「スマもり通信」の回覧や掲示を行った。	健康福祉・医療, まちづくり	東北学院大学 菅原真枝ゼミ	100	泉区まちづくり推進課
282		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【寺岡・紫山を健やかに楽しむお散歩マップ作成プロジェクト】 寺岡・紫山の四季の景観を楽しめるお散歩コースを設定し、寺岡・紫山それぞれにお散歩マップを作成、印刷して配布する。	寺岡・紫山地区を対象に、空間デザインを学ぶ学生と地域住民が協力してまち歩きをしながら地域のお散歩マップ作りを行った。コースごとの時間や消費カロリーを記載し、健康づくりに役立つものにしたほか、住民から評価の高い花や緑の景観を紹介した。	健康福祉・医療, まちづくり	宮城大学 平岡研究室	66	泉区まちづくり推進課
283		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【バリアフリーマップの作成:みんなが楽しめる街・泉中央を目指して】 車椅子使用者を対象とした泉中央地区のバリアフリーマップを作成する。	車椅子使用者を対象とした泉中央地区のバリアフリーマップを作成することを目指したが、今年度は勉強会並びに情報の収集とスマートフォンでの閲覧が可能になるよう、ウェブサイト作成方法について学んだ。	まちづくり	宮城学院女子大学 現代ビジネス学科土屋ゼミ	31	泉区まちづくり推進課
284		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【ラジオ番組:管理栄養士を目指す宮城学院女子大生の「パワフル奮闘記」】 管理栄養士を目指す宮城学院女子大学食品栄養学科の学生が、企画作成するラジオ番組の1コーナーとして「泉区いいとこ大発見」を設け、泉区の話、特に食と健康にかかわるニュース、名店、名所等を取りあげ、取材をもとに学生による情報、感想を交えて展開する。	企画作成するラジオ番組の1コーナーとして、「泉区いいとこ大発見」を設け、泉区の話、特に食と健康にかかわるニュース、名店、名所等を取りあげ、取材をもとに学生による情報、感想を交えて展開した。	まちづくり	宮城学院女子大学 正木ゼミ	50	泉区まちづくり推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
285	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉中央地区活性化事業	泉中央地区のにぎわいを創出し、地区の活性化を図る。	泉中央駅ペDESTロリアンデッキを会場に、音楽やダンス等さまざまなジャンルのパフォーマンス、地元小学生の合唱、大学生によるワークショップなどによる、いず・ちゅう祭を開催した。 来場者数:約14,000人	まちづくり	泉中央活性化フォーラム	1,004	泉区ふるさと支援担当
286	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青少年健全育成事業	青少年が日頃より考えている将来の夢、社会に対する要望を発表する機会等を与えることにより、物事を考える力、広い視野と柔軟な発想・表現力を育むとともに、青少年健全育成に対する大人の理解度と関心度の向上を図る。	・少年の主張泉区大会 参加校:16校、来場者数:約200人 ・標語コンクール 参加校:22校 ・地球のステージ 来場者数:約550人	社会教育、 子どもの健全育成	泉区まちづくり推進協議会	450	泉区家庭健康課
287	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域子育て交流会	育児サークル、子育てサロン、食育推進団体などの子育て支援関係団体を対象とした交流会を実施する。また、団体の代表者による実行委員会で、広く区民を対象とした親子まつりを企画・実施する。	全体会実施:3回 参加者数:61人 交流会実施:2回 参加者数:18人 実行委員会実施:5回 親子まつりの実施:1回 参加者数:450人 (大人248人、子ども202人)	子どもの健全育成	地域で活動する子育てを応援する団体・個人及び子育て中の当事者グループ等で構成される「子育て応援倶楽部いずみん」	127	泉区家庭健康課
288	区民協働まちづくり事業-助成事業 (泉区)	【ナース(nurse、授乳する)アウト(out、外)で、みんなで育児!】 子育て支援イベントの開催を通じて母親同士のつながりや情報交換の場となる居場所づくりを行い、活力ある地域づくりを推進する。	いずみ地区実行委員会:3回 産後ケアサロン:1~3回/月 参加者数(のべ)親子299組 プレイベント延べ来場者数:270人 本開催参加者:乳児親子31組(2会場合計) ワークショップ、子育て講話など:8件	まちづくり	ナースアウトin仙台、いずみ地区	446	泉区まちづくり推進課
289		【地域住民が相互に支え合い助け合う活動の実現】 安否確認希望世帯を訪問する「見守り・安否確認活動」、買い物・病院診療への付き添いや庭の樹木の世話などを行う「助け合い活動」、一人住まいの方や子育て世代や若い世代も対象とした「茶話活動」を実施する。	見守り・安否確認活動:51回 助け合い活動:71件 茶話会:31回 75歳以上の世帯訪問調査活動:129世帯	まちづくり	やまわ会	225	泉区まちづくり推進課
290		【深めよう親子の絆! 育てよう地域の絆!】 病児等の一時預かりやお産サポートなど子育て親への支援を行うとともに、地域の親子が地域の支援者と共同で野菜作りを行う活動を実施する。	地域の人々の支援を受けながら、7か月間野菜栽培に取り組んだ。 参加者数:親子10組 収穫祭の実施:1回 (会員、町内親子、支援者)	まちづくり	特定非営利活動法人子育て支援アシスト・エフワン	232	泉区まちづくり推進課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
285 と 同一 事業	ふるさと底力向上プロジェクト： 泉中央地区活性化事業	泉中央地区のにぎわいを創出し、地区の活性化を図る。	いず・ちゅう祭を開催する一方で、平成30年度以降の同イベントの効果的なあり方について、地域事業者等と見直しを行った。また、泉中央駅前広場(おへそ広場)の利活用促進に向けた市民への情報提供を行い、利用者増加と認知度向上を図った。	まちづくり	泉中央活性化フォーラム	事業番号 285と共通	泉区ふるさと支援担当
291	ふるさと底力向上プロジェクト： 郊外居住地区の課題対応事業	少子高齢化等により表出している郊外居住地区の課題に対応する。	地域包括支援センターなどへのヒアリングを実施し、地域の現状や課題、活動団体の取り組み状況について把握を行った。また、補助事業申請や事業推進にかかるアドバイス、新たに活動を開始する団体への支援を行った。	まちづくり	鶴が丘一丁目町内会、鶴が丘はあとネット、結いの会・高森東、やまわ会等	—	泉区ふるさと支援担当
292	ふるさと底力向上プロジェクト： 泉西部地区活性化事業	泉西部地区の活性化を図るため、地域団体や地域事業者、住民等と連携・協力し、交流人口拡大及び地域消費額の増加に向けた取り組みを実施する。	交流人口拡大に向けた体験型観光の取り組みを実施した。また、地域経済団体と協力し、観光モデルコース案の作成、特産品を活用した加工品の検討を進めた。	まちづくり	地域住民、地域団体等	1,135	泉区ふるさと支援担当
293	社会を明るくする運動仙台市泉区推進委員会	法務省の主唱する「社会を明るくする運動」について、泉区域における本運動の企画、実施、推進を図る。	以下の活動を実施した。 ・総会、役員会等の開催：計4回 ・広報、泉区役所懸垂幕、泉区民ふるさとまつり、地下鉄駅泉中央駅前での広報活動 ・内閣総理大臣メッセージの伝達 ・小学校での講話：毎年1校 ・泉区まちづくり推進事業との共済事業(地球のステージ、標語コンクール)	社会教育、まちづくり、地域安全活動、子どもの健全育成	保護司会、更生保護女性会	122	泉区家庭健康課
294	仙台市泉区子ども会育成会	泉区内の各校区子ども会育成会相互の連絡調整を行い、地域の意見や情報を交換して、子ども会の育成発展を図る。	総会、校区交流会(3回)、泉っ子キャンプ(2回)及び研修会(2回)の開催 泉区民ふるさとまつり、泉ヶ岳悠・遊フェスティバルへの参加 広報誌の発行	まちづくり、子どもの健全育成	仙台市泉区子ども会育成会	1,275	泉区家庭健康課
295	婦人防火クラブ活動支援事業	婦人防火クラブの育成強化と活動の活発化を図るため、運営及び活動を支援する。	火災予防知識の習得や技術の向上を図る訓練や研修会、家庭用防災機器等の普及や街頭での防火キャンペーンなど地域に密着した活動を年間441回実施した。	地域安全活動	仙台市婦人防火クラブ連絡協議会	12,700	消防局予防課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
296	自分づくり教育推進事業： 職場体験活動推進協議会	学校におけるキャリア教育に対する支援を 目的に企業関係者が参画する会議体とし て、主に職場体験及びインターンシップの受 入についての支援促進を図るために、仙台 自分づくり教育の効果的かつ円滑な実施に ついて協議する。	年2回、職場体験活動推進協議会を開 催した。 啓発活動に係る取り組み(ミニのぼり、パ ンフレット配布)、学校と受入事業所間の マッチングに係る取り組み(相談窓口)、 受け入れ事業所の理解を推進するため の方策等について協議し改善点を整理し た。	まちづくり、 子どもの健 全育成	仙台商工会議所、宮城県中小 企業団体中央会、みやぎ仙台 商工会、協同組合日専連仙 台、宮城県中小企業家同友 会、公益社団法人仙台青年会 議所	64	教育局学びの連携 推進室
297	自分づくり教育推進事業： 仙台子ども体験プラザ事業	児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育 てるとともに、将来の生き方について考える 意欲や態度を育むため、協賛事業所等の 協力のもと、体験型経済教育プログラム「ス チューデントシティ」「ファイナンスパーク」を 実施する。	・小学校のプログラム「スチューデントシ ティ」 実施数回：74回(114校) ・中学校のプログラム「ファイナンスパー ク」 実施回数：98回(59校) ・スチューデントシティへの協賛企業との 情報交換会 実施回数：3回	まちづくり、 子どもの健 全育成	市内協賛事業所等	43,656	教育局学びの連携 推進室
298	不登校支援ネットワーク	市民・大学・企業・行政等がそれぞれの特 性を生かしながら相互にパートナーとして融 合し、不登校の児童生徒やその保護者の 支援を実施する。	以下の取り組みを実施した。 ・運営会議：2回 ・パソコン実習：16回 ・動物介護活動：5回 ・稲作体験活動：2回 ・ハートフルサポーターの活動 自然体験：3回 土曜のひろば：9回 ・不登校支援ネットワークワーキングとボラ ンティア養成講座：2回 ・公開研究会：1回 ・減災結プロジェクト出前授業：1回 ・進路相談会：1回 ・創作活動：1回 ・職場体験・職場見学：24か所	子どもの健 全育成	・特定非営利活動法人 (あかねグループ、エーキュー ブ、まなびのたねネットワーク、 仙台シニアネットクラブ、ことば の貯金箱「夢」プロジェクト、情報 のあんこ等) ・企業 (株式会社ハリウコミュニケー ションズ、株式会社デンコー ド、宮城県学校用品協会、株 式会社北文社、株式会社ジャ ストシステム、オレンジフィールド 等) ・大学 (宮城教育大学、東北福祉大 学、東北大学災害科学国際研 究所)	—	教育局教育相談課
299	楽学プロジェクト	小学5・6年生及び中学生を対象に、さまざ まな職業の講師による「講話」や「体験活 動」を経験させることにより、子どもたちが 「仕事」や「働くこと」とは何かを考える機会と する。	一般講座：45講座 参加者数：1,245人	子どもの健 全育成	楽学プロジェクト委員会	461	教育局生涯学習課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
300	スタジオ協働事業	「考えるテーブル」など、誰もが参加可能な対話型公開会議などを中心に、市民力の醸成、市民の主体的な社会参画が文化面から活性化していくことを目指す。あわせて、スタジオ協働事業や地域文化アーカイブなどの事業をせんだいメディアテーク7階ラウンジにおける展示を通じて広く発信する。	・考えるテーブル 「てつがくカフェ」「民話ゆうわ座」などを実施した。 ・ラウンジでの展示 「どこコレ？」「細倉を記録した寺崎英子のまなざし展」などを実施した。	社会教育	てつがくカフェ@せんだい、特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台、みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム等	1,319	教育局生涯学習課
301	地域文化アーカイブ	市民の自発的な地域文化財のデジタル化、保存、活用を促す取り組みを行う。成果物は、メディアテークに保存し、ライブラリーへの配架、ウェブサイト等での発信、またそれらをもととした催事を行うことで、仙台市域のさまざまな文化活動へのより広く深い市民の関心を促す。	民話声の図書室、どこコレ？、細倉を記録した寺崎英子の写真アーカイブなどを実施した。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム、特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台等	1,640	教育局生涯学習課
302	バリアフリー文化事業	目や耳の不自由な人々の主体的な情報アクセスを促進するための点字翻訳、音声解説、字幕制作等のデータ作成を市民協働で行う。成果物を活用した上映会等や、作成に関わる人材の育成、技術向上に向けた講座の開催など一連の取り組みを行う。	・バリアフリー上映会 実施回数：2回 延べ271人 ・音声入力に関連する講座 実施回数：3回(延べ6日) ・各種研修会/講演等 実施回数：5回(延べ7日)	健康福祉・医療、社会教育	仙台朗読奉仕の会、まほうの手等	576	教育局生涯学習課
303	地域文化連携事業	各種団体との協働や連携・ネットワークを用い、地域におけるメディアテークの役割を担いつつ、オープンスクエア、ギャラリー、シアター、ライブラリーなど館全体の機能を活かしたイベントや展示、上映会など多様な共催事業を実施する。	ショートピース！ 仙台短篇映画祭、せんだいデザインリーグ2018卒業設計日本一決定戦等を実施した。 年間参加者数：19,031人	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	仙台短篇映画祭実行委員会、仙台建築都市学生会議	2,197	教育局生涯学習課
304	震災の記録・市民協働アーカイブ事業	震災とその復旧・復興の過程を市民・専門家・スタッフが協働して記録・発信し、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として、整理・保存する「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を運営する。センターでは、参加者が写真や映像等で記録し、資料活用に向け、アクセス可能なメタデータなどを整備し保管する。また、収集した資料は一部選別し、ウェブサイトでの配信、ライブラリーへの配架、上映会や展覧会の開催など、さまざまな形での利活用を行う。	公開コンテンツ：映像2本・写真313枚 ウェブ閲覧数：約828万回 上映会延べ参加者数：478人 展示延べ参加者数：2,169人 (3月7日～11日) ・「草アーカイブ会議2『コミュニティ・アーカイブってなに？』」 『コミュニティ・アーカイブをつくろう！「3がつ11にちをわすれないためにセンター」奮闘記』の出版にあわせて開催。各地で草の根的に展開されているアーカイブ活動について、記録した対象を「提示・表現」することと、「記録・収集」することの2つのテーマに分け、ゲストと共に考えた。 開催日時：12月24日～12月25日 延べ参加者数：565人	社会教育、地域安全活動	市民の参加者	13,685	教育局生涯学習課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
305	倉人祭(くらんどさい)	大倉地域町内会と協力し、伝統芸能、郷土料理や地場産品の販売などを行い、他地域の人々との交流や賑わいの創出に寄与する。	倉人祭を開催した。 来場者数:約550人	まちづくり	倉人祭実行委員会	355	教育局生涯学習課
306	仙台市立学校施設の開放(学校施設開放事業)	社会体育の普及ならびに幼児及び児童の安全な遊び場の確保のため、学校の校庭や体育館などを学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒その他市民に開放する。	学校施設開放実績:186校 うち自由活動開放実績:37校	文化・芸術・スポーツ・学術, 子どもの健全育成	管理運営委員会	38,021	教育局生涯学習課
307	社会学級開設	学区に居住する成人が、自主的な学習活動ができるよう、小学校、特別支援学校に社会学級を開設する。	社会学級開設実績:114件	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術	小学校・特別支援学級に開設する社会学級	5,189	教育局生涯学習課
308	学校図書室等開放事業	市立小学校において、図書室等の学校施設を週末に開放し、読書の機会提供、子どもの居場所拡大、地域の生涯学習の場としての活用を図るという、学校図書室開放事業の管理・運営を委託により実施する。	学校図書室等開放実績:20件	社会教育, 子どもの健全育成	各学校図書室等開放推進委員会(学区内町内会、父母教師会、その他の団体代表者、学校関係者で組織)	4,671	教育局生涯学習課
309	仙台市小中学校PTA運営費補助金	市立小学校等PTA活動の振興を図るため、PTA等の運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	補助金交付実績:1件	社会教育, 子どもの健全育成	仙台市PTA協議会(各市立小・中・特別支援学校PTA)	33,484	教育局生涯学習課
310	仙台市マイスクールプラン21推進事業補助金	実施校ごとに設置する運営委員会によって選任されたコーディネーターが企画調整して行うマイスクールプラン21推進事業運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	補助金交付実績:8件 延べ利用人数:33,206人	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術	実施校ごとに設置するマイスクール運営委員会の運営委員長	7,068	教育局生涯学習課
311	ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」	すでに映写機のない各家庭に眠っている8ミリフィルムを掘り起こすため、8ミリフィルム上映やデジタル化のノウハウを持つ特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台との共催により、歴史民俗資料館の歴史的な知識と会場の雰囲気の中で、各家庭から持ち寄られた8ミリフィルムを鑑賞するイベントを実施する。	ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」を歴史民俗資料館で実施した。 参加者数:33人	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台	—	教育局文化財課
312	歴史民俗資料館サポーター活動	仙台市歴史民俗資料館で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。	秋・冬の小学3年生による見学を中心とする展示解説や、ゴールデンウィークおもしろ昔体験・れきみん秋祭りといった各種イベントの補助を実施した。 サポーター登録者数:23名 企画展・特別展の概要説明及び展示見学等を行う館主催のサポーター会を5回開催した。	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術	歴史民俗資料館サポーター会	—	教育局文化財課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
313	仙台市富沢遺跡保存館ボランティア活動	富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム)で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。	・地下及び1階の常設展示の展示解説やイベント・講座等の補助を実施した。 ボランティア登録数:72名 ①展示解説 延べボランティア数:1,196人 延べ活動時間数:3,575時間 ②イベント等の補助 延べボランティア数:339人 延べ活動時間数:966時間 ・館主催のボランティア育成事業を実施した。 養成講座:6回 スキルアップ講座2回 実技研修:1回 施設等研修見学会:1回	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	富沢遺跡保存館ボランティア会	217	教育局文化財課
314	地底の森フェスタ2017	富沢遺跡保存館職員とボランティア会の共同で開催するイベントであり、「石器づくり」「やり投げ」などの各種体験コーナーや料理の試食体験を行う。	地底の森フェスタ2017を実施した。 参加者数:1,292人	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	富沢遺跡保存館ボランティア会	86	教育局文化財課
315	企画展「もりの風景2017」	富沢遺跡保存館が主催する展示事業。ボランティア会など館に関連する団体も含め、1年間の活動の様子をパネルで紹介する。あわせてボランティアが製作した作品・収集の石材などの展示を行い、館の活動とその成果を展示して広く市民へ周知を図るとともに、次年度の募集について広報を行い、生涯学習活動を発表する場とする。	ボランティアが製作した石器や土器、編布など約30点と解説パネル15枚を展示した。 会期中、関連イベントとして編布班によるリースづくりを行った。 ボランティア参加者数:19人	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	富沢遺跡保存館ボランティア会	23	教育局文化財課
316	縄文の森広場ボランティア活動	縄文の森広場で、年間を通じ来館者への展示案内、体験活動やイベント参加者の支援・補助等を行う。ボランティアとして登録した方が、あらゆる活動への取り組みを通して、生涯学習活動を実践する場となっている。	ボランティア登録数:72人(平成29年度) イベントだけでなく、開館日の随時体験にも対応している。 年間活動人数:454人 活動時間:3,281時間 活動日数:1,082日 館主催のボランティア養成講座を6回開催したほか、グループ活動・施設等研修見学会を実施しスキルアップを図った。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	縄文の森広場ボランティア会	152	教育局文化財課
317	縄文まつり	季節に応じた体験イベントやコンサートを通して縄文の森広場の利用促進を図るため、1年に計4回、ボランティア会と連携して実施する。	縄文春まつり参加者数:390人 縄文夏まつり(コンサート含む)参加者数:744人 縄文秋まつり参加者数:126人 縄文冬まつり(コンサート含む)参加者数:354人	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	縄文の森広場ボランティア会	1,127	教育局文化財課

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
318	仙台・文化財サポーター会	文化財の普及、利活用を促進するため、自主的に文化財を学習している3つの部会の活動を支援する。また文化財課主催のイベントなどへの協力を依頼する。	文化財サポーター養成講座を実施して育成を支援した。 講座実施回数:10回	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	仙台・文化財サポーター会	56	教育局文化財課
319	薬師堂手づくり市	文化財の普及、利活用を促進するため、陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会のガイド活動を支援する。	毎月8日の手づくり市に文化財展示コーナーを設営してガイド活動を支援した。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	手づくり市実行委員会	—	教育局文化財課
320	史跡整備(活用)	文化財の普及、利活用を促進するため、特定非営利活動法人のガイド活動を支援する。	活動のための器材の貸し出し、仙台城跡調査成果の情報提供を行った。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	特定非営利活動法人仙台城ガイドボランティア会	—	教育局文化財課
321	仙台市博物館展示解説ボランティア(三の丸会)	常設展示の展示解説及び館庭案内を行う。	・常設展示について25,112人に解説を行った。 活動日数:234日 ・館庭について795人に解説を行った。 活動日数:168日	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	三の丸会	45	教育局博物館
322	知能ロボットコンテスト・フェスティバル2017	ロボット技術の専門性を有するロボット競技会実行委員会と協力し、小中学生を対象とした「ロボコンジュニア」及び学生・一般等が対象の「知能ロボットコンテスト」の実施を支援する。	「知能ロボットコンテスト・フェスティバル2017」を開催した。 (ロボコンジュニアは2日間のうち1日のみ実施) 延べ参加者数:1,140人	文化・芸術・ スポーツ・学 術	ロボット競技実行委員会	100	教育局科学館
323	きのこ展	キノコの専門性を有する仙台キノコ同好会と協力し、キノコ標本の展示・解説や同定会等の実施を支援する。	「きのこ展」を開催した。 延べ参加者数:1,834人	文化・芸術・ スポーツ・学 術	仙台キノコ同好会	100	教育局科学館
324	市民センター事業	各市民センターにおいて各種事業(講座)を実施する。 市民協働事業例: 図書ボランティア、剪定ボランティア等の各種ボランティアの養成講座、市民と一緒に講座を企画する市民企画講座、学校や地域団体等と連携した各種講座	講座数:1,002講座、5,128回	社会教育, まちづくり, 環境,文化・ 芸術・ス ポーツ・学 術,国際交 流・協力,男 女共同参画 社会,子ども の健全育成	地域住民、地域団体等	24,899	教育局生涯学習支援センター
325	市民センターまつり	作品展示や舞台発表等生涯学習発表の場を提供し、またまつりの運営を通じて地域と世代間の交流を深め、コミュニティづくり促進の機会となる市民センターまつりを開催する。	開催館数:55館	社会教育, まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・学 術	地域住民、地域団体等	市民センター事業費に含まれる	教育局生涯学習支援センター

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
326	学びのコミュニティづくり推進事業	学びのコミュニティづくり推進事業実施要項に基づき、子どもや学校を支援する学びのコミュニティづくり推進事業を委託により実施する。	委託実績：7件	社会教育, まちづくり	八木山おやじの会、田子っこ学びのコミュニティ推進委員会、住吉台小学校おやじの会、楽(たの)コミ金剛沢おやじっ子推進委員会、未来っこ桂、森の応援団愛子ハグリッズ、坪沼スポーツ振興会	1,447	教育局生涯学習支援センター
327	成人式における選挙啓発	仙台市成人式において、新成人に投票意識の向上を呼び掛け、模擬投票の体験を実施する。	仙台市長選挙模擬投票を実施した。その他、啓発チラシ、啓発物資及び啓発冊子の配布を行った。	その他	特定非営利活動法人ドットジェイピー宮城支部、選挙啓発ボランティアグループ Activate仙台	—	選挙管理委員会事務局選挙管理課
328	選挙時における臨時啓発	選挙期間において、街頭での投票の呼び掛けや選挙啓発物資の配布等を実施する。	仙台市長選挙期間に仙台駅前選挙啓発を実施した。 参加人数：106人	その他	特定非営利活動法人ドットジェイピー宮城支部、仙挙行こう会、選挙啓発ボランティアグループ Activate仙台、東北大学インターンシップ生、仙台市・区明るい選挙推進協議会	15	選挙管理委員会事務局選挙管理課
329	選挙出前授業	仙台市内の中学校、高等学校及び大学において、模擬投票を含めた選挙出前授業を行う。	市内学校等12か所にて計18回実施。	その他	特定非営利活動法人ドットジェイピー宮城支部	—	選挙管理委員会事務局選挙管理課
330	インターンシップ受入事業	東北大学と協定を結び、学生をインターンシップ生として受け入れ、選挙時にアエル期日前投票所における投票事務に係る補助業務に従事してもらう。	仙台市長選挙において、20名の学生にアエル期日前投票所における投票事務に係る補助業務に従事してもらった。	その他	東北大学	—	選挙管理委員会事務局選挙管理課
331	選挙啓発ボランティア事業 (Activate仙台)	投票率の低い若年層の投票率向上のため、大学生等が定期的に集まり、市の啓発事業に対し企画・提案等を行う。	定期的な集まりで市の啓発事業に対し意見を提供したほか、仙台市長選挙及び衆議院議員総選挙及び宮城県知事選挙の選挙期間中の啓発活動や成人式での啓発活動等へ参加した。 活動者数：6人	その他	市民	25	選挙管理委員会事務局選挙管理課
332	選挙啓発事業	東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターが、仙台市民投票意識調査の結果について分析・検証し、市と効果的な啓発について協議する。また、投票率向上に資する取組み機会を増やすため、センターの事業に市が参加できないか協議する。	平成29年度に執行された仙台市長選挙について「仙台市民投票意識調査」を実施。その結果について東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターに分析を依頼するとともに検討会を実施した。	その他	東北大学 (東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センター)	—	選挙管理委員会事務局選挙管理課
333	水源地親子ツアー(青下水源地・水道記念館)	小学生の親子を対象として、仙台市の水道水源「青下水源地」において、水道の仕組みや森林の役割を学びながら間伐体験を行い、森林や水源環境を保全する大切さを啓発する。	水源地親子ツアーを実施した。 実施回数：1回 参加者数：33人	社会教育, 環境	仙台市森林アドバイザーの会	247	水道局総務課

事業番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
334	災害時給水栓による地域の飲料水確保	災害により断水が発生した際、地域住民が自ら給水所を立ち上げ運営できるよう、市立小中高校に災害時給水栓を設置するとともに、防災訓練等における操作方法のレクチャー等を通じ、定着を進めている。	平成28年度までに設置している災害時給水栓について、避難所運営委員会等に対して使用方法等の説明を実施した。平成29年度までに説明した箇所数90箇所（平成29年度に説明した箇所24箇所）	地域安全活動	地域団体（避難所運営委員会等）、市立小中高校	31,616	水道局計画課
335	宮城バスまつり	バス車両の展示や各種イベントを通じて、「ひと・まち・自然」にやさしいバスへの理解と愛着を深めてもらうことを目的に、実施主体である公益社団法人宮城県バス協会の会員として、他の傘下バス事業者と連携を図りながら開催する。	「宮城バスまつり」の開催は、台風18号接近のため中止となった。	その他	宮城県バス協会、民間バス事業者	—	交通局業務課
336	社会人講師理科特別授業「炎の不思議」	社会人講師による小学校の理科特別授業を支援する団体と連携して、ガスを使った実験を通して、燃焼のしくみや炎が生活の中でどのように役立っているかなどを学ぶ理科実験の授業を実施し、炎と実生活の関わりを啓発する。	小学校3校で特別授業を実施。（学級数：5学級）	子どもの健全育成	一般社団法人教育総合支援機構ゆわう	—	ガス局営業企画課
337	市民協働事業提案制度採択事業：がん患者等に対する再就職支援及び就労継続支援協働事業	①院内における定期就労相談会（月2回） ②わんすてっぷにおける就労相談支援（随時） ③専門家（社会保険労務士と連携した相談）による相談支援	①院内における定期就労相談会 年間活動日数：24日 相談件数：23件 相談人数：21人 ②わんすてっぷにて随時実施 ③29年度は実施せず	健康福祉・医療	一般社団法人パーソナルサポートセンター	2,135	市立病院総合サポートセンター
338	入院患児の療養支援	①大学生のボランティアサークル「スモールエンジェル」が、小児科病棟に入院している児童を対象に、遊びをとおして療養生活を支援する。 ②日本ホスピタルクラウン協会から派遣される「道化師」が、小児科病棟に入院している児童を対象に、パフォーマンスをとおして療養生活を支援する。	①ボランティアサークル「スモールエンジェル」 院内行事参加回数：年4回 年間活動日数：23日 ボランティア延べ参加者：43人 ②特定非営利活動法人日本ホスピタルクラウン協会 年間活動日数：22日 ボランティア延べ参加者数：42人	健康福祉・医療、子どもの健全育成	①ボランティアサークル「スモールエンジェル」 ②特定非営利活動法人日本ホスピタルクラウン協会	25	市立病院総合サポートセンター
339	院内の図書貸出サービス	大学生のボランティアサークル「けやき文庫」が、院内1階ロビーで入院患者を対象に、図書の貸し出しサービス及び蔵書の整理を行っている。	年間活動日数：31日 ボランティア延べ参加者数：121人	健康福祉・医療、文化・芸術・スポーツ・学術	大学生サークル「けやき文庫」	25	市立病院総合サポートセンター

事業 番号	事業名	事業内容	平成29年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 平成29年度担当課
340	院内の案内・介助支援	院内を訪れる患者や家族の受診案内や、歩行困難者などの車イスによる介助、及び四季折々の展示物作成を行うボランティア活動。ボランティアは、市立病院で一般公募し養成講座を実施した後に、ボランティア登録した方が活動している。	年間活動日数:244日 ボランティア延べ参加者数:1493人	健康福祉・医療	ボランティア登録者	27	市立病院総合サポートセンター
341	傾聴ボランティア	入院患者の悩みや寂しさを和らげられるよう、1対1で真摯に話を聴き、心のケアを行う。平日、30分～1時間程度の活動を行う。	年間活動日数:178日 ボランティア延べ参加者数:178人 活動患者数:172人	健康福祉・医療	ボランティア登録者	25	市立病院総合サポートセンター